

予算科目	5 款	労働費	事業名		高齢者就業支援事業																																																	
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																	
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																	
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る																																																	
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 65																																																	
目的及び事業内容		（公社）石巻市シルバー人材センターへ補助金を交付して運営を支援することにより、地域に密着した仕事を提供し、高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加の促進を図るとともに、企業の人手不足の解消、地域社会の維持・発展等を推進する。																																																				
取 組 実 績		1 シルバー人材センターの事業実績 (1) 高齢者の福祉の増進と生きがい対策として、臨時的かつ短期的な業務のあっせん （あっせん業務：技能、事務、管理、折衝外交、一般作業、サービス） 令和5年度の受注実績 <table><tr><th>職群 \ 区分</th><th>受託 件数</th><th>就業延 実人員</th><th>就業延 人員</th><th>契約金額</th></tr><tr><td>技 能</td><td>1,111件</td><td>2,983人</td><td>4,221人</td><td>35,898,039円</td></tr><tr><td>事 務</td><td>38件</td><td>39人</td><td>188人</td><td>392,691円</td></tr><tr><td>管 理</td><td>23件</td><td>511人</td><td>4,473人</td><td>20,150,412円</td></tr><tr><td>折衝外交</td><td>3件</td><td>93人</td><td>359人</td><td>1,866,900円</td></tr><tr><td>一般作業</td><td>2,570件</td><td>10,289人</td><td>25,068人</td><td>167,061,287円</td></tr><tr><td>サービス</td><td>92件</td><td>92人</td><td>134人</td><td>120,600円</td></tr><tr><td>計</td><td>3,837件</td><td>14,007人</td><td>34,443人</td><td>225,489,929円</td></tr></table> (2) 高齢者の就業機会確保のための一般労働者派遣事業の実施 令和5年度の派遣事業実績 <table><tr><th>契約件数</th><th>派遣登録会員数</th><th>就業延人数</th><th>契約金額</th></tr><tr><td>14件</td><td>44人</td><td>6,087人</td><td>32,665,759円</td></tr></table> (3) 普及啓発事業の実施（新聞掲載、広告掲載等）					職群 \ 区分	受託 件数	就業延 実人員	就業延 人員	契約金額	技 能	1,111件	2,983人	4,221人	35,898,039円	事 務	38件	39人	188人	392,691円	管 理	23件	511人	4,473人	20,150,412円	折衝外交	3件	93人	359人	1,866,900円	一般作業	2,570件	10,289人	25,068人	167,061,287円	サービス	92件	92人	134人	120,600円	計	3,837件	14,007人	34,443人	225,489,929円	契約件数	派遣登録会員数	就業延人数	契約金額	14件	44人	6,087人	32,665,759円
職群 \ 区分	受託 件数	就業延 実人員	就業延 人員	契約金額																																																		
技 能	1,111件	2,983人	4,221人	35,898,039円																																																		
事 務	38件	39人	188人	392,691円																																																		
管 理	23件	511人	4,473人	20,150,412円																																																		
折衝外交	3件	93人	359人	1,866,900円																																																		
一般作業	2,570件	10,289人	25,068人	167,061,287円																																																		
サービス	92件	92人	134人	120,600円																																																		
計	3,837件	14,007人	34,443人	225,489,929円																																																		
契約件数	派遣登録会員数	就業延人数	契約金額																																																			
14件	44人	6,087人	32,665,759円																																																			
成 果		下記のとおり、会員に対し就業機会を創出することにより、高齢者の生きがい対策、地域社会への貢献が図られた。 会員数の推移 <table><tr><th>年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>人数</td><td>483人</td><td>474人</td><td>500人</td></tr></table> 受託件数及び契約金額の推移 <table><tr><th>年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>件数</td><td>3,898件</td><td>4,022件</td><td>3,837件</td></tr><tr><td>金額</td><td>214,511,330円</td><td>221,822,996円</td><td>225,489,929円</td></tr></table>					年度	R3	R4	R5	人数	483人	474人	500人	年度	R3	R4	R5	件数	3,898件	4,022件	3,837件	金額	214,511,330円	221,822,996円	225,489,929円																												
年度	R3	R4	R5																																																			
人数	483人	474人	500人																																																			
年度	R3	R4	R5																																																			
件数	3,898件	4,022件	3,837件																																																			
金額	214,511,330円	221,822,996円	225,489,929円																																																			
成果に係る評価		受託件数は3,837件で前年度と比較して185件減少したものの、会員数は26人増加し平成22年度以来の500人台となり、就業延人員は250人増加、契約金額も3,666,933円増加した。 会員の増強や退会抑制を図るためには、受託件数の増加により会員一人一人の就業機会を確保することが必要であることから、これまでの受託先を継続するとともに、市内事業所へのPRを行うなど、新規の受託先を開拓する必要がある。																																																				
(単位：円)																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	23,750,000	23,750,000				23,750,000																																																

予算科目	5 款	労働費	事業名		中小企業勤労者総合福祉事業																																													
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																													
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																													
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る																																													
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 66																																													
目的及び事業内容		(一財)石巻地区勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付して運営を支援することにより、中小企業が単独では実施できない労働福祉事業の共同化を促進し、勤労者の労働福祉向上と中小企業の振興を図る。																																																
取 組 実 績		1 石巻地区勤労者福祉サービスセンター事業実績 (1) 在職中の生活安定に係る事業 延べ人数：479人 ・共済給付事業（結婚・出産・入学等の祝金、弔慰金・傷病等の見舞金等） ・生活資金融資あっせん事業 (2) 健康の維持増進に係る事業 延べ人数：810人 ・健康管理事業（人間ドック、インフルエンザ予防接種補助） ・スポーツ大会等事業 ・体育施設利用助成事業（割引施設利用料等助成） (3) 老後生活の安定に係る事業及び財産形成に係る事業 延べ人数：19人 ・中退共制度等普及事業（退職金共済事業、各種セミナー） (4) 自己啓発事業 延べ人数：120人 ・各種教室等 (5) 催物等事業 延べ人数：307人 ・バスツアー、ビアパーティー等 (6) 割引事業 延べ人数：4,488人 ・チケット制割引事業及びコンサートチケット等幹旋、宿泊施設幹旋等 (7) その他法人の目的を達成するために必要な事業 ・加入促進事業及び情報提供事業、会議等開催、研修等 2 会員入会状況 事業所数：251事業所 会員数：2,480人																																																
成 果		入会事業所・会員数は前年度からわずかに減少した。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、コロナ禍のため中止していたビアパーティー等の催物や日帰りバスツアー等人気の事業を再開し、労働福祉向上と中小企業の振興を図った。 共済給付・行事参加延べ人数 <table><tr><th>年度</th><th>生活安定事業</th><th>健康維持事業</th><th>老後生活安定事業</th><th>自己啓発事業</th><th>催物等事業</th><th>割引事業</th><th>合計</th></tr><tr><td>R3</td><td>598人</td><td>903人</td><td>10人</td><td>123人</td><td>0人</td><td>3,489人</td><td>5,123人</td></tr><tr><td>R4</td><td>512人</td><td>889人</td><td>24人</td><td>133人</td><td>0人</td><td>5,602人</td><td>7,160人</td></tr><tr><td>R5</td><td>479人</td><td>810人</td><td>19人</td><td>120人</td><td>307人</td><td>4,488人</td><td>6,223人</td></tr></table> 会員入会状況 <table><tr><th>年度</th><th>事業所数</th><th>会員数</th></tr><tr><td>R3</td><td>258事業所</td><td>2,525人</td></tr><tr><td>R4</td><td>257事業所</td><td>2,505人</td></tr><tr><td>R5</td><td>251事業所</td><td>2,480人</td></tr></table>					年度	生活安定事業	健康維持事業	老後生活安定事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計	R3	598人	903人	10人	123人	0人	3,489人	5,123人	R4	512人	889人	24人	133人	0人	5,602人	7,160人	R5	479人	810人	19人	120人	307人	4,488人	6,223人	年度	事業所数	会員数	R3	258事業所	2,525人	R4	257事業所	2,505人	R5	251事業所	2,480人
年度	生活安定事業	健康維持事業	老後生活安定事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計																																											
R3	598人	903人	10人	123人	0人	3,489人	5,123人																																											
R4	512人	889人	24人	133人	0人	5,602人	7,160人																																											
R5	479人	810人	19人	120人	307人	4,488人	6,223人																																											
年度	事業所数	会員数																																																
R3	258事業所	2,525人																																																
R4	257事業所	2,505人																																																
R5	251事業所	2,480人																																																
成果に係る評価		事業所の廃業や従業員の退職等により会員数が減少し、また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人気のツアー事業や催物事業を再開したものの、参加者数が限られたことや割引事業の利用者が大幅に減ったことにより、行事参加延べ人数も減少した。 今後も退職等により退会者は増加すると想定されるが、健全な運営のためにも会員の拡大は重要であることから、ニーズを的確に捉えた魅力ある事業の展開により福利厚生事業の充実に努める必要がある。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																													
					国(県)支出金	一般財源																																												
	15,000,000		15,000,000			2,955,000																																												
						12,045,000																																												

予算科目	5 款	労働費	事業名		勤労者生活安定資金融資あっせん事業																																																															
	1 項	労働福祉費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																															
	1 目	労働福祉費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																															
	事業	労働者対策費		(2)	就業環境の充実を図る																																																															
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 66																																																														
目的及び事業内容		中小企業勤労者の生活の安定を図るとともに、勤労意欲の向上及び中小企業の振興と雇用の安定に寄与するため、東北労働金庫において市が預託した金額の2倍の融資額を設定し、融資を行う。																																																																		
取 組 実 績		1 預託額 10,000,000円 2 勤労者向け生活安定資金の融資あっせん制度の実施 市内中小企業従業員に対する低利での生活資金、教育資金及び自動車資金の融資 <table><tr><td>用途区分</td><td>融資額</td><td>貸付期間</td><td>貸付利率</td></tr><tr><td>一般生活資金</td><td>100万円以内</td><td>7年以内</td><td>2.75%</td></tr><tr><td>教育資金</td><td>300万円以内</td><td>10年以内 (5年以内の据置期間含む)</td><td>1.45%</td></tr><tr><td>自動車資金</td><td>200万円以内</td><td>7年以内</td><td>1.45%</td></tr></table> 3 令和5年度融資（貸付実行）実績 <table><tr><td>用途区分</td><td>件数</td><td>金額</td></tr><tr><td>一般生活資金</td><td>0件</td><td>0円</td></tr><tr><td>教育資金</td><td>5件</td><td>8,360,000円</td></tr><tr><td>自動車資金</td><td>2件</td><td>2,650,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>7件</td><td>11,010,000円</td></tr></table>							用途区分	融資額	貸付期間	貸付利率	一般生活資金	100万円以内	7年以内	2.75%	教育資金	300万円以内	10年以内 (5年以内の据置期間含む)	1.45%	自動車資金	200万円以内	7年以内	1.45%	用途区分	件数	金額	一般生活資金	0件	0円	教育資金	5件	8,360,000円	自動車資金	2件	2,650,000円	計	7件	11,010,000円																													
用途区分	融資額	貸付期間	貸付利率																																																																	
一般生活資金	100万円以内	7年以内	2.75%																																																																	
教育資金	300万円以内	10年以内 (5年以内の据置期間含む)	1.45%																																																																	
自動車資金	200万円以内	7年以内	1.45%																																																																	
用途区分	件数	金額																																																																		
一般生活資金	0件	0円																																																																		
教育資金	5件	8,360,000円																																																																		
自動車資金	2件	2,650,000円																																																																		
計	7件	11,010,000円																																																																		
成 果		直近5年間の融資実績等は下記のとおりであり、勤労者の安定した生活確保の一助となった。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">前年度末債務残高</th><th colspan="2">融資（貸付実行）</th><th rowspan="2">完済 件数</th><th rowspan="2">償還金額</th><th colspan="2">年度末債務残高</th></tr><tr><th>件数</th><th>金 額</th><th>件数</th><th>金 額</th><th>件数</th><th>金 額</th></tr><tr><td>R1</td><td>3件</td><td>4,192,516円</td><td>7件</td><td>6,842,113円</td><td>0件</td><td>1,351,785円</td><td>10件</td><td>9,682,844円</td></tr><tr><td>R2</td><td>10件</td><td>9,682,844円</td><td>3件</td><td>3,920,000円</td><td>2件</td><td>2,083,694円</td><td>11件</td><td>11,519,150円</td></tr><tr><td>R3</td><td>11件</td><td>11,519,150円</td><td>1件</td><td>1,500,000円</td><td>2件</td><td>3,020,723円</td><td>10件</td><td>9,998,427円</td></tr><tr><td>R4</td><td>10件</td><td>9,998,427円</td><td>1件</td><td>1,000,000円</td><td>2件</td><td>3,739,994円</td><td>9件</td><td>7,258,433円</td></tr><tr><td>R5</td><td>9件</td><td>7,258,433円</td><td>7件</td><td>11,010,000円</td><td>1件</td><td>2,804,111円</td><td>15件</td><td>15,464,322円</td></tr></table>							年度	前年度末債務残高		融資（貸付実行）		完済 件数	償還金額	年度末債務残高		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	R1	3件	4,192,516円	7件	6,842,113円	0件	1,351,785円	10件	9,682,844円	R2	10件	9,682,844円	3件	3,920,000円	2件	2,083,694円	11件	11,519,150円	R3	11件	11,519,150円	1件	1,500,000円	2件	3,020,723円	10件	9,998,427円	R4	10件	9,998,427円	1件	1,000,000円	2件	3,739,994円	9件	7,258,433円	R5	9件	7,258,433円	7件	11,010,000円	1件	2,804,111円	15件	15,464,322円
年度	前年度末債務残高		融資（貸付実行）		完済 件数	償還金額	年度末債務残高																																																													
	件数	金 額	件数	金 額			件数	金 額																																																												
R1	3件	4,192,516円	7件	6,842,113円	0件	1,351,785円	10件	9,682,844円																																																												
R2	10件	9,682,844円	3件	3,920,000円	2件	2,083,694円	11件	11,519,150円																																																												
R3	11件	11,519,150円	1件	1,500,000円	2件	3,020,723円	10件	9,998,427円																																																												
R4	10件	9,998,427円	1件	1,000,000円	2件	3,739,994円	9件	7,258,433円																																																												
R5	9件	7,258,433円	7件	11,010,000円	1件	2,804,111円	15件	15,464,322円																																																												
成果に係る評価		令和5年度の新規貸付は教育資金と自動車資金の貸付利率の引き下げもあり7件11,010,000円の融資実績となり、中小企業勤労者の生活の安定及び福利厚生に寄与できた。 なお、令和6年度からは、資金用途の拡充や融資対象者の要件見直し及び添付書類の簡略化等により、さらに利用しやすい制度内容に改正した。今後も制度の周知に努め、利用促進を図っていく。																																																																		
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
	10,000,000		10,000,000				10,000,000																																																													

予算科目	5 款	労働費	総合計画	事業名	雇用対策連携事業		
	1 項	労働福祉費		第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	1 目	労働福祉費		第 6 節	未来の産業を担う人材の確保と育成		
	事業	労働者対策費		(1)	関係機関との連携により人材を確保する		
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 83	
目的及び事業内容		企業の人手不足を解消するために求職者と企業のマッチングを図り、国や県との連携により合同企業説明会等を開催し、産業人材の確保及び育成を図る。					
取 組 実 績		国、県と連携し、下記事業を開催した。 1 高校生のための合同企業説明会（共催） 対象者 就職希望の高校3年生 参加者数 213名 日 程 令和5年7月13日 2 石巻圏域企業研究セミナー（共催） 対象者 石巻専修大学の学生 参加者数 45名 日 程 令和5年7月13日、7月20日 3 桜坂高校企業見学ツアー（主催） 対象者 桜坂高校3年生で就職希望者 参加者数 13名 日 程 令和5年7月31日 4 合同企業説明会（主催2回、共催1回） 対象者 市内に在住の求職者、60歳以上の求職者 参加者数 139名 日 程 令和5年9月8日、10月18日、令和6年2月9日 5 高校生向け企業面接会（共催） 対象者 就職希望の高校3年生 参加者数 9名 日 程 令和5年10月20日 6 高校2年生向け合同企業説明会（共催） 対象者 高校2年生 参加者数 107名 日 程 令和6年2月1日					
成 果		合同企業説明会や企業見学ツアーの実施により、企業の採用担当者が直接対面できる場を設けることで、より多くの企業や業種を知る機会を提供することにより、新たな雇用創出及び若者の地元企業への雇用につながった。 また、商工会議所を主体とした、「雇用促進委員会」や、東部地方振興事務所が主体となっている「石巻地域産業人材育成プラットフォーム会議」に参画し、関係機関と連携を強化することで、雇用促進を図った。					
成果に係る評価		合同企業説明会等を開催した結果、合計で526名の参加となった。求職者に対し直接説明する機会を設けることで、企業及び業種への理解促進が図られ、雇用の確保につながることから、今後も継続して実施する必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
					国(県)支出金	地方債	その他
	5, 000		2, 100				
					2, 100		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		みやぎの水田農業改革支援事業			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する			
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 73			
目的及び事業内容			米の需給調整に係る集団転作に取り組む農業法人や集落営農組織等を対象とし、作業の効率化及び適期作業による品質向上を図るための作業機械導入経費の軽減を目的に、宮城県と本市が補助金を交付するもの。					
取 組 実 績			転作用機械を導入する補助対象事業者（11組織）に対し、県補助金（4/10以内）に市が5%嵩上げした補助金を交付し、作業機械導入経費の負担軽減を図った。					
			1 事業実施主体数 ： 11組織					
			2 導入施設及び機械 (単位：円)					
			No	事業実施主体名	作付品目	地区	導入機械	交付額 (県・市計)
			1	(農) NAKANOファーム	麦・大豆	河北	ハイクリブーム 外	2,916,000
			2	(農) 川の上	麦・大豆	河北	ハイクリブーム 外	3,286,000
			3	(農) 相野谷	麦・大豆	河北	シーダー、ロータリー	797,000
			4	(株) ヒロふぁーむ	麦・大豆・水稻	河南	バーチカルハロー 外	4,268,000
			5	ひろぶち営農組合	大豆・水稻	河南	播種機 外	806,000
			6	めぐみの里下谷地	麦・大豆・水稻	河南	ロータリーカルチ 外	754,000
			7	(有) サンダーファーム牛田	麦・大豆	桃生	ハイクリブーム 外	1,587,000
			8	(株) ルーラルファーム	麦・大豆	桃生	コンバイン 外	6,076,000
			9	(有) 高須賀農産	麦・大豆	桃生	コンバイン 外	6,527,000
			10	(株) 入沢ファーム	麦・大豆	桃生	スタブルカルチ 外	664,000
11	(株) ゆいっこ	麦・大豆	北上	コンバイン	5,569,000			
		合計 (11組織)			33,250,000			
成 果			11組織において転作用機械を導入し、麦・大豆等の栽培における経営効率向上及び生産規模拡大が図られた。					
			支援組織数の推移					
			年度	R1	R2	R3	R4	R5
			組織数	10組織	7組織	11組織	7組織	11組織
			転作面積の推移 (※二毛作含む) (単位：h a)					
			R1	R2	R3	R4	R5	
作物名								
麦			721	744	718	779	828	
大豆			1,560	1,540	1,580	1,650	1,660	
成果に係る評価			本市では、農産物の安定的な生産供給推進のため、主に農業基盤整備完了後に、水田におけるブロックローテーションを促進し、水稻、麦、大豆等の土地利用型作物の作付けによる、水田の高度利用を推進している。					
			単位面積当たりの生産量向上を目指すとともに、米の需給環境に対応した穀類の生産体制の強化を図り、不作付地の発生防止に努めている。					
			本事業の活用により、麦・大豆生産団体の負担軽減を図るとともに、経営及び生産性の向上に寄与することから、事業継続が必要である。					
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	53,470,000	33,250,000	29,560,000			3,690,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		環境保全型農業支援事業			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	農業振興費		(2)	持続可能な農業生産体制を整備する			
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 74		
目的及び事業内容		農業者の組織する団体等が実施する化学肥料・化学合成農業を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動等に取り組む場合に支援を実施する。対象となる農業生産活動は、有機農業、堆肥の施用、緑肥の作付け（カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培）、不耕起播種、長期中干し、秋耕である。						
取 組 実 績		令和5年度については、10団体66人を対象に12,855,900円の交付を行った。補助金の負担割合は、国1/2、県1/4、市1/4である。						
		(単位：円)						
		組織名	取組内容	人数	補助金合計	国(1/2)	県(1/4)	市(1/4)
		広瀬沼有機の友	有機農業/秋耕	2人	978,320	489,160	244,580	244,580
		K O S	有機/堆肥/緑肥	1人	3,037,580	1,518,790	759,395	759,395
		陽光ライス	有機農業	5人	3,198,000	1,599,000	799,500	799,500
		種人会	有機農業	4人	798,000	399,000	199,500	199,500
		河南ネクスト農場	有機農業	2人	656,400	328,200	164,100	164,100
		ひたかみ有機の会	有機農業	2人	1,395,600	697,800	348,900	348,900
		J A新みやぎ南郷地域環境保全型農業推進部会	有機農業	1人	58,800	29,400	14,700	14,700
J A新みやぎ涌谷稲作生産部会	有機/堆肥	2人	52,940	26,470	13,235	13,235		
カリオン環境部会	堆肥の施用	1人	14,080	7,040	3,520	3,520		
J Aいしのまき稲作部会	堆肥の施用	46人	2,666,180	1,333,090	666,545	666,545		
計			66人	12,855,900	6,427,950	3,213,975	3,213,975	
成 果		農業や化学合成肥料の使用低減により、輸送時や生成時に発生する温室効果ガスの削減や生物多様性の保全に貢献した。						
		(単位：h a)						
		取組面積の推移						
		取組内容	R1	R2	R3	R4	R5	
		有機農業	89.81	105.24	80.17	76.84	77.20	
		堆肥の施用	8.86	9.56	102.04	142.44	150.19	
		緑肥の作付け	-	-	-	7.68	4.07	
秋耕	-	6.83	6.83	7.65	5.44			
合計		98.67	121.63	189.04	234.61	236.90		
成果に係る評価		国際的な動きとして地球温暖化防止や生物多様性保全への対応が急務となる中、これらに効果の高い農業生産活動等に取り組む農業者の組織する団体等へ支援を実施した。本事業の活用により、農業者が農業を継続できる環境を整え、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進し、地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的且つ効果の高い営農活動に対して支援を行うため、今後も事業を継続していく必要がある。						
予算の執行状況		(単位：円)						
		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
				20,280,000	12,855,900	9,641,925		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		担い手育成総合支援事業（農業）		
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	農業振興費		（ 6 ）	持続可能な農業経営体を育成する		
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 76	
目的及び事業内容		本市の第一次産業においては、後継者不足等の理由により就業者の減少が続いている。新たな担い手を確保するために、支援拠点となる施設整備等や管理運営を実施する。					
取 組 実 績	1 オンラインとオフラインによる定期的な就農相談会を毎月2回、計24回実施。 ・（毎月第2・第4土曜日）10:00、13:00、15:00 ※各回1組限定						
	2 農業の現場を知識として知り、学んでもらうための座学（石巻農学）を3回、就農や移住を目指すための現場研修（石巻百姓塾）を2回実施。 石巻農学（座学）						
	開催日		内容				
	令和5年4月29日		地域の農業のゲンバを「知る・学ぶ・つながる」を演題とした、先輩就農者による講演				
	令和5年5月28日						
	令和5年6月25日						
	石巻百姓塾（体験）						
	開催日		内容				
	令和5年5月3日～4日		暮らし、農、住まいvol.1（夏野菜栽培体験）				
	令和5年7月15日～16日		暮らし、農、住まいvol.2（ブルーベリー、トマト収穫体験）				
3 本市で就農している若手農業者や就農希望者等による交流会を実施。							
開催日		内容					
令和5年8月25日		新規就農者交流会					
4 ホームページの更新、パンフレットの増刷。							
成 果	市内の法人等へ市外から2名が就農した。 市外から移住し、夫婦2組、計4名が独立就農した。 市内の1法人が、農作物の栽培を開始した。 ○農業担い手センター運営事業						
	年度	就農相談	体験プログラム	新規就農者	離職者	年度末就農者	就農研修（参考）
	R1	44人	44人	4人	1人	4人	4人
	R2	55人	64人	2人	1人	5人	4人
	R3	66人	14人	6人	6人	5人	2人
	R4	20人	68人	7人	3人	9人	2人
	R5	23人	47人	6人・1社	3人	12人	0人
	※就農研修とは、農業法人での農業体験（インターンシップ）のこと。						
	成果に係る評価						
	農業担い手センターを中心とした、担い手事業が定着化してきており、就農者も増加傾向にあることから、就農相談のほか、座学及び体験型プログラムを継続して実施し、新規就農者の確保に努める。 移住を伴う新規就農者には、地方自治体が担い手事業を行うことにより、安心した移住・就農につながることから、今後も担い手事業を継続し、地域課題である担い手の確保に努める。 また、新規就農者の孤立・孤独を防ぐために、若手農業者と就農希望者・新規就農者の交流会等の取組を充実させ、新規就農者の不安解消を図る。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	12,000,000	11,935,000			11,935,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		有害鳥獣農作物被害防止対策事業																												
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																												
	3 目	農業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																												
	事業	ニホンジカ農作物被害防止対策費		(7)	農作物の被害対策を推進する																												
担当部課		産業部ニホンジカ対策室	実施計画掲載ページ		P 76																												
目的及び事業内容			有害鳥獣による農作物等の被害は深刻な状況となっており、ニホンジカについては生息域が牡鹿半島だけでなく石巻市全域に拡大していることに伴い、農林業被害のみならず交通事故等の生活被害が一年を通して発生している。 このことから、有害鳥獣による農林業等への被害を防止するため、銃器及びわなによるニホンジカ等の捕獲を実施するとともに、被害が発生している地域への侵入防止柵の貸与など、地域ぐるみの被害防止対策の推進を図る。																														
取 組 実 績			石巻市鳥獣被害防止計画に基づきニホンジカ等の捕獲を実施するとともに、牡鹿半島ニホンジカ対策協議会へ補助金を交付し、侵入防止柵や箱わなの貸与、捕獲用 I C T 機器の導入など各団体の活動支援を実施したほか、捕獲した個体の有効活用として、再生可能エネルギー活用可能性調査を実施した。																														
			1 有害鳥獣捕獲事業（ニホンジカ） (1) 実施団体 宮城県猟友会石巻支部及び河北支部 (2) 実施期間 ア 銃器による捕獲 4月から11月まで（50日間×2支部） イ わなによる捕獲 4月から2月まで（随時実施） (3) 捕獲実績																														
			年度	市	銃器	わな	鹿除去処理	県	合計	R3	2,968頭	900頭	1,839頭	229頭	493頭	3,461頭	R4	1,545頭	635頭	680頭	230頭	846頭	2,391頭	R5	1,537頭	605頭	792頭	140頭	514頭	2,051頭			
年度	市	銃器	わな	鹿除去処理	県	合計																											
R3	2,968頭	900頭	1,839頭	229頭	493頭	3,461頭																											
R4	1,545頭	635頭	680頭	230頭	846頭	2,391頭																											
R5	1,537頭	605頭	792頭	140頭	514頭	2,051頭																											
成 果			2 鳥獣被害防止総合支援事業 (1) 地域への侵入防止柵（ネット柵）貸与 10,550m （稲井地区 3,500m、北上地区（長尾・女川） 4,750m、北上地区（十三浜） 2,300m） (2) 大型獣用箱わな貸与 6基（石巻支部 2基、河北支部 4基） (3) I C T 活用わな遠隔監視システム導入 親機 1基（上品山市有地）、子機 15台 3 再生可能エネルギー活用可能性調査 (1) 調査業務 一式 (2) 石巻市ニホンジカ等処分方法検討懇談会開催 2回																														
			有害鳥獣捕獲事業及び鳥獣被害防止総合支援事業の実施により、ニホンジカによる農作物等の被害低減が図られた。また、再生可能エネルギー活用可能性調査により、捕獲した個体を高温・高圧で分解処理し、ペレット状に成形することで石炭燃料と変わらない熱量を得られることが確認された。																														
			有害鳥獣（ニホンジカ）による被害額（単年）						年度	成果指標				達成率	目標値	実績値	農作物被害	交通事故被害	R3	-	48,759千円	27,459千円	21,300千円	-	R4	46,000千円	41,101千円	17,101千円	24,000千円	111.9%	R5	44,000千円	34,844千円
有害鳥獣（ニホンジカ）による被害額（単年）																																	
年度	成果指標				達成率																												
	目標値	実績値	農作物被害	交通事故被害																													
R3	-	48,759千円	27,459千円	21,300千円	-																												
R4	46,000千円	41,101千円	17,101千円	24,000千円	111.9%																												
R5	44,000千円	34,844千円	13,844千円	21,000千円	126.2%																												
成果に係る評価			ニホンジカによる農作物等の被害低減を図るため、捕獲及び侵入防止柵の設置を推進した結果、成果指標における令和5年度目標値の達成に至ったが、まだ高い水準で被害が発生していることから事業を継続する必要がある。 また、目標値の達成に至った一方で、宮城県の調査では本市におけるニホンジカの生息密度が依然として高いものと推測されていることから、継続して目標値を達成するため、引き続き地域ぐるみの被害防止対策を推進するとともに現在と同程度の捕獲を実施し、令和5年度に導入した捕獲用 I C T 機器の活用拡大など、捕獲実施者の負担軽減を図りながら効率的な捕獲を推進していく必要がある。 捕獲した個体について、可能性調査で行った検討結果も踏まえながら、本市の実状に沿った処分方法の決定に生かしていく。																														
(単位：円)																																	
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
		58,500,000	47,915,838	16,497,472			31,418,366																										

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	事業名	優良肉用牛生産振興対策事業																																																																													
	1 項	農業費		第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																													
	4 目	畜産費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																																																													
	事業	畜産振興費		(4)	石巻産農畜産物のブランド化を推進する																																																																													
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 75																																																																												
目的及び事業内容		宮城県基幹種雄牛を活用した石巻地域の和牛ブランド化と、優良な和牛生産地としての地位を維持するため、保留対象牛導入者に対して経費の一部を助成することにより、子牛生産現場における生産意欲の高揚を促す。 対象牛導入者に対し、その経費の一部を予算の範囲内で助成する。 1 石巻市産の宮城県基幹種雄牛：繁殖牛、肥育牛共に、1頭当たり 80,000円以内 2 その他の宮城県基幹種雄牛：繁殖牛、肥育牛共に、1頭当たり 50,000円以内																																																																																
取 組 実 績		当事業について、上期、下期の2期に分けて申請受理及び交付決定を実施した。 1 上期（対象期間：令和5年4月1日～令和5年9月30日） <table><tr><td>産地別</td><td>単価</td><td>繁殖牛</td><td>肥育牛</td><td>助成額</td></tr><tr><td>石巻市産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>3頭</td><td>240,000円</td></tr><tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>7頭</td><td>23頭</td><td>1,500,000円</td></tr></table> 2 下期（対象期間：令和5年10月1日～令和6年3月31日） <table><tr><td>産地別</td><td>単価</td><td>繁殖牛</td><td>肥育牛</td><td>助成額</td></tr><tr><td>石巻市産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>1頭</td><td>80,000円</td></tr><tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>10頭</td><td>19頭</td><td>1,450,000円</td></tr></table> 3 上期＋下期 <table><tr><td>産地別</td><td>単価</td><td>繁殖牛</td><td>肥育牛</td><td>助成額</td></tr><tr><td>石巻市産</td><td>80,000円</td><td>0頭</td><td>4頭</td><td>320,000円</td></tr><tr><td>その他（市外産）</td><td>50,000円</td><td>17頭</td><td>42頭</td><td>2,950,000円</td></tr></table> 4 年度別実績 <table><tr><td>項目</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>繁殖牛</td><td>11頭</td><td>13頭</td><td>15頭</td><td>15頭</td><td>17頭</td></tr><tr><td>肥育牛</td><td>53頭</td><td>46頭</td><td>44頭</td><td>46頭</td><td>46頭</td></tr><tr><td>頭数合計</td><td>64頭</td><td>59頭</td><td>59頭</td><td>61頭</td><td>63頭</td></tr><tr><td>助成額</td><td>3,740,000円</td><td>3,400,000円</td><td>3,160,000円</td><td>3,230,000円</td><td>3,270,000円</td></tr></table>						産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻市産	80,000円	0頭	3頭	240,000円	その他（市外産）	50,000円	7頭	23頭	1,500,000円	産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻市産	80,000円	0頭	1頭	80,000円	その他（市外産）	50,000円	10頭	19頭	1,450,000円	産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額	石巻市産	80,000円	0頭	4頭	320,000円	その他（市外産）	50,000円	17頭	42頭	2,950,000円	項目	R1	R2	R3	R4	R5	繁殖牛	11頭	13頭	15頭	15頭	17頭	肥育牛	53頭	46頭	44頭	46頭	46頭	頭数合計	64頭	59頭	59頭	61頭	63頭	助成額	3,740,000円	3,400,000円	3,160,000円	3,230,000円	3,270,000円
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																																														
石巻市産	80,000円	0頭	3頭	240,000円																																																																														
その他（市外産）	50,000円	7頭	23頭	1,500,000円																																																																														
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																																														
石巻市産	80,000円	0頭	1頭	80,000円																																																																														
その他（市外産）	50,000円	10頭	19頭	1,450,000円																																																																														
産地別	単価	繁殖牛	肥育牛	助成額																																																																														
石巻市産	80,000円	0頭	4頭	320,000円																																																																														
その他（市外産）	50,000円	17頭	42頭	2,950,000円																																																																														
項目	R1	R2	R3	R4	R5																																																																													
繁殖牛	11頭	13頭	15頭	15頭	17頭																																																																													
肥育牛	53頭	46頭	44頭	46頭	46頭																																																																													
頭数合計	64頭	59頭	59頭	61頭	63頭																																																																													
助成額	3,740,000円	3,400,000円	3,160,000円	3,230,000円	3,270,000円																																																																													
成 果		優良血統肉用牛の地域内保留が図られた。 優良肉用牛産地としての和牛ブランド化を推進し、生産意欲の高揚が図られた。 肉用牛使用経営体数、飼養頭数の推移 <table><tr><td>種別</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td rowspan="2">繁殖</td><td>経営体数</td><td>100戸</td><td>94戸</td><td>96戸</td><td>81戸</td></tr><tr><td>飼養頭数</td><td>1,971頭</td><td>1,940頭</td><td>1,970頭</td><td>1,865頭</td></tr><tr><td rowspan="2">肥育</td><td>経営体数</td><td>29戸</td><td>29戸</td><td>25戸</td><td>27戸</td></tr><tr><td>飼養頭数</td><td>2,448頭</td><td>2,333頭</td><td>2,201頭</td><td>2,513頭</td></tr></table> ※R5については、県の集計が完了していないため、R4までの記載となる。						種別	R1	R2	R3	R4	繁殖	経営体数	100戸	94戸	96戸	81戸	飼養頭数	1,971頭	1,940頭	1,970頭	1,865頭	肥育	経営体数	29戸	29戸	25戸	27戸	飼養頭数	2,448頭	2,333頭	2,201頭	2,513頭																																																
種別	R1	R2	R3	R4																																																																														
繁殖	経営体数	100戸	94戸	96戸	81戸																																																																													
	飼養頭数	1,971頭	1,940頭	1,970頭	1,865頭																																																																													
肥育	経営体数	29戸	29戸	25戸	27戸																																																																													
	飼養頭数	2,448頭	2,333頭	2,201頭	2,513頭																																																																													
成果に係る評価		肉用牛生産現場における生産意欲の高揚と宮城県基幹種牛を活用した石巻地域の和牛ブランド化、最良な和牛生産地としての地位を維持するため、今後も事業継続が必要である。																																																																																
(単位：円)																																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																												
	4,000,000	3,270,000			2,000,000	1,270,000																																																																												

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		有機センター施設整備事業																															
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																															
	4 目	畜産費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																															
	事業	堆肥センター費		(5)	安全で高品質な農畜産物の安定供給体制を構築する																															
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 76																															
目的及び事業内容		市内畜産農家からの畜産廃棄物を適正に処理を行うために有機センター施設の修繕や車両等機器更新を実施し、良質な堆肥の生産と需要拡大を図りながら地域内での資源循環型農業を構築するもの。 ①家畜尿の汲取り及び処理 ②家畜排せつ処理施設及び作業車両の維持管理 ③家畜尿処理施設の点検及び維持管理 ④家畜糞の受入及び処理 ⑤完熟堆肥の生産及び販売並びに成分検査等																																		
取 組 実 績		市内4か所の有機センターの安定した稼働を維持するため、以下の箇所の修繕を実施した。 【大谷地堆肥センター】 1,989,592円 ・管理棟修繕 ・網戸修繕 【かなん有機センター】 4,910,224円 ・攪拌機キャリアチェーン調整 ・カーテン昇降用センサー ・漏水修繕 ・ホイローダバッテリー修繕 ・高圧交流負荷開閉器交換 ・攪拌機修繕 ・攪拌機キャリア交換 ・作業用車両修繕 ・ホイローダ修繕 【桃生堆肥化処理センター】 15,444,550円 ・水分調整舎攪拌機修繕 ・発酵棟屋根修繕 ・強制発酵処理施設攪拌機修繕 ・強制発酵処理施設攪拌機クレビス修繕 ・強制発酵処理施設攪拌機カバー修繕 【北上堆肥センター】 4,950,000円 ・攪拌機等修繕 ・選別機ベルコンローラー修繕																																		
成 果		設備や機械（攪拌機）の修繕により、施設の適正な稼働を維持でき、畜産排せつ物等の適正な処理及び資源循環型の安定した堆肥生産、販売を行うことができた。 ○各堆肥センター利用実績（令和5年度） <table><tr><td>地区名</td><td>施設名</td><td>開館日数</td><td>利用者</td><td>搬入実績</td><td>利用料金実績</td></tr><tr><td>河北</td><td>大谷地堆肥センター</td><td>42日</td><td>12人 484台</td><td>968.000 t</td><td>595,650円</td></tr><tr><td>河南</td><td>かなん有機センター</td><td>300日</td><td>324人</td><td>1,815.575 t</td><td>6,561,016円</td></tr><tr><td>桃生</td><td>桃生堆肥化処理センター</td><td>360日</td><td>1,524人</td><td>4,391.600 t</td><td>10,639,780円</td></tr><tr><td>北上</td><td>北上堆肥センター</td><td>251日</td><td>568人</td><td>1,000.930 t</td><td>4,075,330円</td></tr></table>					地区名	施設名	開館日数	利用者	搬入実績	利用料金実績	河北	大谷地堆肥センター	42日	12人 484台	968.000 t	595,650円	河南	かなん有機センター	300日	324人	1,815.575 t	6,561,016円	桃生	桃生堆肥化処理センター	360日	1,524人	4,391.600 t	10,639,780円	北上	北上堆肥センター	251日	568人	1,000.930 t	4,075,330円
地区名	施設名	開館日数	利用者	搬入実績	利用料金実績																															
河北	大谷地堆肥センター	42日	12人 484台	968.000 t	595,650円																															
河南	かなん有機センター	300日	324人	1,815.575 t	6,561,016円																															
桃生	桃生堆肥化処理センター	360日	1,524人	4,391.600 t	10,639,780円																															
北上	北上堆肥センター	251日	568人	1,000.930 t	4,075,330円																															
成果に係る評価		施設の老朽化により、修繕料の支出が多くなっている状況にあり、各センターの要望に対し優先順位等を踏まえて修繕を実施することで、安定した稼働に繋げることができた。 家畜の排せつ物の処理について、放置した場合、産業廃棄物となるが堆肥化することにより、農業を実施する上で資源となる。また、本市の有機農業の推進に向けた取組においても、化学的に合成した肥料の使用の低減による環境への負荷低減と資源循環型農業の構築は両輪となるものであるため、事業の継続が必要である。																																		
予算の執行状況		(単位：円)																																		
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
		27,294,366	27,294,366		9,800,000	12,000,000	5,494,366																													

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	事業名		防災重点農業用ため池緊急整備事業																						
	1 項	農業費		第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																							
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																							
	事業	水利事業費		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する																							
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 73																						
目的及び事業内容		農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づき、防災重点農業用ため池の緊急的な整備を集中的かつ計画的に行う。 また、農業用ため池において、必要に応じた安全対策施設の整備を推進する。																										
取 組 実 績		令和5年度事業実施状況 【大吉野ため池廃止事業】 ・令和5年度事業費・・・23,664,031円 ・令和5年度繰越費・・・30,270,101円 <table><tr><td>主な事業内容</td><td>R5年度 事業費</td><td>R6年度への 繰越費</td></tr><tr><td>ため池廃止事業測量設計業務</td><td>4,510,000円</td><td>0円</td></tr><tr><td>ため池廃止洪水吐部測量設計業務 路線測量 L＝0.04km、現地測量 A＝0.04ha</td><td>2,420,000円</td><td>0円</td></tr><tr><td>ため池廃止工事技術補助及び実施設計業務 現場技術補助（補助分）、実施設計書作成 一式</td><td>0円</td><td>2,310,000円</td></tr><tr><td>ため池廃止洪水吐工及び上流流路工工事 洪水吐工 L＝22.4m、流路工 L＝56.4m</td><td>16,630,000円 (工事前払金)</td><td>26,970,000円</td></tr><tr><td>ため池廃止工事支障電柱等移転工事</td><td>104,031円 (材料費)</td><td>990,101円</td></tr><tr><td>計</td><td>23,664,031円</td><td>30,270,101円</td></tr></table>						主な事業内容	R5年度 事業費	R6年度への 繰越費	ため池廃止事業測量設計業務	4,510,000円	0円	ため池廃止洪水吐部測量設計業務 路線測量 L＝0.04km、現地測量 A＝0.04ha	2,420,000円	0円	ため池廃止工事技術補助及び実施設計業務 現場技術補助（補助分）、実施設計書作成 一式	0円	2,310,000円	ため池廃止洪水吐工及び上流流路工工事 洪水吐工 L＝22.4m、流路工 L＝56.4m	16,630,000円 (工事前払金)	26,970,000円	ため池廃止工事支障電柱等移転工事	104,031円 (材料費)	990,101円	計	23,664,031円	30,270,101円
主な事業内容	R5年度 事業費	R6年度への 繰越費																										
ため池廃止事業測量設計業務	4,510,000円	0円																										
ため池廃止洪水吐部測量設計業務 路線測量 L＝0.04km、現地測量 A＝0.04ha	2,420,000円	0円																										
ため池廃止工事技術補助及び実施設計業務 現場技術補助（補助分）、実施設計書作成 一式	0円	2,310,000円																										
ため池廃止洪水吐工及び上流流路工工事 洪水吐工 L＝22.4m、流路工 L＝56.4m	16,630,000円 (工事前払金)	26,970,000円																										
ため池廃止工事支障電柱等移転工事	104,031円 (材料費)	990,101円																										
計	23,664,031円	30,270,101円																										
成 果		令和5年度について、大吉野ため池の廃止洪水吐部測量設計を実施した。 また、契約を締結し、準備工を実施の際に、土質が軟弱で施工方法の検討と施行能率の低下により、年度内完了が困難となったため、廃止事業実施設計書・現場技術補助業務、洪水吐工事、電柱等移転工事を令和6年度に繰越している。廃止工事完了については、令和6年度7月末を予定している。																										
成果に係る評価		大吉野ため池について、廃止工事を完了することにより、災害が発生した際に下流部へ甚大な被害を及ぼす危険性を無くし、安全を確保できる。 また、農業用の受益が存在するため池については災害が発生するリスクを低減するため、調査の上必要な改修を行う必要がある。市内すべての防災重点農業用ため池に対策を実施するために、事業を継続する必要がある。																										
予算の執行状況		(単位：円)																										
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
		23,714,899	23,664,031	6,320,000	6,800,000	10,442,000	102,031																					

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		多面的機能支払交付金事業			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	土地改良事業関係助成費		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する			
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 72			
目的及び事業内容		農業農村の有する多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を実施する。 ・対象区域（管内一円）755,747 a、交付先 蛇田保全隊ほか17活動組織 ・事業期間 令和元年度～令和5年度（活動期間5年毎に再認定）						
取 組 実 績	以下の活動組織において次の活動を実施した。 1 農地維持活動（畦畔・農用地法面及び水路の草刈、水路の泥上げ、農道の路面維持等） 2 資源向上活動（水路、農道等の軽微な補修、花木の植栽活動等）							
	組織名	R5 参加人数	R4 参加人数	R5 対象 農地面積	組織名	R5 参加人数	R4 参加人数	R5 対象 農地面積
	蛇田	895人	830人	17,797 a	広渕	2,556人	2,625人	66,239 a
	稲井	893人	802人	62,970 a	須江	2,582人	2,652人	39,364 a
	小船越	3,043人	3,103人	53,806 a	北村	2,337人	2,481人	31,362 a
	飯野・成田	1,356人	1,391人	35,232 a	中津山1	3,048人	3,358人	57,306 a
	二俣	2,029人	2,075人	36,707 a	中津山2	1,965人	1,970人	30,073 a
	飯野川	2,179人	2,344人	25,670 a	桃生1	1,025人	1,274人	31,536 a
	北上	792人	818人	26,026 a	太田	1,320人	1,445人	30,803 a
	前谷地	2,971人	3,007人	48,797 a	大川	727人	724人	37,824 a
	和渕	2,605人	2,733人	48,946 a				
	鹿又	3,097人	3,332人	75,289 a	合 計 延べ人数	35,420人	36,964人	755,747 a
	成 果	各活動組織による地域ぐるみの共同活動により、農用地、水路、農道等の地域資源が良好に保全され、地域コミュニティの活性化につながったほか、農業農村の持続的な発展と多面的機能の維持発揮が図られた。 昨年度と比較すると構成員の高齢化により参加人数が減少しているが、作業委託や機材のリース等で作業量の縮小や省力化を図り、課題である活動の継続維持への対策を取りながら保全活動が実施された。						
成果に係る評価	令和5年度に5年の活動期間の満期を迎えるが、令和6年度以降の再認定に向けた今後の保全活動について、活動組織からは過疎化、構成員の高齢化に伴い参加者の減少が見込まれ継続した活動への不安の声もあったことから、農業者のみならず非農業者からの人材確保や少人数でも効率的に保全活動が行えるよう、研修会や事例紹介等情報提供を継続して実施し課題の改善に努めた。 向上活動に取組んでいる組織では、小学生向けに行っている生き物調査、田植えや稲刈り体験学習が大変好評であり、ふるさとの地域環境の素晴らしさや地域農業について啓発するために継続は大切と考える。身近な地域資源を適切に保全管理し良好に守って行くためにも、本交付金事業の活用により、各構成団体との連携や後継者、担い手の育成等、地域全体での活動を継続していくことが重要である。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	200,671,000	200,670,670	150,502,999			50,167,671		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		ため池等整備事業（用排水施設整備工事）			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	県営事業負担金		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する			
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 72		
目的及び事業内容		東日本大震災により排水機能が低下しているため、湛水被害を最小限とすることを目的とし、ため池等整備事業（石巻中部二期事業）について、宮城県が実施するもの。						
取 組 実 績		宮城県の請求により、法令で定められた割合の県営事業費負担金を支出した。 1 石巻中部二期地区（事業期間：令和4年度～令和8年度） 令和5年度事業費・・・372,117千円（内10千円は県単費につき市負担なし） ※令和5年度市負担分・・・63,258千円						
		主な事業内容			事業費		市負担分	
		曾波神機械排水路外工事 ・ L型水路工 L=161.10m			223,181千円		37,940千円	
		宮沢堀排水路外工事 ・ 底版コンクリート工 L=153.00m			115,520千円		19,638千円	
		大新簡排水機場外設計資料作成業務 一式			1,997千円		339千円	
		曾波神排水路外建物事後調査業務 ・ 調査対象 N=7箇所			5,638千円		958千円	
		石巻中部地区補足設計業務 一式			4,364千円		742千円	
		嘉右衛門堀排水路補足設計業務 一式			10,198千円		1,734千円	
		石巻中部地区付帯工測量設計業務 一式			3,807千円		647千円	
		用地買収補償費（堤外水路外借地）一式			7,412千円		1,260千円	
		計			372,117千円		63,258千円	
		総事業費・・・・・・・・1,000,000千円（負担割合：国 55%、県 28%、市 17%） ※市負担分・・・・・・・・ 170,000千円						
成 果	令和5年度に宮城県が実施した業務及び工事は、曾波神機械排水路外建物事後調査業務、石巻中部地区補足設計業務、曾波神機械排水路外工事であり、工事については、約5割終了している。 なお、その他の業務及び工事については、令和6年度へ繰越している状況である。							
成果に係る評価	当該事業において排水機場の排水量増量や排水路の改修が行われることにより、施設周辺の災害を未然に防止する効果や、自然排水が機能しないことによる生活環境悪化を防止する効果が高まる。 令和8年度完工に向け、引き続き県と連携し、事業を進めていく。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	63,258,000	63,258,000		56,900,000		6,358,000		

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名	農業用河川工作物応急対応事業		
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興	
	事業	県営事業負担金		(1)	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する	
担当部課		産産部農林課	実施計画掲載ページ		P 72	
目的及び事業内容		農村地域防災減災事業（農業用河川工作物等応急対策事業）を活用して、農業用施設の改修することを目的とし宮城県が実施するもの。				
取組実績		宮城県の請求により、法令で定められた割合の県営事業費負担金を支出した。 1 檜崎地区（事業期間：令和4年度～令和9年度） （1） 内容 檜崎用水樋管撤去調査設計業務 檜崎用水樋管 鋼矢板土留工の二次元弾塑性 F E M解析 N =1断面、 ボーリング調査 N =2箇所、軟弱地盤技術解析一式 （2） 総事業費・・・・・・1,089,000千円（負担割合：国 55%、県 37%、市 8%） ※市負担分・・・・・・ 87,120千円 （3） 令和5年度事業費・・・・ 26,000千円 ※令和5年度市負担分・・・ 2,080千円 2 真野・高木地区（事業期間：令和3年度～令和12年度） （1） 調査事業の内容 ア 事業本体（国負担100%の調査事業） 真野サイホン外測量設計業務（10,970,3千円） 高木サイホン地質調査業務（6,029,7千円） 真野サイホン外機能診断及び健全度評価業務（14,934千円） 総事業費：31,934千円 イ 国庫補助の対象外事務経費（153,000円） （2） 令和5年度事業費・・・・・・375千円（事務経費 宮城県50%、石巻市50%） ※令和5年度負担分・・・・・・187千円				
成果		檜崎地区については、調査設計中であり、令和8年度工事開始を目指している状況。真野・高木地区については、計画策定中であり、令和8年度工事業認可を目指している状況。 工事の進捗率は、いずれも0%である。				
成果に係る評価		檜崎樋管については、当該樋管を用いて農業用水を取水する必要がなくなったことから、施設の撤去が行われることにより、占用許可を取得していた樋管用地を国土交通省に返却できる。 真野・高木排水樋管については、令和3年度から令和5年度まで実施する調査業務後令和6年度以降に実施予定の修繕工事が行われることにより、本来の機能回復が図られ、周辺農地等の湛水被害を未然に防止する効果が高まる。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,267,000	2,267,000		1,900,000		367,000

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業）			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	県営事業負担金		（ 1 ）	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する			
担当部課		産産部農林課		実施計画掲載ページ		P 73		
目的及び事業内容		将来の農業生産を担う経営体の育成を図りながら、高生産性農業の展開に必要な生産基盤を整備するとともに、農地利用の効率化を図ることにより食料自給率の向上に資することを目的とする。 事業内容は、ほ場区画を拡大するとともに、用排水路の分離・農道・暗渠排水等を一体的に整備し、ほ場の汎用化を図る。						
取組実績	1 農地整備事業に係る負担金（単位：円）							
	地 区	事業費	国 (50%)	県 (27.5%)	市 (10%)	地元 (12.5%)		
	深谷西地区	34,230,000	17,116,000	9,413,000	3,423,000	4,278,000		
	深谷西地区（追加）	41,076,000	20,539,000	11,295,000	4,108,000	5,134,000		
	深谷東地区	100,000,000	50,000,000	27,500,000	10,000,000	12,500,000		
	深谷東地区（追加）	380,000,000	190,000,000	104,500,000	38,000,000	47,500,000		
	小 計	555,306,000	277,655,000	152,708,000	55,531,000	69,412,000		
	（単位：円）							
	地 区	事業費	国 (55%)	県 (27.5%)	市 (10%)	地元 (7.5%)		
	大森地区	235,500,000	129,526,000	64,762,000	23,550,000	17,662,000		
福地地区	41,000,000	22,550,000	11,275,000	4,100,000	3,075,000			
福地地区（追加）	310,000,000	170,500,000	85,250,000	31,000,000	23,250,000			
小 計	586,500,000	322,576,000	161,287,000	58,650,000	43,987,000			
（単位：円）								
合 計		事業費	国	県 (27.5%)	市 (10%)	地元		
		1,141,806,000	600,231,000	313,995,000	114,181,000	113,399,000		
成果	1 農地整備面積及び整備率（測量等、工事に係る事業）							
	地 区	事業年度	農用地面積	整備面積	進捗率			
	深谷西地区	R4～R12	265.6 h a	5.3 h a	2.0%			
	深谷東地区	R3～R11	124.1 h a	34.4 h a	27.7%			
	大森地区	R3～R11	178.5 h a	26.2 h a	14.7%			
	福地地区	R2～R7	37.6 h a	24.4 h a	64.9%			
	合 計		605.8 h a	90.3 h a	14.9%			
	2 面的整備面積及び整備率（ほ場に客土等を入れる等の実工事）							
	地 区	面的整備年度	農用地面積	整備面積	進捗率			
	深谷西地区	R5～R12	265.6 h a	0 h a	0.0%			
深谷東地区	R5～R11	124.1 h a	22.7 h a	18.3%				
大森地区	R5～R11	178.5 h a	26.1 h a	14.6%				
福地地区	R4～R7	37.6 h a	12.2 h a	32.4%				
合 計		605.8 h a	61.0 h a	10.1%				
成果に係る評価	1 農地整備事業 農地整備事業により、ほ場の区画を拡大することによって耕作農地の集約を図りつつ効率性を高め、高収益作物の導入・拡大等を図る農地の大区画化・汎用化により作業効率が上がる。							
	2 面的整備事業 令和5年度に深谷東、大森地区が着工開始し、令和4年度に着工開始した福地地区を含め3地区でほ場の汎用化が図られた。							
予算の執行状況	（単位：円）							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
			114,181,000	114,181,000		88,900,000		25,281,000

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		農業経営高度化支援事業（調査・調整事業）			
	1 項	農業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	5 目	農地費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興			
	事業	ほ場整備事業費		（ 1 ）	豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する			
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 73			
目的及び事業内容			農地の利用集積を促進するとともに、経営体の大規模化を図り、生産性の高い水田農業を促進する。 また、農地集積の目標値を達成することにより、ほ場整備に係る事業費の農家負担が軽減される。 農地整備事業に係るソフト事業として、農家の意向調査・土地利用調整活動等を実施する。					
取 組 実 績			1 調査調整事業委託料（単位：円）					
			地 区	事業費	国（50%）	県（25%）	市（25%）	委託先
			深谷西地区	2,000,000	1,000,000	500,000	500,000	河南矢本土地改良区
			深谷東地区	2,000,000	1,000,000	500,000	500,000	河南矢本土地改良区
			小 計	4,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
			（単位：円）					
地 区	事業費	国（55%）	県（22.5%）	市（22.5%）	委託先			
大森地区	2,000,000	1,100,000	450,000	450,000	石巻市北方土地改良区			
福地地区	1,000,000	550,000	225,000	225,000	北上川沿岸土地改良区			
小 計	3,000,000	1,650,000	675,000	675,000				
（単位：円）								
合 計	事業費	国	県	市	委託先			
	7,000,000	3,650,000	1,675,000	1,675,000	3土地改良区			
※ 深谷西地区のみ、受益地が石巻市分と東松島市分があるため面積に応じた負担額となる。								
（単位：円）								
市負担額	石巻市（68.5%）	東松島市分（31.5%）						
500,000	343,000	157,000						

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		松くい虫対策事業																																
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																
	2 目	林業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																
	事業	松くい虫対策事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する																																
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 74																															
目的及び事業内容			松くい虫からの被害拡大を防止し、景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布による予防を実施する。																																		
取 組 実 績			<table><thead><tr><th colspan="2">事業名</th><th>事業量</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="2">松くい虫被害木等調査業務 石巻、河北、桃生、牡鹿地区、田代島、網地島</td><td>3,481本 182.45 h a</td></tr><tr><td colspan="2">松くい虫伐倒駆除事業 石巻地区</td><td>241本 133.651㎡</td></tr><tr><td colspan="2">樹幹注入による松林保全対策事業 石巻、雄勝地区、金華山</td><td>265本</td></tr><tr><td colspan="2">松くい虫防除事業（空中散布） 田代島、網地島</td><td>181.56 h a</td></tr><tr><td colspan="2">森林育成事業衛生伐（内地）伐倒駆除 石巻、河北、桃生、牡鹿地区</td><td>1,637本 1,046.884㎡</td></tr><tr><td colspan="2">森林育成事業衛生伐（離島）伐倒駆除 田代島、網地島</td><td>756本 267.780㎡</td></tr></tbody></table>					事業名		事業量	松くい虫被害木等調査業務 石巻、河北、桃生、牡鹿地区、田代島、網地島		3,481本 182.45 h a	松くい虫伐倒駆除事業 石巻地区		241本 133.651㎡	樹幹注入による松林保全対策事業 石巻、雄勝地区、金華山		265本	松くい虫防除事業（空中散布） 田代島、網地島		181.56 h a	森林育成事業衛生伐（内地）伐倒駆除 石巻、河北、桃生、牡鹿地区		1,637本 1,046.884㎡	森林育成事業衛生伐（離島）伐倒駆除 田代島、網地島		756本 267.780㎡									
事業名		事業量																																			
松くい虫被害木等調査業務 石巻、河北、桃生、牡鹿地区、田代島、網地島		3,481本 182.45 h a																																			
松くい虫伐倒駆除事業 石巻地区		241本 133.651㎡																																			
樹幹注入による松林保全対策事業 石巻、雄勝地区、金華山		265本																																			
松くい虫防除事業（空中散布） 田代島、網地島		181.56 h a																																			
森林育成事業衛生伐（内地）伐倒駆除 石巻、河北、桃生、牡鹿地区		1,637本 1,046.884㎡																																			
森林育成事業衛生伐（離島）伐倒駆除 田代島、網地島		756本 267.780㎡																																			
成 果			昭和50年に県内初の松くい虫被害が本市の大門崎地区で確認され、21年後、平成8年度のピーク時点で、石巻圏域で14,000㎡の被害量が確認された。 その後の被害量は、東日本大震災の影響による防除不足から、平成24年度で一時的に被害量が増加したものの、全体的に減少傾向となり、平成28年以降の石巻圏域においての年間被害量は、約5,000㎡で推移することができている。 本市においては、令和5年度に1,448.31㎡の伐倒駆除を行い、被害量の拡大防止を図ることができた。 松くい虫被害木の駆除量の推移 <table><thead><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>業務実施量</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>3,120.00㎡</td><td>1,154.50㎡</td><td>37.0%</td></tr><tr><td>R2</td><td>2,658.50㎡</td><td>1,415.40㎡</td><td>53.2%</td></tr><tr><td>R3</td><td>1,946.20㎡</td><td>1,665.93㎡</td><td>85.6%</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,946.20㎡</td><td>1,846.71㎡</td><td>94.9%</td></tr><tr><td>R5</td><td>1,946.20㎡</td><td>1,448.31㎡</td><td>74.4%</td></tr><tr><td>計</td><td>11,617.10㎡</td><td>7,530.85㎡</td><td>64.8%</td></tr></tbody></table>					年度	成果指標		達成率	目標値	業務実施量	R1	3,120.00㎡	1,154.50㎡	37.0%	R2	2,658.50㎡	1,415.40㎡	53.2%	R3	1,946.20㎡	1,665.93㎡	85.6%	R4	1,946.20㎡	1,846.71㎡	94.9%	R5	1,946.20㎡	1,448.31㎡	74.4%	計	11,617.10㎡	7,530.85㎡	64.8%
年度	成果指標		達成率																																		
	目標値	業務実施量																																			
R1	3,120.00㎡	1,154.50㎡	37.0%																																		
R2	2,658.50㎡	1,415.40㎡	53.2%																																		
R3	1,946.20㎡	1,665.93㎡	85.6%																																		
R4	1,946.20㎡	1,846.71㎡	94.9%																																		
R5	1,946.20㎡	1,448.31㎡	74.4%																																		
計	11,617.10㎡	7,530.85㎡	64.8%																																		
成果に係る評価			これまでの継続的な対策により、松くい虫被害の拡大防止が図られている。 また、近年の猛暑などによって、松くい虫被害量にどのように影響を及ぼすのか不明な部分もあるので、今後の被害量を注視し、被害拡大への予防と駆除を継続的に行っていく必要がある。																																		
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	62,055,000	57,311,126	37,972,363		5,685,000	13,653,763																															

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		造林事業																																				
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																				
	3 目	造林費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																				
	事業	造林事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する																																				
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 74																																				
目的及び事業内容		国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面的機能を有し、これらの機能を持続的に発揮させ、林業経営の指針となるため、市有林の適正な管理を行う。																																							
取 組 実 績		<table><tr><td>取組内容</td><td>地 区</td><td>事 業 量</td></tr><tr><td>①下刈り</td><td>石巻、河北</td><td>7.96 h a</td></tr><tr><td>②保育間伐</td><td>石巻、河北、雄勝、北上、牡鹿</td><td>36.51 h a</td></tr></table> <table><tr><td>取組内容</td><td>①下刈り</td><td>②保育間伐</td><td>計</td><td>備 考</td></tr><tr><td rowspan="4">事業費</td><td>国補助金</td><td>1,105,992円</td><td>2,739,024円</td><td>3,845,016円</td><td>(標準経費×1.7)×30%</td></tr><tr><td>県補助金</td><td>368,664円</td><td>913,008円</td><td>1,281,672円</td><td>(標準経費×1.7)×10%</td></tr><tr><td>市負担額</td><td>1,275,344円</td><td>7,171,968円</td><td>8,447,312円</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>2,750,000円</td><td>10,824,000円</td><td>13,574,000円</td><td></td></tr></table>					取組内容	地 区	事 業 量	①下刈り	石巻、河北	7.96 h a	②保育間伐	石巻、河北、雄勝、北上、牡鹿	36.51 h a	取組内容	①下刈り	②保育間伐	計	備 考	事業費	国補助金	1,105,992円	2,739,024円	3,845,016円	(標準経費×1.7)×30%	県補助金	368,664円	913,008円	1,281,672円	(標準経費×1.7)×10%	市負担額	1,275,344円	7,171,968円	8,447,312円		計	2,750,000円	10,824,000円	13,574,000円	
取組内容	地 区	事 業 量																																							
①下刈り	石巻、河北	7.96 h a																																							
②保育間伐	石巻、河北、雄勝、北上、牡鹿	36.51 h a																																							
取組内容	①下刈り	②保育間伐	計	備 考																																					
事業費	国補助金	1,105,992円	2,739,024円	3,845,016円	(標準経費×1.7)×30%																																				
	県補助金	368,664円	913,008円	1,281,672円	(標準経費×1.7)×10%																																				
	市負担額	1,275,344円	7,171,968円	8,447,312円																																					
	計	2,750,000円	10,824,000円	13,574,000円																																					
成 果		間伐区域の現地調査の結果、区域の一部が広葉樹林化していたため、間伐面積が減少し、成果指標を達成することができなかったが、市有林の環境改善と森林資源の育成を図ることができた。 事業面積（間伐） <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>38 h a</td><td>9.98 h a</td><td>26.2%</td></tr><tr><td>R2</td><td>30 h a</td><td>21.74 h a</td><td>72.4%</td></tr><tr><td>R3</td><td>19 h a</td><td>21.89 h a</td><td>115.2%</td></tr><tr><td>R4</td><td>19 h a</td><td>64.94 h a</td><td>341.7%</td></tr><tr><td>R5</td><td>45 h a</td><td>36.51 h a</td><td>81.1%</td></tr><tr><td>計</td><td>151 h a</td><td>155.06 h a</td><td>102.6%</td></tr></table>					年度	成果指標		達成率	目標値	実績値	R1	38 h a	9.98 h a	26.2%	R2	30 h a	21.74 h a	72.4%	R3	19 h a	21.89 h a	115.2%	R4	19 h a	64.94 h a	341.7%	R5	45 h a	36.51 h a	81.1%	計	151 h a	155.06 h a	102.6%					
年度	成果指標		達成率																																						
	目標値	実績値																																							
R1	38 h a	9.98 h a	26.2%																																						
R2	30 h a	21.74 h a	72.4%																																						
R3	19 h a	21.89 h a	115.2%																																						
R4	19 h a	64.94 h a	341.7%																																						
R5	45 h a	36.51 h a	81.1%																																						
計	151 h a	155.06 h a	102.6%																																						
成果に係る評価		山地災害の低減や市場への木材流通を図るため、市有林の適正な管理を実施し、林業経営の指針となるよう事業を継続する必要がある。																																							
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	16,200,000	13,574,000	5,126,688			8,447,312																																			

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		森林環境保全整備（間伐）事業		
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	造林費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興		
	事業	次世代森林づくり支援事業費		（ 3 ）	豊かで身近な森林を再生する		
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 74	
目的及び事業内容		良質な木材の生産・水源涵養・山地災害防止を促進するため、成熟しつつある森林資源を有する森林経営計画認定の私有林人工林間伐へ補助を行い推進を図るもの。					
取 組 実 績		令和5年度の取組					
		取 組 内 容				事 業 量	
		森林経営計画認定者が実施する私有林人工林の間伐				12.48 h a	
		交付先： 石巻地区森林組合（業務受注者） ※補助金は、森林組合が受領し、精算後の不足額を山林所有者が負担する。 事業費： 20,066,000円					
		財 源	内 訳	負 担 割 合	交 付 方 法		
		国補助金	6,019,000円	(30%以内)	国補助金を県から、森林組合へ支払い		
		県補助金	2,006,000円	(10%以内)	県から国補助金を併せ、森林組合へ支払い		
		市補助金	1,003,000円	(5%以内)	市から森林組合へ支払い		
		所有者負担	11,038,000円	(55%以上)			
		合 計	20,066,000円	100%			
成 果		私有林人工林の間伐への支援を行うことにより、多様な機能を有する森林資源の造成と山地災害の発生リスクが低減された。 私有林人工林の間伐の推移					
		年度	成果指標		達成率		
			目標値	実績値			
		R1	32 h a	15.48 h a	48.4 %		
		R2	20 h a	13.98 h a	69.9 %		
		R3	15 h a	11.26 h a	75.1 %		
		R4	15 h a	4.00 h a	26.7 %		
		R5	15 h a	12.48 h a	83.2 %		
		計	97 h a	57.20 h a	59.0 %		
成果に係る評価		本事業を活用した私有林人工林の間伐が継続的に行われることにより、山林環境が改善され、樹木の適正な育成に寄与できた。 山林機能の維持と市場への木材供給を安定的に行うため、今後も継続する必要がある。					
予算の執行状況		(単位：円)					
		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		1,048,000	1,003,000				1,003,000

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		みやぎの豊かな森林づくり支援事業																															
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																															
	3 目	造林費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																															
	事業	次世代森林づくり支援事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する																															
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 74																															
目的及び事業内容		森林資源として成熟しつつある私有林人工林の適正な保育のため、間伐を推進し、森林整備を着実に合理的に推進する。国庫補助の要件に満たない小規模な私有林人工林の間伐が対象。																																		
取組実績		令和5年度を取組 <table><thead><tr><th>取組内容</th><th>事業量</th></tr></thead><tbody><tr><td>36年生以上の私有林人工林間伐（間伐率20%以上・搬出なし）</td><td>6.17 h a</td></tr></tbody></table> 交付先： 石巻地区森林組合（業務受注者） ※補助金は、森林組合が受領し、精算後の不足額を山林所有者が負担する。 事業費： 2,264,000円 <table><thead><tr><th>財源</th><th>内 訳</th><th>負担割合</th><th>交付方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>県補助金</td><td>1,131,000円</td><td>(50%以内)</td><td>市町村振興総合補助金から森林組合へ支払い</td></tr><tr><td>市補助金</td><td>113,000円</td><td>(5%以内)</td><td>市から県補助金を併せ、森林組合へ支払い</td></tr><tr><td>所有者負担</td><td>1,020,000円</td><td>(45%以上)</td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,264,000円</td><td>100%</td><td></td></tr></tbody></table>					取組内容	事業量	36年生以上の私有林人工林間伐（間伐率20%以上・搬出なし）	6.17 h a	財源	内 訳	負担割合	交付方法	県補助金	1,131,000円	(50%以内)	市町村振興総合補助金から森林組合へ支払い	市補助金	113,000円	(5%以内)	市から県補助金を併せ、森林組合へ支払い	所有者負担	1,020,000円	(45%以上)		合 計	2,264,000円	100%							
取組内容	事業量																																			
36年生以上の私有林人工林間伐（間伐率20%以上・搬出なし）	6.17 h a																																			
財源	内 訳	負担割合	交付方法																																	
県補助金	1,131,000円	(50%以内)	市町村振興総合補助金から森林組合へ支払い																																	
市補助金	113,000円	(5%以内)	市から県補助金を併せ、森林組合へ支払い																																	
所有者負担	1,020,000円	(45%以上)																																		
合 計	2,264,000円	100%																																		
成果		高齢級人工林や0.1 h a未満の小規模な私有林人工林の間伐を促進することにより、森林整備が進み、良質木材の生産及び森林環境の保全が図られた。 人工林間伐の推移 <table><thead><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>8 h a</td><td>5.78 h a</td><td>72.2 %</td></tr><tr><td>R2</td><td>8 h a</td><td>5.30 h a</td><td>66.2 %</td></tr><tr><td>R3</td><td>8 h a</td><td>6.67 h a</td><td>83.3 %</td></tr><tr><td>R4</td><td>8 h a</td><td>6.58 h a</td><td>82.2 %</td></tr><tr><td>R5</td><td>8 h a</td><td>6.17 h a</td><td>77.1 %</td></tr><tr><td>計</td><td>40 h a</td><td>30.50 h a</td><td>76.2 %</td></tr></tbody></table>					年度	成果指標		達成率	目標値	実績値	R1	8 h a	5.78 h a	72.2 %	R2	8 h a	5.30 h a	66.2 %	R3	8 h a	6.67 h a	83.3 %	R4	8 h a	6.58 h a	82.2 %	R5	8 h a	6.17 h a	77.1 %	計	40 h a	30.50 h a	76.2 %
年度	成果指標		達成率																																	
	目標値	実績値																																		
R1	8 h a	5.78 h a	72.2 %																																	
R2	8 h a	5.30 h a	66.2 %																																	
R3	8 h a	6.67 h a	83.3 %																																	
R4	8 h a	6.58 h a	82.2 %																																	
R5	8 h a	6.17 h a	77.1 %																																	
計	40 h a	30.50 h a	76.2 %																																	
成果に係る評価		予算内で補助金執行に努めたが、人件費や物価高騰の影響により施工単価が上昇したため、予算内での成果指標目標を達成できなかった。 令和6年度は、目標達成のため、予算額の見直しを図っている。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	1,244,000	1,244,000	1,131,000		100,000	13,000																														

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		森林環境整備事業									
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち									
	5 目	森林環境整備費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興									
	事業	森林環境整備事業費		(3)	豊かで身近な森林を再生する									
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 75									
目的及び事業内容			パリ協定の枠組みの下における日本の温室効果ガス排出削減目標の達成や森林の災害防止等を図るため、森林整備等に必要な施策を行う。											
取 組 実 績			災害リスクが高い山地災害危険地区 A に指定され、過去10年で森林整備が行われず、荒廃した私有林を対象に市へ森林経営管理権を委託するかを土地所有者へ確認し、希望された山林において、市が森林所有者に替わって、間伐業務を行う森林環境整備事業の進捗を図るため、以下の業務を実施した。											
			1 令和5年度を取組（令和4年度から明許繰越）（単位：円）											
			取 組 内 容		事業量	決算額								
			意向調査（過去の間伐履歴の調査）		996.08 h a	9,083,000								
意向調査（市への森林経営管理権委託に対する意向確認）		171.94 h a	1,310,000											
集積計画（森林経営に適した森林を判定するための計画）		94.92 h a	23,169,000											
間伐業務（荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施）		17.63 h a	9,338,000											
		計	42,900,000											
2 令和5年度を取組（令和5年度現年）（単位：円）														
取 組 内 容		事業量	決算額											
宮城県森林クラウドシステム運用業務		1業務	396,000											
湊字草刈山地内私有林危険木伐採業務ほか1業務		67本	2,937,000											
		計	3,333,000											
		合 計	46,233,000											
成 果			森林経営管理制度を活用し、10年以上森林整備が行われていなかった荒廃した私有林人工林の間伐を行うことにより、山地災害のリスク低減を図った。 また、宮城県森林クラウドシステム運用業務においては、宮城県と本市が森林情報をクラウドシステムによる情報共有を図ったことにより、森林情報を適宜把握ができ、適切な森林管理に役立てることができた。											
			<table><tr><td>年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>計</td></tr><tr><td>間伐面積の実績</td><td>13.09 h a</td><td>17.63 h a</td><td>30.72 h a</td></tr></table>				年度	令和4年度	令和5年度	計	間伐面積の実績	13.09 h a	17.63 h a	30.72 h a
			年度	令和4年度	令和5年度	計								
			間伐面積の実績	13.09 h a	17.63 h a	30.72 h a								
参考 R5からR6への繰越内容（単位：円）														
取 組 内 容		事業量	繰越額											
意向調査（過去の間伐履歴の調査）		801.84 h a	7,814,000											
意向調査（市への森林経営管理権委託に対する意向確認）		1,802.92 h a	14,053,000											
集積計画（森林経営に適した森林を判定するための計画）		75.70 h a	19,884,100											
間伐業務（荒廃した私有林の保育間伐を所有者に替わり市が実施）		26.26 h a	14,306,000											
		計	56,057,100											
成果に係る評価			令和4年度に契約し、令和5年度へ繰り越した、意向調査、集積計画及び間伐が完了した。 成果指標の目標値に設定した間伐面積58 h aに対し、実績は17.63 h aで達成率は30.4%となった。 成果指標の目標値を下回った理由は、意向調査に対する間伐面積の割合を当初は概ね50%と見込んでいたところ、結果は概ね34%となったことが影響している。 また令和5年度発注業務より、今後の間伐面積の増加に向け、意向調査発注面積を増加しており、今後の間伐目標値の達成を目指している。											
予算の執行状況			（単位：円）											
			予算額	決算額	決算額の財源内訳									
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源						
46,800,000		46,233,000			46,233,000									

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		小規模治山事業																										
	2 項	林業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																										
	7 目	治山費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																										
	事業	小規模治山事業対策費		(3)	豊かで身近な森林を再生する																										
担当部課		産業部農林課		実施計画掲載ページ		P 75																									
目的及び事業内容			落石や崩落の恐れがある山林法面において、市民の安全安心を確保するため、小規模治山工事を実施し、災害の防止を図るもの。																												
取 組 実 績			令和3年度は牡鹿寄磯地区、令和4年度及び5年度は北上大指地区の治山工事を実施した。 <table><tr><td>年度</td><td colspan="2">事業名</td><td colspan="3">事業内容</td></tr><tr><td>R3</td><td colspan="2">寄磯浜小規模治山対策（その3）工事</td><td colspan="3">施工延長 L =21.0m 落石防護柵工 L =21.0m</td></tr><tr><td>R4</td><td colspan="2">北上町十三浜大指小規模治山対策工事</td><td colspan="3">施工延長 L =10.2m 吹付砕工 A =108.6㎡</td></tr><tr><td>R5</td><td colspan="2">北上町十三浜大指小規模治山対策（その2）工事</td><td colspan="3">施工延長 L =20.3m 吹付砕工 A =37.9㎡ モルタル吹付工 A =102.4㎡</td></tr></table>					年度	事業名		事業内容			R3	寄磯浜小規模治山対策（その3）工事		施工延長 L =21.0m 落石防護柵工 L =21.0m			R4	北上町十三浜大指小規模治山対策工事		施工延長 L =10.2m 吹付砕工 A =108.6㎡			R5	北上町十三浜大指小規模治山対策（その2）工事		施工延長 L =20.3m 吹付砕工 A =37.9㎡ モルタル吹付工 A =102.4㎡		
年度	事業名		事業内容																												
R3	寄磯浜小規模治山対策（その3）工事		施工延長 L =21.0m 落石防護柵工 L =21.0m																												
R4	北上町十三浜大指小規模治山対策工事		施工延長 L =10.2m 吹付砕工 A =108.6㎡																												
R5	北上町十三浜大指小規模治山対策（その2）工事		施工延長 L =20.3m 吹付砕工 A =37.9㎡ モルタル吹付工 A =102.4㎡																												
成 果			当該事業は、宮城県の小規模山地災害対策促進事業補助金を活用しており、令和5年度に実施した北上町十三浜大指地区の治山工事は、令和4年度と同5年度で、分割発注し治山工事を完成させた。治山施設の整備により、落石が無くなり、大指漁港で働く漁業関係者の安全安心が確保できた。 <table><tr><td rowspan="2">年度</td><td colspan="2">成果指標</td><td rowspan="2">達成率</td><td rowspan="2">備 考</td></tr><tr><td>目標値</td><td>実績値</td></tr><tr><td>R3</td><td>21 m</td><td>21 m</td><td>100 %</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>9.2 m</td><td>10.2 m</td><td>100 %</td><td>実績値は目標値を超えたが、施工誤差によるものであるため、達成率は100%とした。</td></tr><tr><td>R5</td><td>18.6 m</td><td>20.3 m</td><td>100 %</td><td>実績値は目標値を超えたが、施工誤差によるものであるため、達成率は100%とした。</td></tr></table>					年度	成果指標		達成率	備 考	目標値	実績値	R3	21 m	21 m	100 %		R4	9.2 m	10.2 m	100 %	実績値は目標値を超えたが、施工誤差によるものであるため、達成率は100%とした。	R5	18.6 m	20.3 m	100 %	実績値は目標値を超えたが、施工誤差によるものであるため、達成率は100%とした。		
年度	成果指標		達成率	備 考																											
	目標値	実績値																													
R3	21 m	21 m	100 %																												
R4	9.2 m	10.2 m	100 %	実績値は目標値を超えたが、施工誤差によるものであるため、達成率は100%とした。																											
R5	18.6 m	20.3 m	100 %	実績値は目標値を超えたが、施工誤差によるものであるため、達成率は100%とした。																											
成果に係る評価			令和5年度の北上町十三浜大指地区の治山工事は、計画期間内かつ計画額内で、完成させることができた。今後においても、迅速かつコスト削減を心がけ、市民の安心安全に寄与するよう、取り組むこととしたい。																												
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	7,500,000	7,458,000	2,346,000	4,600,000		512,000																									

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		密漁対策助成事業																																																																							
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																							
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																																																																							
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する																																																																							
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 68																																																																							
目的及び事業内容		広域的・組織的に行われているアワビ・ウニの密漁を防止するため、宮城県中部東海区（雄勝・牡鹿地区、女川町）に位置する宮城県漁業協同組合各支所及び牡鹿漁業協同組合で宮城県中部東海区密漁対策委員会を組織。 同委員会に対し、共同監視事業に従事する監視船及び陸上監視所の活動経費の一部を補助し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る。																																																																										
取 組 実 績		1 宮城県中部東海区密漁対策委員会による広域密漁監視活動実施状況（令和5年度） <table><tr><th rowspan="2">実施漁協（支所）名</th><th colspan="2">年間監視実績</th><th rowspan="2">監視に要した年間経費</th><th colspan="2">補助金配分額（金額：円）</th></tr><tr><th>日数</th><th>時間</th><th></th><th></th></tr><tr><td>宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船</td><td>8</td><td>35.5</td><td>682,527</td><td>石巻市</td><td>136,345</td></tr><tr><td>宮城県漁協女川町支所（出島）監視船、監視所</td><td>145</td><td>992.0</td><td>3,386,752</td><td>女川町</td><td>269,942</td></tr><tr><td>宮城県漁協女川町支所（江島）監視船、監視所</td><td>350</td><td>2753.5</td><td>13,688,436</td><td>女川町</td><td>1,230,058</td></tr><tr><td>宮城県漁協寄磯前網支所 監視船</td><td>110</td><td>220.0</td><td>1,967,084</td><td>石巻市</td><td>785,470</td></tr><tr><td>牡鹿漁協 監視船</td><td>104</td><td>301.5</td><td>4,056,779</td><td>石巻市</td><td>1,778,185</td></tr><tr><td>宮城県漁協谷川支所（泊浜）監視船</td><td colspan="5">組合員の高齢化や運航経費等の問題から実施していない。</td></tr><tr><td>宮城県漁協網地島支所 監視船</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>宮城県漁協表浜支所 監視船</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>合 計</td><td>717</td><td>4,302.5</td><td>23,781,578</td><td>石巻市</td><td>2,700,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>女川町</td><td>1,500,000</td></tr></table>					実施漁協（支所）名	年間監視実績		監視に要した年間経費	補助金配分額（金額：円）		日数	時間			宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船	8	35.5	682,527	石巻市	136,345	宮城県漁協女川町支所（出島）監視船、監視所	145	992.0	3,386,752	女川町	269,942	宮城県漁協女川町支所（江島）監視船、監視所	350	2753.5	13,688,436	女川町	1,230,058	宮城県漁協寄磯前網支所 監視船	110	220.0	1,967,084	石巻市	785,470	牡鹿漁協 監視船	104	301.5	4,056,779	石巻市	1,778,185	宮城県漁協谷川支所（泊浜）監視船	組合員の高齢化や運航経費等の問題から実施していない。					宮城県漁協網地島支所 監視船						宮城県漁協表浜支所 監視船						合 計	717	4,302.5	23,781,578	石巻市	2,700,000					女川町	1,500,000
実施漁協（支所）名	年間監視実績		監視に要した年間経費	補助金配分額（金額：円）																																																																								
	日数	時間																																																																										
宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船	8	35.5	682,527	石巻市	136,345																																																																							
宮城県漁協女川町支所（出島）監視船、監視所	145	992.0	3,386,752	女川町	269,942																																																																							
宮城県漁協女川町支所（江島）監視船、監視所	350	2753.5	13,688,436	女川町	1,230,058																																																																							
宮城県漁協寄磯前網支所 監視船	110	220.0	1,967,084	石巻市	785,470																																																																							
牡鹿漁協 監視船	104	301.5	4,056,779	石巻市	1,778,185																																																																							
宮城県漁協谷川支所（泊浜）監視船	組合員の高齢化や運航経費等の問題から実施していない。																																																																											
宮城県漁協網地島支所 監視船																																																																												
宮城県漁協表浜支所 監視船																																																																												
合 計	717	4,302.5	23,781,578	石巻市	2,700,000																																																																							
				女川町	1,500,000																																																																							
成 果		組合員の高齢化や運航経費の負担などにより監視活動を実施していない漁協支所があるが、実施可能な漁協支所による継続的な監視活動を行った。監視船が密漁行為を未然に防止し、沿岸漁業資源の保護に努めることができた。継続的な監視活動を実施した結果、密漁船の出没が減少する等の成果に繋がっている。 ○監視実績 <table><tr><th>年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>延べ監視日数</td><td>889日</td><td>687日</td><td>717日</td></tr><tr><td>延べ監視時間</td><td>4,873.5時間</td><td>4,097.5時間</td><td>4,302.5時間</td></tr></table>					年度	R3	R4	R5	延べ監視日数	889日	687日	717日	延べ監視時間	4,873.5時間	4,097.5時間	4,302.5時間																																																										
年度	R3	R4	R5																																																																									
延べ監視日数	889日	687日	717日																																																																									
延べ監視時間	4,873.5時間	4,097.5時間	4,302.5時間																																																																									
成果に係る評価		三陸沿岸域で横行するウニ・アワビ等磯根資源の密漁防止に向けた取り組みは、震災前から行われていたが、震災後の住民の高台移転や防潮堤の整備等で夜間の浜は、漁業者の監視の目が届かない状況となっている。 近年、密漁者の手口はより悪質・巧妙化しているため、継続的な夜間の密漁監視船の監視活動は絶対に欠かすことはできない。また、海水温の高温による藻場の減少も見られ水揚げ量が減少傾向にある中で、密漁行為を防止することが水揚げ量の増加に繋がる。このためにも、監視船等の人件費、燃料費及び経年老朽化に伴う修繕費等維持経費は、実施主体の大きな負担となっているため本事業を継続的かつ良好に維持し、本市沿岸水産資源の保護、漁家経営の安定のためには継続的な支援が欠かせない。																																																																										
(単位：円)																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																						
	2,700,000	2,700,000			2,000,000	700,000																																																																						

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		種苗放流事業	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する	
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 68	
目的及び事業内容		沿岸漁業において、獲る漁業からつくり育てる漁業への移行を促進することにより漁家経営の安定化を図るため、漁業協同組合が行う地先資源アワビの種苗放流事業に対して助成金を交付し、水揚量の維持安定を図るもの。				
取組実績		各漁業協同組合が有償で購入したアワビの稚貝に対して補助金を交付した。				
		令和5年度	補助金交付先	交付額	稚貝数	
					有償分	無償分
		アワビ 稚貝購入	県漁協網地島支所	2,660,000円	19,570個	18,680個
			県漁協表浜支所		7,649個	6,101個
			県漁協雄勝町東部支所		36,759個	31,741個
			県漁協北上町十三浜支所		28,105個	21,645個
			県漁協石巻市東部支所		8,088個	7,762個
			県漁協谷川支所		2,400個	1,600個
			県漁協寄磯前網支所		6,968個	5,782個
			牡鹿漁協	340,000円	13,793個	10,707個
		合計	3,000,000円	123,332個	104,018個	
成果		アワビは商品価値が高く、漁家経営を支える貴重な漁業収入となっているが、その漁獲は気象、海象の影響を受けやすく、不安定になりがちである。このため、種苗放流を継続して資源量を維持することで自然増殖の促進を図り、漁家経営の安定に繋げている。 令和5年度の水揚量は、海水温の記録的高温等の影響により前年度に比べ減量となり、19.3トンであった。				
		○アワビの水揚量				
		年度	R1	R2	R3	R4
		水揚量	16.8トン	19.2トン	22.5トン	29.1トン
成果に係る評価		令和5年度は、海水温の高温の影響を受けて漁獲量の減少、また、東京電力福島第一原発の処理水海洋放出の風評被害による取引価格の下落等で水揚量は減少したが、県事業の藻場ビジョンによる藻場造成と連携して取り組む必要がある。 引き続き長期的な漁獲の安定を図るため、毎年度漁獲サイズに達する資源量が一定化するよう、当該事業を継続する必要がある。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	3,000,000		3,000,000			3,000,000

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		水産多面的機能発揮対策事業																									
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																									
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																									
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する																									
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 68																									
目的及び事業内容			多くの水生生物の生活を支え、産卵や幼稚仔魚に生育の場を提供する“藻場”が減少する“磯焼け”が本市の沿岸においても発生している。そのため、水産資源の維持培養と環境保全を図る磯焼け対策事業を実施する漁業協同組合が主体の活動組織に対し、宮城県水域保全地域協議会を通して負担金を交付する。 【事業内容】 藻場の保全、干潟の保全、種苗放流、漂着物堆積物処理、生態系の維持保全等を実施する市内の活動組織の取り組みに応じて、宮城県水域保全地域協議会に負担金を支出する。																											
取組実績			1 令和5年度事業実績 令和5年度より表浜藻場増殖場活動委員会が活動開始し、4団体となった。 <table><tr><td>活動組織</td><td>実施内容</td><td>実施場所</td><td>負担金額</td></tr><tr><td>I S O P (宮城県漁協石巻地区支所)</td><td>ウニの除去、ウニを移植する密度管理、母藻の設置及びモニタリングによる藻場の保全</td><td>佐須浜 田代島周辺 12 h a</td><td>533,399円</td></tr><tr><td>継 承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)</td><td>・アカモク等の保護区域の設定及びモニタリングによる藻場の保全 ・アサリを捕食する食害生物の除去及びモニタリングによるアサリ母貝の保護による干潟の保全</td><td>万石浦 13 h a</td><td>412,963円</td></tr><tr><td>網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)</td><td>潜水士及びタモ網等による船上からのウニ除去による藻場の保全</td><td>網地浜 長渡浜 10 h a</td><td>720,000円</td></tr><tr><td>表浜藻場増殖場活動委員会 (宮城県漁協表浜支所)</td><td>令和4年度に設置したブロック等着底基質への海藻類付着促進を図るための岩盤清掃及びモニタリングによる藻場の保全</td><td>小網倉浜 西出当 2 h a</td><td>44,061円</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>37 h a</td><td>1,710,423円</td></tr></table>				活動組織	実施内容	実施場所	負担金額	I S O P (宮城県漁協石巻地区支所)	ウニの除去、ウニを移植する密度管理、母藻の設置及びモニタリングによる藻場の保全	佐須浜 田代島周辺 12 h a	533,399円	継 承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)	・アカモク等の保護区域の設定及びモニタリングによる藻場の保全 ・アサリを捕食する食害生物の除去及びモニタリングによるアサリ母貝の保護による干潟の保全	万石浦 13 h a	412,963円	網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)	潜水士及びタモ網等による船上からのウニ除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜 10 h a	720,000円	表浜藻場増殖場活動委員会 (宮城県漁協表浜支所)	令和4年度に設置したブロック等着底基質への海藻類付着促進を図るための岩盤清掃及びモニタリングによる藻場の保全	小網倉浜 西出当 2 h a	44,061円	合 計		37 h a	1,710,423円
活動組織	実施内容	実施場所	負担金額																											
I S O P (宮城県漁協石巻地区支所)	ウニの除去、ウニを移植する密度管理、母藻の設置及びモニタリングによる藻場の保全	佐須浜 田代島周辺 12 h a	533,399円																											
継 承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)	・アカモク等の保護区域の設定及びモニタリングによる藻場の保全 ・アサリを捕食する食害生物の除去及びモニタリングによるアサリ母貝の保護による干潟の保全	万石浦 13 h a	412,963円																											
網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)	潜水士及びタモ網等による船上からのウニ除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜 10 h a	720,000円																											
表浜藻場増殖場活動委員会 (宮城県漁協表浜支所)	令和4年度に設置したブロック等着底基質への海藻類付着促進を図るための岩盤清掃及びモニタリングによる藻場の保全	小網倉浜 西出当 2 h a	44,061円																											
合 計		37 h a	1,710,423円																											
成 果			実施初年度となった令和2年度に3つの活動組織が発足し、令和5年度は表浜藻場増殖場活動委員会が活動を開始。合計37 h a の藻場の保全や干潟の保全に取り組んだ。 藻場の保全では、磯焼けの原因と考えられるウニについては潜水・タモ網等による駆除がおよそ15トンであった。網地浜地区での実施地点では、フシジモクに変わり長寿命種のヨレモクの成長が見られた。I S O P ではアラメの減少、ウニの死滅が見られ夏季の高水温が影響と思われる。 干潟の保全活動では、アサリの食害をもたらすサキクロタマツメタガイ（卵塊）の駆除は、高水温の影響で回収できなかったが、干潟内のアサリの安定した漁獲量は確保することができた。 表浜地区の活動は、令和4年度に設置したブロック等着底基質への海藻類付着促進を図るための岩盤清掃を行い、良好な藻場環境の促進を図った。 こうした取り組みに、宮城県水域保全地域協議会を通して1,710,423円の負担金を支出した。																											
成果による評価			昨今の海洋環境の変化において“磯焼け”は、短期的に解決できる問題ではなく継続的に事業を実施していく必要がある。 令和5年度は海水温の高温の影響で、ウニの生育密度の減少、藻場の減少が見られ、例年にない気候変動の影響を受けたと思われる。 しかし、こうした状況でも藻場の形成となる海藻類の変化が見られているので、今後の繁茂を期待し継続的な活動が必要である。																											
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	2,852,000	1,710,423				1,710,423																								

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		海岸漂着物等地域対策推進事業																																						
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																						
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																																						
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する																																						
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 69																																					
目的及び事業内容			昨今の海岸・沖合には、海洋プラスチックごみを含む多くのごみが漂流・漂着しているため、ごみの削減、減量化に向け漁業者等が取り組む清掃活動等に要する費用の負担を国の支援を受け、市が実施することで、漁港及び海洋環境の保全を図ることを目的とするもの。 【事業内容】 市内各漁港に漂着した海洋ごみや、海岸・沖合に漂流している海洋ごみの回収・処理を漁業協同組合等に委託し、ごみの削減、減量化に取り組む。																																								
取 組 実 績			令和5年度事業実績 令和5年度より宮城県漁協表浜支所が活動開始し、7団体となった。 <table><tr><td>委託先</td><td>回収内容</td><td>回収量</td><td>市委託費</td></tr><tr><td>宮城県漁協 石巻地区支所</td><td>廃ブラ等</td><td>23.4㎡</td><td>1,350,000円</td></tr><tr><td>宮城県漁協 石巻湾支所</td><td>廃ブラ、木くず等</td><td>96.6㎡</td><td>1,800,000円</td></tr><tr><td>宮城県漁協 石巻市東部支所</td><td>廃ブラ、金属くず等</td><td>30.0㎡</td><td>1,080,000円</td></tr><tr><td>宮城県漁協 雄勝町東部支所</td><td>廃ブラ、木くず等</td><td>20.0㎡</td><td>877,500円</td></tr><tr><td>渡波漁船協同組合</td><td>廃ブラ、木くず等</td><td>24.2㎡</td><td>6,603,000円</td></tr><tr><td>宮城県漁協 北上町十三浜支所</td><td>廃ブラ、木くず等</td><td>80.7㎡</td><td>1,169,300円</td></tr><tr><td>宮城県漁協 表浜支所</td><td>廃ブラ等</td><td>84.0㎡</td><td>1,799,600円</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>358.9㎡</td><td>14,679,400円</td></tr></table>					委託先	回収内容	回収量	市委託費	宮城県漁協 石巻地区支所	廃ブラ等	23.4㎡	1,350,000円	宮城県漁協 石巻湾支所	廃ブラ、木くず等	96.6㎡	1,800,000円	宮城県漁協 石巻市東部支所	廃ブラ、金属くず等	30.0㎡	1,080,000円	宮城県漁協 雄勝町東部支所	廃ブラ、木くず等	20.0㎡	877,500円	渡波漁船協同組合	廃ブラ、木くず等	24.2㎡	6,603,000円	宮城県漁協 北上町十三浜支所	廃ブラ、木くず等	80.7㎡	1,169,300円	宮城県漁協 表浜支所	廃ブラ等	84.0㎡	1,799,600円	合 計		358.9㎡	14,679,400円
委託先	回収内容	回収量	市委託費																																								
宮城県漁協 石巻地区支所	廃ブラ等	23.4㎡	1,350,000円																																								
宮城県漁協 石巻湾支所	廃ブラ、木くず等	96.6㎡	1,800,000円																																								
宮城県漁協 石巻市東部支所	廃ブラ、金属くず等	30.0㎡	1,080,000円																																								
宮城県漁協 雄勝町東部支所	廃ブラ、木くず等	20.0㎡	877,500円																																								
渡波漁船協同組合	廃ブラ、木くず等	24.2㎡	6,603,000円																																								
宮城県漁協 北上町十三浜支所	廃ブラ、木くず等	80.7㎡	1,169,300円																																								
宮城県漁協 表浜支所	廃ブラ等	84.0㎡	1,799,600円																																								
合 計		358.9㎡	14,679,400円																																								
成 果			令和5年度は昨年度より1団体増えて7団体が実施し、海洋ごみの回収量も増えた。 (令和2年度実施3団体：石巻地区支所・石巻湾支所・渡波漁船) (令和3年度実施5団体：石巻地区支所・石巻湾支所・渡波漁船・石巻市東部支所・雄勝町東部支所) (令和4年度実施6団体：石巻地区支所・石巻湾支所・渡波漁船・石巻市東部支所・雄勝町東部支所・北上町十三浜支所) (令和5年度実施7団体：石巻地区支所・石巻湾支所・渡波漁船・石巻市東部支所・雄勝町東部支所・北上町十三浜支所・表浜支所)																																								
成果に係る評価			令和5年度も国、県の補助金を受けて、海洋ごみの回収・処理を行うことができ、漁港・海洋環境の保全が図られた。 例年実施している団体において、清掃場所を変えて取り組んだところもあり、海洋ごみに対する漁業者の意識が高いことが伺えた。 また、毎年取り組み団体も増えてきており、今後も漁業者等が行う海洋ごみ回収・処理の取り組みについて、継続的に事業を実施していくとともに、未実施である団体については、活動を促し、さらなる漁港・海洋環境の保全を図る必要がある。																																								
(単位：円)																																											
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
		15,000,000	14,679,400	12,669,000			2,010,400																																				

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		水産環境整備事業			
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興			
	事業	水産振興事業費		(1)	漁場環境の保全を推進する			
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 69		
目的及び事業内容		近年、海水温の上昇に伴い食害生物となるウニ類が活性化する影響等から、藻場面積が縮小する磯焼けが進行し、その対策の一環として令和2年度に宮城県が策定した、「宮城県藻場ビジョン」に基づき、県が事業主体となり、海中へ着底基質と呼ばれる藻場を造成させるためのブロック等を整備するもの。						
取 組 実 績		雄勝東部地区（蜷浜）において、全体事業費が150,000千円で、実施設計費30,000千円のうち、事業費の一部として3,000千円を負担したが、実施設計完了は令和6年度に繰り越された。設置工事は、120,000千円を予定しており、令和6、7年度実施予定。						
成 果		○本市における宮城県藻場ビジョン実施状況 ハード整備が完了した地区においては、水産多面的機能発揮対策事業により、設置した着底基質の岩盤清掃及びモニタリング等藻場の保全活動を実施し、海藻類付着促進を図った。						
		1 表浜地区（小網倉浜、西出当）						
		年度		R3	R4	整備内容		
		事業内容	・設計業務 ・着底基質設置工事		・着底基質設置工事		整備面積：約0.5ha 造成：カキ礁設置	
		事業費	250,000,000円		25,340,000円		計	275,340,000円
市負担金額		25,000,000円		2,534,000円		計	27,534,000円	
成 果		2 雄勝東部地区（蜷浜）						
		年度		R5	R6、7	整備内容		
		事業内容	・設計業務		・設計業務 ・着底基質設置工事		整備面積：約2.2ha 造成：設計中	
		事業費	30,000,000円		120,000,000円		計	150,000,000円
		市負担金額	3,000,000円		12,000,000円		計	15,000,000円
成果に係る評価		宮城県が実施している雄勝東部地区における着底基質整備事業に対し、本市が事業費の一部を負担した。令和6年度には、同地区の測量・設計及び着底基質の作成・設置を行う予定であり、今後、磯焼け対策事業の推進が図られることが期待される。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,000,000		3,000,000			2,700,000		300,000

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		担い手育成総合支援事業（水産業）																													
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																													
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																													
	事業	水産振興事業費		（ 2 ）	操業体制の充実を図る																													
担当部課		産産部水産課	実施計画掲載ページ		P 69																													
目的及び事業内容		本市の基幹産業である水産業は後継者不足等の理由により漁業就業者数の減少が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、新たな担い手を確保するために、空き家等の未利用の建物を活用し、短・中期的に生活できるシェアハウス機能を持った「石巻市水産業担い手センター」を整備し、担い手育成のための事業運営を行う。令和3年度からは水産業一体的に取り組むこととし、水産加工業者の人材確保、幹部候補の育成に向けた事業も実施し、将来の石巻の漁業・水産加工業の担い手としての人材確保・育成を目的としている。また、漁業協同組合等が行う担い手対策に係る経費の一部を補助し、新規就業者の確保・育成を支援する。																																
取 組 実 績		1 水産業担い手センター運営事業 本事業は、新規就業者が気軽に漁業就業ができる環境を整えるため、漁業就業や漁業研修の住まい、拠点の場としての「水産業担い手センター」の整備・運営と、漁業研修の実施、求人活動、求人求職者間のマッチングを行う事業である。本事業は、地域や漁業者の理解が必要なことから、漁業協同組合との共同事業として実施しており、民間事業者へ事業を委託している。 (1) 担い手センターの運営 整備した担い手センター5か所（泉町地区、渡波地区、雄勝地区、北上地区、牡鹿地区）を運営。漁業に従事する新規就業者の研修期間中から定住先が決定するまでの住まいとして運営。 (2) 研修等の実施 ア 短期研修 就業希望者と受け入れ先のマッチングを行い、1週間を基本とした短期の研修を実施。 イ 漁師学校 漁業に興味のある人が実際の漁業作業や浜での生活に触れ、漁師になるために学び、自らの将来を考えられるようなプログラム内容とした1泊2日の研修を実施。 ウ すぎょいバイト 市内の高校生を対象とする水産業のアルバイト型1日職業体験を実施。 (3) 求人活動の実施 求人サイト掲載、就業フェア出展（マイナビ農林水産FEST、全国漁業就業支援フェア）。 2 担い手育成総合支援事業 本事業は、漁業協同組合などを実施主体とし、漁業就業希望者が、漁労技術や知識の習得、現地の環境に順応することを目的とする研修等の活動、及び受入側漁業者が担い手育成に必要なとする活動、新たに漁業に就業しようとする者が独立するために必要とする経費を支援。																																
成 果		令和5年度はWEBサイトや求人広告などから106件問い合わせがあり、短期研修15名、就労支援12名（うち漁業6名、加工6名）のサポートを行った。令和5年度末の現就業者数は46名。うち正組合員1名、准組合員が6名。令和5年度の担い手センター利用者19名（短期利用者12名、長期利用者7名）。また、漁師学校では8名が参加し、すぎょいバイトでは33名が参加した。 1 水産業担い手センター運営事業 <table><tr><td>年度</td><td>就業者人数</td><td>離職者</td><td>年度末就業者</td></tr><tr><td>R3</td><td>13人</td><td>3人</td><td>30人</td></tr><tr><td>R4</td><td>12人</td><td>5人</td><td>37人</td></tr><tr><td>R5</td><td>12人</td><td>3人</td><td>46人</td></tr></table> 2 担い手育成総合支援事業（R5） <table><tr><td>担い手確保活動支援</td><td>0件</td><td>0円</td></tr><tr><td>担い手育成支援</td><td>8件</td><td>701,000円</td></tr><tr><td>新規就業者独立支援</td><td>0件</td><td>0円</td></tr><tr><td>計</td><td>8件</td><td>701,000円</td></tr></table>					年度	就業者人数	離職者	年度末就業者	R3	13人	3人	30人	R4	12人	5人	37人	R5	12人	3人	46人	担い手確保活動支援	0件	0円	担い手育成支援	8件	701,000円	新規就業者独立支援	0件	0円	計	8件	701,000円
年度	就業者人数	離職者	年度末就業者																															
R3	13人	3人	30人																															
R4	12人	5人	37人																															
R5	12人	3人	46人																															
担い手確保活動支援	0件	0円																																
担い手育成支援	8件	701,000円																																
新規就業者独立支援	0件	0円																																
計	8件	701,000円																																
成果に係る評価		全国的に漁業就業者数は減少の一途をたどっており、水産業を選択する若者が少ないことから、新規就業者の獲得には地道な活動が必要である。 現在、本市の事業は全国的に認知されており、漁業・水産加工業を志す若者からの問合せも増えており、令和5年度は12名が就業。事業が始まって通算72名が就業し、着実に新規の就業者を確保している。 本事業は、単に就労のマッチングに留まらず、就業後のフォローも実施しており、持続可能な水産業を実現するために重要な施策であるため、事業を継続する必要がある。																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	28,682,000	28,201,000			20,701,000	7,500,000																												

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		石巻産食品輸出力強化事業											
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち											
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興											
	事業	水産振興事業費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る											
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 70										
目的及び事業内容			石巻産食品（農産物・水産物・加工食品）の販路拡大、輸出振興に向けて、海外における石巻ブランドの販路の開拓や一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図るため、輸出に関する取組みへの支援や輸出に必要な衛生管理水準の向上に要する経費を一部助成する。													
取 組 実 績			令和5年度取組実績 1 石巻食品輸出振興協議会 (1) 共同輸出に向けた体制強化 幹事会・事業者会議の開催、輸出可能商品の拡充、欧州市場セミナーの開催、情報発信の強化、課題整理とスキルアップ、輸出専門機関・関連団体等との情報共有、いしのまき大漁まつりでのPRブース出展 (2) 輸出拡大に向けた取り組み GFPグローバル産地づくり推進事業（アメリカ現地パートナーとのミーティング、現地スーパーでの石巻フェア開催等）、各種商談の実施 令和4年度より農林水産省補助金を活用したGFPグローバル産地づくり推進事業に取り組んでおり、アメリカへの輸出に向けた現地マーケティング調査等によりニーズを把握し、それに対応できるような産地側の体制整備を進めている。本事業は令和6年度までの3か年事業。 2 水産加工業HACCP等導入支援事業 2回公募を行ったが、応募がなかった。													
成 果			石巻食品輸出振興協議会に加入している事業者へのアンケート調査の結果では、年々輸出額が増加しており、継続的な取り組みによる成果が出てきているように感じる。特に、令和4年度より農林水産省補助金を活用したGFPグローバル産地づくり推進事業を実施しており、アメリカ向け輸出に取り組む事業者が増加した。 また、水産加工業HACCP等導入支援事業については、令和5年度において2回公募を行ったが応募はなく、現時点において輸出に取り組む事業者の認証取得は概ね充足しており、新規で輸出に取り組む事業者がいなかったことが要因と考えられる。 年度別輸出額 <table><tr><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>294,619,080円</td><td>501,099,222円</td><td>580,400,406円</td><td>816,453,322円</td><td>1,042,384,304円</td></tr></table> ※石巻食品輸出振興協議会参加事業者へのアンケート調査により把握している金額。				R1	R2	R3	R4	R5	294,619,080円	501,099,222円	580,400,406円	816,453,322円	1,042,384,304円
R1	R2	R3	R4	R5												
294,619,080円	501,099,222円	580,400,406円	816,453,322円	1,042,384,304円												
成果に係る評価			人口減少に伴い国内市場は縮小傾向にあるが、海外市場は消費者の所得向上、人口増加等により、市場が拡大している。また、近年の円安傾向も相まって、全国的に輸出への関心が高まっている。 このような背景を踏まえ、政府は、2030年までに5兆円という輸出額目標を掲げ、意欲的に取り組んでいくこととしており、本市においても、本事業を通じて輸出量が年々増加していることから、市産食品の輸出販路獲得・拡大に向けた取り組みに対し、今後も継続的に支援を行っていく。 支援策について、ALPS処理水の海洋放出に伴う中国や香港の輸入規制により、輸出事業者が仕向け先を変更する際、衛生管理認証の取得が必要となる場合があることから、支援できる体制を継続していく必要があるが、他方で、昨今の水産加工業界においては多様な課題が山積していることから、社会情勢や支援ニーズ等総合的に勘案し、より効果的な支援策について検討していく必要がある。													
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳											
					国(県)支出金	一般財源										
	12,000,000		12,000,000		地方債	7,000,000										
				その他	5,000,000											

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		漁船誘致及び原魚等確保対策事業																						
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																						
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																						
	事業	漁船誘致及び原魚確保対策費		(3)	新たな生産体制・原料確保を促進する																						
担当部課		産業部水産課水産物地方卸売市場管理事務所		実施計画掲載ページ		P 69																					
目的及び事業内容		石巻魚市場における漁船誘致及び水産業界に供給する原魚等の確保を目的とした、石巻市漁船誘致及び原魚等確保推進委員会と協同し、各地の漁船を誘致する取り組みを推進する。地元・県内船を最重点としながら、広く各県外船、各種漁業の基地・船主・生産者組合等を積極的に訪問し漁船誘致として、石巻魚市場への水揚を請願する。また、水産物のブランド化に向けた取組を行い、新たなブランド創出を促進しながら、「金華ブランド」の知名度向上や販売力強化に向けた取組を促進する。市場関係者自らが、市場の流通機能や知名度を活用し、金華かつお、金華ぎん、金華サバをはじめ、石巻魚市場で水揚げされた魚を全国ブランド魚として周知していく。																									
取 組 実 績		1 主な漁船誘致事業の実績 <table><tr><td>年度</td><td>実施回数</td><td>訪問件数</td></tr><tr><td>R3</td><td>16</td><td>290</td></tr><tr><td>R4</td><td>13</td><td>272</td></tr><tr><td>R5</td><td>11</td><td>263</td></tr></table> 船主への誘致活動のほか、水揚優秀漁船及び優良取引業者表彰、各種漁業漁船等の出漁見送り、入港水揚御礼、新船建造祝、業界会議への出席等誘致活動を行った。 2 ブランド認定シール活用登録事業者数 <table><tr><td>年度</td><td>登録事業者数</td></tr><tr><td>R3</td><td>21</td></tr><tr><td>R4</td><td>22</td></tr><tr><td>R5</td><td>22</td></tr></table> ブランド化に係る研究開発及びセミナー等も開催して事業者への活用を進めている。						年度	実施回数	訪問件数	R3	16	290	R4	13	272	R5	11	263	年度	登録事業者数	R3	21	R4	22	R5	22
年度	実施回数	訪問件数																									
R3	16	290																									
R4	13	272																									
R5	11	263																									
年度	登録事業者数																										
R3	21																										
R4	22																										
R5	22																										
成 果		1 漁船誘致 石巻魚市場の水揚数量は前年度を下回ったものの、水揚金額と隻数は例年並みとなり、卸売業者、問屋、買受人及び水産加工業者への原材料供給等が円滑に行われた。 <table><tr><td>年度</td><td>水揚数量（トン）</td><td>水揚金額（千円）</td><td>隻数（隻）</td></tr><tr><td>R3</td><td>95,040</td><td>16,145,022</td><td>43,190</td></tr><tr><td>R4</td><td>105,819</td><td>20,049,163</td><td>44,755</td></tr><tr><td>R5</td><td>91,344</td><td>19,710,494</td><td>44,653</td></tr></table> 2 ブランド創出 金華ブランドにおいては、産地の知名度・鮮度・ブランドイメージで、取引、商談等においてもその優位性が高められている。また、買受人等販売促進活動につながった。 金華ブランドシール（金華かつお、金華ぎん、金華サバ）を活用する事業者において、徐々に頒布数が増えている状況にある。ブランド認定シールを貼付することで、ブランド名の普及浸透が図られた。 環境変化により水揚量が減少（特に金華かつお）しており、状況に左右されるが、水産関係者及び一般消費者にも積極的にPRを行った。						年度	水揚数量（トン）	水揚金額（千円）	隻数（隻）	R3	95,040	16,145,022	43,190	R4	105,819	20,049,163	44,755	R5	91,344	19,710,494	44,653				
年度	水揚数量（トン）	水揚金額（千円）	隻数（隻）																								
R3	95,040	16,145,022	43,190																								
R4	105,819	20,049,163	44,755																								
R5	91,344	19,710,494	44,653																								
成果に係る評価		水産業界にある特有の漁船誘致の手法を継続しており、その地道な成果が徐々に現れてきている。昨今の海洋の変化に伴う漁獲量が減少傾向にあるとともに、大型化による漁船の減少などもあることから、石巻漁港においても競争力の強化が必要となってきた。 次年度以降も、伝統手法を受け継ぎつつ、新たな手法を検討し導入していく。 また、環境変化による水揚量が減少していく中、他の産地との競争に打ち勝つためには、水産物の地元ブランド化は水産物の消費拡大のための有効な手段であることから、さらなるPR等の取組も必要である。																									
(単位：円)																											
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
		5,700,000	5,700,000				5,700,000																				

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		捕鯨活動推進事業	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	捕鯨活動推進事業費		(4)	水産物の流通体制の強化を図る	
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 70	
目的及び事業内容			全国の捕鯨や鯨食文化に縁のある自治体（34自治体）により「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」が構成され、商業捕鯨再開に向けた活動を行ってきた。本市は、全国でも数少ない基地式捕鯨を抱えていることから、副会長を務めている。平成30年12月、日本政府がIWCを脱退、およそ30年ぶりとなる商業捕鯨が令和元年7月から再開された。 しかしながら、商業捕鯨禁止の期間の影響は大きく、捕鯨への理解の低迷、鯨食離れが進んでいることから、今後は、捕鯨産業を将来に渡って維持するための活動を「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」及び「石巻くじら振興協議会」と連携して実施していく。			
取 組 実 績			「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」及び「石巻くじら振興協議会」と連携して捕鯨活動への理解促進及び鯨食普及活動を実施した。 1 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会に係る事業 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会総会における決議。 2 石巻くじら振興協議会に係る事業 (1) くじらフェアの開催 (2) 企画展示「石巻と捕鯨」の開催 (3) くじら探訪ツアーの開催 (4) 頒布会・イベント出店支援 (5) 保育所及び学校給食のための鯨肉調達			
成 果			1 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会に係る事業 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会総会へ出席したことで捕鯨産業関係団体との連携が図られた。 2 石巻くじら振興協議会に係る事業 (1) くじらフェアの開催 市内飲食店が提供する鯨料理に対し、500円割引クーポンを発行するくじらフェアを開催することで、「くじらの街・石巻」の認知度を向上させるとともに、くじらに携わる関係者（生産者、飲食店、行政等）の連携を強化し、鯨食文化の普及促進が図られた。 参加店舗数は17店舗、クーポン使用枚数は1,693枚。 (2) 企画展示「石巻と捕鯨」の開催 桃生公民館、石巻市役所1階それぞれのスペースで、捕鯨基地「鮎川」の町と捕鯨の歴史、鯨肉の食材としての優位性（栄養価）等の展示を行い、捕鯨産業への理解促進が図られた。 (3) くじら探訪ツアーの開催 おしかホエールランド、解体場、捕鯨船の見学ツアーを開催することで、捕鯨産業及び鯨食への理解促進が図られた。学芸員によるおしかホエールランドの解説、鯨のひげを加工してストラップを作成するワークショップ、小型捕鯨船乗組員による解説と乗船体験、鯨の解体場での道具展示を実施した。参加者数は39名。 (4) 頒布会・イベント出店支援 石巻かき祭りに出店した捕鯨会社の鯨肉販売に係る加工費を補助し、350gあたり1,250円で約60kgを売上げ、鯨食の普及が図られた。 (5) 保育所及び学校給食のための鯨肉調達 市内の保育所及び学校の給食用に鯨肉を調達することで鯨食の普及が図られた。			
成果に係る評価			石巻くじら振興協議会に所属する団体と協力することで捕鯨文化の継承に結びついた。鯨の不漁の影響や単価の上昇により、例年規模の頒布会の実施はできなかったが、石巻くじらフェアにより市内飲食店での鯨肉消費が図られた。 例年規模の鯨肉頒布に要する鯨肉の調達や補助のための予算確保は難しくなっており、頒布以外の鯨食普及事業に転換していく必要がある。石巻くじら振興協議会が主体として実施できるよう、市の支援体制を検討していく。 本市伝統の鯨食文化を後世に継承していくこと、他の水産資源量の適正化を図るうえで重要とされる捕鯨業を維持し、水産資源の持続可能な利用を実現していくことは重要なことであり、事業を継続する必要がある。			
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,919,490	2,856,180				2,856,180

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		水産物放射能検査事業																																											
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																											
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																																											
	事業	水産物放射性物質対策事業費（東日本大震災関係分）		（ 4 ）	水産物の流通体制の強化を図る																																											
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 70																																											
目的及び事業内容		東京電力福島第一原発事故の影響に伴う放射能問題について、魚市場を流通する主要な魚種のスクリーニング検査を行い検査結果を迅速に公表することにより、魚市場等で水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定した流通を図る。 放射性物質測定機器等の風評被害対策事業 ・簡易測定器による放射能検査の実施 ・放射能情報共有システムによる情報配信																																														
取 組 実 績		1 放射能検査の実施及び放射能情報共有システムの運用 本市では、各魚市場や水産業界と連携し、「石巻から100ベクレル超えの水産物を流通させない。」を目標に掲げ、検査体制を維持し、スクリーニング分析の強化に取り組んでいる。また、これまでの放射性物質検査で得られた測定結果や海域情報などの各種情報を石巻魚市場を利用する卸売人・買受人等の水産業界関係者で体系的に共有し、放射能対策への意識向上と風評被害対策として放射能情報共有システムを運用している。 (1) 令和5年度決算 21,067千円 (2) 令和5年度実績 年間検査検体数 773検体検査済み (うち精密検査実施目安50ベクレル超過 0検体) ※ 本市水産物の放射性物質検査体制（令和6年3月31日現在） <table><tr><td>設置場所</td><td>機器台数</td><td>検査時間</td><td>検査日</td><td>検査能力</td><td>検査人員</td><td>検査対象</td></tr><tr><td>石巻売場</td><td>4台</td><td>4：00～12：00</td><td>市場開場日</td><td>50検体/日</td><td>3名</td><td>水揚げ水産物等</td></tr><tr><td>牡鹿売場</td><td>1台</td><td>9：00～16：00</td><td>月～金</td><td>7検体/日</td><td>1名</td><td>水揚げ水産物等</td></tr></table> 新たに非破壊式放射能検査機器（A F T－N D A2）を購入し、石巻売場の破壊式放射能検査機器と入替えた。 ※ 放射能情報共有システムによる情報配信 ・県内外海域における水産物の水揚げ自粛等情報配信 ・日々の放射性物質測定結果速報の配信					設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象	石巻売場	4台	4：00～12：00	市場開場日	50検体/日	3名	水揚げ水産物等	牡鹿売場	1台	9：00～16：00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																					
設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象																																										
石巻売場	4台	4：00～12：00	市場開場日	50検体/日	3名	水揚げ水産物等																																										
牡鹿売場	1台	9：00～16：00	月～金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																										
成 果		本事業で放射性物質測定を実施することにより、宮城県内で最も充実した検査体制を備えた産地魚市場として水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定的な流通が図られた。 1 市場流通数（魚種）及び年間検査検体数（検体） <table><tr><td colspan="2">区分</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td rowspan="4">成果指標</td><td rowspan="2">目標値</td><td>80魚種</td><td>70魚種</td><td>70魚種</td><td>70魚種</td><td>70魚種</td></tr><tr><td>4,000検体</td><td>3,500検体</td><td>1,500検体</td><td>2,000検体</td><td>2,000検体</td></tr><tr><td rowspan="2">実績値</td><td>55魚種</td><td>61魚種</td><td>49魚種</td><td>54魚種</td><td>49魚種</td></tr><tr><td>1,132検体</td><td>1,170検体</td><td>1,116検体</td><td>947検体</td><td>773検体</td></tr><tr><td rowspan="2">達成率</td><td rowspan="2"></td><td>69%</td><td>87%</td><td>70%</td><td>77%</td><td>70%</td></tr><tr><td>28%</td><td>33%</td><td>74%</td><td>47%</td><td>39%</td></tr></table>					区分		R1	R2	R3	R4	R5	成果指標	目標値	80魚種	70魚種	70魚種	70魚種	70魚種	4,000検体	3,500検体	1,500検体	2,000検体	2,000検体	実績値	55魚種	61魚種	49魚種	54魚種	49魚種	1,132検体	1,170検体	1,116検体	947検体	773検体	達成率		69%	87%	70%	77%	70%	28%	33%	74%	47%	39%
区分		R1	R2	R3	R4	R5																																										
成果指標	目標値	80魚種	70魚種	70魚種	70魚種	70魚種																																										
		4,000検体	3,500検体	1,500検体	2,000検体	2,000検体																																										
	実績値	55魚種	61魚種	49魚種	54魚種	49魚種																																										
		1,132検体	1,170検体	1,116検体	947検体	773検体																																										
達成率		69%	87%	70%	77%	70%																																										
		28%	33%	74%	47%	39%																																										
成果に係る評価		市内魚市場等から基準を超える水産物を流通させないための検査を実施することができた。 国の検査対象魚種は減少傾向にあるものの、国内や国外における風評被害は依然残存しており、さらにトリチウムなどを含む処理水の海洋放出を受け、風評被害が加速している。特に、国外においては現在も多くの地域で日本産食品の輸入規制を行っているため、検査装置について計画的に非破壊式放射能測定装置に更新しながら効率的に検査を実施し、風評被害の払拭に努める必要がある。																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																											
					国(県)支出金	一般財源																																										
	24,150,000		21,067,310			21,067,310																																										

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		魚町水産加工共同排水処理施設機能保全事業	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	水産業振興費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	水産加工団地汚水処理施設機能保全事業費		(6)	水産基盤の充実を図る	
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 71	
目的及び事業内容		魚町水産加工共同排水処理施設の長寿命化を図るため、機能保全計画を策定し、計画的な設備等の修繕を行う。				
取 組 実 績		1 魚町水産加工共同排水処理施設機能保全事業 (1) 業務 ア 魚町水産加工共同排水処理施設機能保全計画修正業務（補助） 対象施設：原水槽設備、曝気槽設備、減菌放流設備棟他25設備 内容：点検・調査、機能保全計画修正 一式【委託料：26,400,000円】R5現年 ①施設の情報収集・整理 終末処理場・ポンプ場施設の管理目標の設定、リスク検討、点検・調査計画及び改築・修繕計画の検討に必要な施設情報の収集・整理、現地確認等を行った。 ②施設老朽化度のリスク評価 ストックマネジメントを効率的・効果的に実践するため、リスク評価による優先順位を検討した。 ③施設管理の目標設定、長期的な改築事業のシナリオ設定 リスク評価を踏まえて、施設の点検・調査及び修繕・改築に関する事業の効果目標及び事業量の目標を設定した。合わせて、改築に関する複数のシナリオを作成し、費用、リスク、執行体制を総合的に勘案、最適な改築シナリオを設定した。 ④点検・調査計画の策定・実施、修繕・改築計画の策定 基本方針として、長期的な視点から頻度、優先順位、単位、項目について検討した。 実施計画では、事業計画期間を勘案し、概ね 5～7 年程度において、どの施設をいつ、どのように、どの程度の費用をかけて点検・調査を行うかを検討した。 ⑤機能保全計画書の内容修正 ポンプ場・終末処理施設についてストックマネジメント実施方針に係る取りまとめ及びその概要書を作成し、機能保全計画の内容修正を行った。				
成 果		魚町水産加工共同排水処理施設において施設の老朽化度と整備の優先順位などの調査を行い、長寿命化計画を策定し更新コストの平準化・縮減が図られた。				
成果に係る評価		魚町水産加工共同排水処理施設において長寿命化計画の策定に伴い、施設の長寿命化・施設機能の保全計画を立案することができた。また、本事業で立案した長寿命化計画、機能保全計画をもとに、令和6年度以降、老朽化度と施設が使用不可になった際の影響度などを加味し、予防保全型の対策を実施することで対策費用の低減、予算の平準化が図られることから今後も効率的に事業を継続していく必要がある。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	26,400,000	26,400,000	13,200,000			13,200,000

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		海岸堤防等老朽化対策事業	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 目	漁港管理費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	漁港管理費		(6)	水産基盤の充実を図る	
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 71	
目的及び事業内容		海岸保全基本計画に基づき、海岸堤防の復旧復興に係る整備実施により築造された水門等海岸保全施設の長寿命化を図るとともに、老朽化対策や維持管理を計画的に推進する。 長寿命化計画の策定及び計画に基づく工事の実施。				
取 組 実 績		長面漁港海岸ほか水門陸間設備保守点検業務（単独） 内容：保守点検（年点検N=30基、月次点検N=300基）、P L C 交換 N=2基 【委託料：11,000,000円の内P L C 交換1,779,800円】（R5現年） 陸間水門遠隔監視システムによる施設制御を行うため、陸間水門の機械操作盤等に設置されているP L C（プログラマブルロジックコントローラ）や汎用リレー2基が更新時期を迎えたため、部品交換を行った。 P L C：陸間水門（稼働設備）を自動的に制御（操作）するための装置。専門のプログラムにより様々な操作を自動化するもの。				
成 果		市管理漁港にある水門陸間設備の保守点検業務と併せて工事を実施したことにより、工事費の圧縮が図られた。また、耐用年数を迎えたプログラム施設の機器類等を交換することにより、機械操作盤内の部品等の老朽化等による不具合及び故障・事故の予防保全に努めるとともに、機器類部品等の長寿命化が図られた。				
成果に係る評価		海岸保全基本計画に基づき、海岸堤防の復旧復興に係る整備実施により築造された海岸保全施設は、インフラ長寿命化計画の対象施設にあり、予防的維持管理を導入し、電気制御盤内の部品等の老朽化等によるトラブルや、電気部品等の劣化等による故障等の事故を未然に防止し、トータルコストの縮減や平準化が図られるため、事業を継続する必要がある。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,779,800	1,779,800				1,779,800

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		県営漁港整備事業（県事業負担金）																				
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																				
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興																				
	事業	県営事業負担金		（ 6 ）	水産基盤の充実を図る																				
担当部課		産業部水産課		実施計画掲載ページ		P71																			
目的及び事業内容		宮城県が管理する漁港において、県が事業主体となり漁港を整備する事業費の一部を負担するもの。																							
取 組 実 績		令和5年度実施状況 (1) 福貴浦漁港の水産物供給基盤機能保全事業に対し、事業費の一部を負担した。 (2) 石巻地区（寄磯・桃ノ浦・狐崎・福貴浦・鮎川）の漁港機能増進事業に対し、事業費の一部を負担した。																							
成 果		令和5年度は、福貴浦漁港、石巻地区（寄磯・桃ノ浦・狐崎・福貴浦・鮎川）に係る事業に対する負担金を支出することで、事業の推進が図られた。 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr></thead><tbody><tr><td>漁港名</td><td>石巻 鮎川</td><td>石巻 雄勝 鮎川</td><td>石巻 桃ノ浦 鮎川 渡波</td><td>桃ノ浦 福貴浦 渡波</td><td>福貴浦 石巻地区（寄磯・桃ノ浦・狐崎・福貴浦・鮎川）</td></tr><tr><td>負担金額</td><td>53,400千円</td><td>7,050千円</td><td>105,000千円</td><td>12,600千円</td><td>34,950千円</td></tr></tbody></table> 【令和5年度実績】 水産物供給基盤機能保全事業 福貴浦漁港：事業費 200,000千円×負担率 15% =30,000千円 漁港機能増進事業 石巻地区：事業費 33,000千円×負担率 15% = 4,950千円 計 34,950千円						年度	R1	R2	R3	R4	R5	漁港名	石巻 鮎川	石巻 雄勝 鮎川	石巻 桃ノ浦 鮎川 渡波	桃ノ浦 福貴浦 渡波	福貴浦 石巻地区（寄磯・桃ノ浦・狐崎・福貴浦・鮎川）	負担金額	53,400千円	7,050千円	105,000千円	12,600千円	34,950千円
年度	R1	R2	R3	R4	R5																				
漁港名	石巻 鮎川	石巻 雄勝 鮎川	石巻 桃ノ浦 鮎川 渡波	桃ノ浦 福貴浦 渡波	福貴浦 石巻地区（寄磯・桃ノ浦・狐崎・福貴浦・鮎川）																				
負担金額	53,400千円	7,050千円	105,000千円	12,600千円	34,950千円																				
成果に係る評価		宮城県が実施した石巻市内の県管理漁港における水産物供給基盤機能保全事業や漁港機能増進事業に対し、本市が事業費の一部を負担することで、漁港施設の保全や、就労環境の改善が図られた。																							
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	34,950,000	34,950,000		34,900,000		50,000																			

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		水産物供給基盤機能保全事業（市事業分）		
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興		
	事業	水産物供給基盤機能保全事業費		（ 6 ）	水産基盤の充実を図る		
担当部課		産業部水産課	実施計画掲載ページ		P 71		
目的及び事業内容		本市漁港施設の機能を保全するために必要な維持管理や保全・更新工事を盛り込んだ計画を策定し、効率的な維持管理や既存施設の長寿命化対策を行い、ライフサイクルコストの縮減及び対策コストの平準化を図る。 管理漁港施設の機能保全計画の策定及び計画に基づく保全工事の実施。					
取 組 実 績		Ⅰ 水産物供給基盤機能保全事業 (1) 業務 ア 牧ノ浜漁港防波堤機能保全調査設計業務（補助） 内容：測量業務 鋼材調査（肉厚測定 N=672箇所） 一式 設計業務 一式 【委託料：24,568,500円】（R5現年） (2) 工事 ア 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全（その3）工事（補助） 内容：水浜北防波堤新設区間工事 延長47.47m 【工事費：77,716,100円】 （うちR4現年47,181,300円 R3明許868,700円 R4明許29,666,100円） イ 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全（その4）工事（補助） 内容：水浜北防波堤新設区間工事 延長23.1m 【工事費：36,325,300円】（R4明許） ウ 水浜分浜漁港水浜北防波堤機能保全（その5）工事（補助） 内容：水浜北防波堤工事 延長75.97m 【工事費：116,867,300円】 （うちR5現年113,040,000円 R4明許3,827,300円） エ 新山漁港 泊地浚渫工事 内容：泊地浚渫 V=2,291㎡ 【工事費：25,005,200円】（R5現年）					
成 果		市管理漁港の長寿命化を図るため機能保全計画に基づき、水浜分浜漁港は、鋼管杭の破断や孔食を補強後、電気防食工を行い防波堤の耐用年数を向上させた。 新山漁港については、水深が浅くなり漁船の往航行等、漁業活動に支障を来していたことから、泊地浚渫を行い水域施設の機能を確保し、就労環境の改善を図った。					
成果に係る評価		既設防波堤の機能が損なわれている施設や老朽化した施設の機能保全工事の実施により、防波堤施設の機能強化及び長寿命化につながり、ライフサイクルコストの縮減や対策コストの平準化となることから、事業を継続する必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	217,162,400	215,162,400	107,575,000	96,700,000		10,887,400	

予算科目	6 款	農林水産業費	事業名		漁港施設改良事業	
	3 項	水産業費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	5 目	漁港建設費		第 2 節	持続可能な漁業・水産加工業の振興	
	事業	漁港施設改良事業費		(6)	水産基盤の充実を図る	
担当部課	産業部水産課		実施計画掲載ページ		P 71	
目的及び事業内容		復旧事業完了後の、漁港利用状況の変化及び自然条件の変化に対応した漁港施設の機能強化・改良・整備を行う事業。				
取 組 実 績		1 漁港施設改良事業 (1) 業務 ア 新山漁港静穏度解析業務（単独） 内容：事業計画、静穏度解析、越波対策検討 一式【委託料：3,294,500円】R5現年 イ 新山漁港堆砂対策検討業務（単独） 内容：堆砂対策検討、基本断面の算定 一式【委託料：4,230,600円】R5現年 (2) 工事 ア 小淵漁港海岸保全施設陸開遠隔化工事（補助・単独） 内容：小淵3号陸開遠隔化・1基【工事費：37,271,300円】R5現年口 イ 泊漁港西船揚場改良工事（補助・単独） 内容：船揚場改良・整備延長103.48m【工事費：72,010,400円】R5現年 ウ 小網倉漁港船揚場整備工事（補助） 内容：船揚場新設・整備延長30m【工事費：149,270,000円】 （うちR5現年 67,170,000円 R5明許 82,100,000円） エ 長面漁港海岸転落防止柵設置工事（補助） 内容：防護柵設置・整備延長22m【工事費：990,000円】R5現年 オ 谷川漁港海岸保全施設避難階段設置工事（補助） 内容：避難階段設置・1箇所【工事費：11,675,400円】R5現年 カ 小淵漁港付属施設設置工事（補助） 内容：車止め設置・整備延長21m【工事費：1,166,000円】R5現年 キ 小淵漁港付属施設設置（その2）工事（補助） 内容：車止め設置・整備延長18m【工事費：1,177,000円】R5現年 ク 侍浜漁港物揚場逆流防止施設設置工事（補助） 内容：港湾型フラップゲート設置・2基【工事費：3,998,500円】R5現年 ケ 折ノ浜漁港避難用照明設置工事（補助） 内容：避難用照明灯設置・1基【工事費：1,078,000円】R5現年 コ 小淵漁港海岸保全施設陸開電動化工事（補助） 内容：小淵3号陸開電動化・1基【工事費：76,750,300円】 （うちR4現年 31,680,000円 R4明許 44,320,000円 R5現年 750,300円）				
成 果	新山漁港において静穏度解析や越波対策、堆砂対策の検討業務を実施し、事業計画を立案した。また、小淵漁港ほか計7漁港において船揚場等漁港施設の機能強化・改良工事、新設工事等に着手したことにより、漁港施設利用者の利便性が向上した。					
成果に係る評価	陸開電動化工事、陸開遠隔化工事、船揚場改良工事、物揚場整備工事、逆流防止施設設置工事、避難階段設置工事、転落防止柵設置工事、避難用照明灯設置工事、車止め設置工事など機能強化・改良工事の実施に伴い、漁港施設利用者の施設使用の安全に資するため事業を継続する必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	249,876,300	249,132,000	119,783,000	110,800,000		18,549,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		石巻フード見本市開催事業																								
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																								
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																								
	事業	商工業振興事業費		(3)	地域ブランドを育成する																								
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 66																							
目的及び事業内容			優れた地域食材の販路開拓・販路拡大を図るとともに、食材供給地である石巻地域を全国に発信することを目的に開催される、「石巻フード見本市」を支援する。																										
取 組 実 績			1 石巻フード見本市2024事業概要 (1) 日 程 令和6年2月6日 (2) 会 場 石巻魚市場 (3) 主 催 石巻フード見本市実行委員会（石巻商工会議所） (4) 対象者 （出展業者）石巻地域の食品製造加工業者等 （参加業者）県内外の量販店・百貨店・外食産業・ホテル関係・市場関係業者等の水産関連バイヤー・食品関連業者等 2 参加者数																										
			<table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">出展事業者数</th><th colspan="2">参加事業者</th></tr><tr><th>会社数</th><th>人数</th></tr><tr><td>R1</td><td>30社</td><td>480社</td><td>1,000人</td></tr><tr><td>R2</td><td colspan="3" rowspan="2">中止</td></tr><tr><td>R3</td></tr><tr><td>R4</td><td>29社</td><td>160社</td><td>380人</td></tr><tr><td>R5</td><td>28社</td><td>140社</td><td>350人</td></tr></table>				年度	出展事業者数	参加事業者		会社数	人数	R1	30社	480社	1,000人	R2	中止			R3	R4	29社	160社	380人	R5	28社	140社	350人
年度	出展事業者数	参加事業者																											
		会社数	人数																										
R1	30社	480社	1,000人																										
R2	中止																												
R3																													
R4	29社	160社	380人																										
R5	28社	140社	350人																										
成 果			市内の水産加工会社を中心に28社が出展した結果、23件の商談成立につながった。 展示や試食会を通して各企業の主力商品のPRを行ったほか、商談スペース等を活用して多くの商談が行われ、出展事業者による販路拡大が図られた。 また、特別企画として、おつまみと地酒のコラボコーナーを設置し、水産加工品と相性の良い地酒を合わせて紹介することにより、商品のイメージや石巻のポテンシャルを効果的に周知できた。 ◎商談数																										
			<table><tr><th>年度</th><th>商談件数</th><th>商談成立数</th></tr><tr><td>R1</td><td>100件</td><td>10件</td></tr><tr><td>R2</td><td colspan="2" rowspan="2">中止</td></tr><tr><td>R3</td></tr><tr><td>R4</td><td>100件</td><td>23件</td></tr><tr><td>R5</td><td>150件</td><td>23件</td></tr></table>				年度	商談件数	商談成立数	R1	100件	10件	R2	中止		R3	R4	100件	23件	R5	150件	23件							
年度	商談件数	商談成立数																											
R1	100件	10件																											
R2	中止																												
R3																													
R4	100件	23件																											
R5	150件	23件																											
成果に係る評価			新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった昨年に続き、今回も市内外から多くのバイヤーが来場して終始盛り上がりを感じる見本市となった。 来場バイヤー数は昨年より減少したものの、商談件数は増加し、商談成立につながった企業もあった。産地石巻市の魅力と合わせ、新商品や水産加工の技術を全国へ発信する有効な機会となった。																										
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	1,000,000	1,000,000			1,000,000																								

予算科目	7 款	商工費	事業名		商業団体支援事業																																											
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																											
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																											
	事業	商工業振興事業費		(4)	中心市街地活性化を推進する																																											
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 67																																											
目的及び事業内容		地方を取り巻く厳しい経済情勢の中、市内における地域商工業の総合的な改善・発達を図るために重要な組織である商工会議所、商工会に対し補助金を交付することで、市内商工業者の振興・育成、地域商工業の発展だけでなく、社会情勢の影響によって変動する地域経済への支援に資することを目的としている。																																														
取 組 実 績		1 商工業振興対策事業費補助金 3,000,000円 既存産業の振興育成、中心市街地活性化に係る各種事業等に対する石巻商工会議所への補助 2 中小企業振興対策事業費補助金 3,000,000円 中小企業相談所における経営改善普及事業（経営指導員による巡回相談、窓口相談等による金融、経営等の指導育成事業）に対する石巻商工会議所への補助 3 商工会事業費補助金 21,860,000円 各地域の小規模事業者の経営改善普及事業、一般指導事業に対する各商工会への補助 (1) 石巻市牡鹿稲井商工会 4,970,000円 (2) 石巻かほく商工会 9,055,000円 (3) 河南桃生商工会 7,835,000円																																														
成 果		商工会議所及び3商工会では経営指導員による積極的な巡回指導を行い、経営分析や財務分析、事業計画策定の支援等を行った。加えて、被災した事業者への継続的な復旧支援のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対して相談窓口を設置し、資金繰りや補助金申請等の経営相談を行った。 ※令和5年度の商工会議所・3商工会会員数及び指導件数 <table><tr><td></td><td>石巻 商工会議所</td><td>石巻市牡鹿 稲井商工会</td><td>石巻かほく 商工会</td><td>河南桃生 商工会</td><td>合計</td></tr><tr><td>年度末会員数</td><td>2,098 人</td><td>269 人</td><td>432 人</td><td>438 人</td><td>3,237 人</td></tr><tr><td>指導件数</td><td>5,054 件</td><td>2,441 件</td><td>2,988 件</td><td>2,089 件</td><td>12,572 件</td></tr><tr><td>巡回指導件数</td><td>1,428 件</td><td>843 件</td><td>1,493 件</td><td>1,539 件</td><td>5,303 件</td></tr><tr><td>窓口指導件数</td><td>2,905 件</td><td>1,458 件</td><td>1,268 件</td><td>511 件</td><td>6,142 件</td></tr><tr><td>集団指導件数</td><td>389 件</td><td>24 件</td><td>0 件</td><td>12 件</td><td>425 件</td></tr><tr><td>個別指導件数</td><td>332 件</td><td>116 件</td><td>227 件</td><td>27 件</td><td>702 件</td></tr></table>						石巻 商工会議所	石巻市牡鹿 稲井商工会	石巻かほく 商工会	河南桃生 商工会	合計	年度末会員数	2,098 人	269 人	432 人	438 人	3,237 人	指導件数	5,054 件	2,441 件	2,988 件	2,089 件	12,572 件	巡回指導件数	1,428 件	843 件	1,493 件	1,539 件	5,303 件	窓口指導件数	2,905 件	1,458 件	1,268 件	511 件	6,142 件	集団指導件数	389 件	24 件	0 件	12 件	425 件	個別指導件数	332 件	116 件	227 件	27 件	702 件
	石巻 商工会議所	石巻市牡鹿 稲井商工会	石巻かほく 商工会	河南桃生 商工会	合計																																											
年度末会員数	2,098 人	269 人	432 人	438 人	3,237 人																																											
指導件数	5,054 件	2,441 件	2,988 件	2,089 件	12,572 件																																											
巡回指導件数	1,428 件	843 件	1,493 件	1,539 件	5,303 件																																											
窓口指導件数	2,905 件	1,458 件	1,268 件	511 件	6,142 件																																											
集団指導件数	389 件	24 件	0 件	12 件	425 件																																											
個別指導件数	332 件	116 件	227 件	27 件	702 件																																											
成果に係る評価		物価高や後継者不足等により、地域事業者を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるが、巡回指導や窓口指導を通して金融・経営等の指導育成を図る経営改善普及事業の実施や、コロナ禍で打撃を受けた地元事業者への支援等を行うことで、地域商工業の振興に資することができた。																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	27,860,000	27,860,000				27,860,000																																										

予算科目	7 款	商工費	事業名		物産PR・イベント事業																					
	1 項	商工費	総合計画	第 章																						
	2 目	商工業振興費		第 節																						
	事業	物産振興事業費		()																						
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ																						
目的及び事業内容		各種物産イベント等において、本市の特産品やイベント等のPRを実施し、販売促進及び販路の拡大を促進し、地場産業の振興を図る。																								
取 組 実 績		各種物産イベント等において、本市特産品のPR及び販売促進を実施した。 また、農泊・食文化推進の取組に対し、補助金を交付した。 1 物産販売・PR等 <table><tr><th>名称</th><th>場所</th><th>開催日</th><th>入込数等</th></tr><tr><td>小安峡海の市</td><td>秋田県湯沢市</td><td>9月2日、3日</td><td>1,500人</td></tr><tr><td>2023太田スポレク祭</td><td>群馬県太田市</td><td>10月21日、22日</td><td>200,000人</td></tr><tr><td>ひたちなか産業交流フェア</td><td>茨城県ひたちなか市</td><td>11月4日、5日</td><td>166,000人</td></tr><tr><td>第47回上杉雪灯籠まつり</td><td>山形県米沢市</td><td>2月10日、11日</td><td>108,000人</td></tr></table> 2 石巻圏農泊・食文化推進事業 (1) 各種イベント等でのほや雑煮、蒸しほやのPR、販売 ① 東京 日本橋三越本店で開催の「食のなんじゃこりゃー博覧会」への出展 ② 桜坂高校家庭クラブと連携し「石巻復興事業完結式」、「ほやっほー祭」でのほや雑煮提供 (2) SAVOR JAPANに関するインバウンド向け動画製作のコーディネート (3) 文化庁主催による「100年フードサミット」で、桜坂高校家庭クラブのほや雑煮の取組を発表					名称	場所	開催日	入込数等	小安峡海の市	秋田県湯沢市	9月2日、3日	1,500人	2023太田スポレク祭	群馬県太田市	10月21日、22日	200,000人	ひたちなか産業交流フェア	茨城県ひたちなか市	11月4日、5日	166,000人	第47回上杉雪灯籠まつり	山形県米沢市	2月10日、11日	108,000人
名称	場所	開催日	入込数等																							
小安峡海の市	秋田県湯沢市	9月2日、3日	1,500人																							
2023太田スポレク祭	群馬県太田市	10月21日、22日	200,000人																							
ひたちなか産業交流フェア	茨城県ひたちなか市	11月4日、5日	166,000人																							
第47回上杉雪灯籠まつり	山形県米沢市	2月10日、11日	108,000人																							
成 果		関係団体と連携し、県内外で開催される物産展やイベント等に参加してPRを実施した。 本市の特産品やイベント等の効果的なPRにより、販売促進及び販路拡大の促進による地場産業の振興が図られた。																								
成果に係る評価		本事業は、地場産品及び伝統工芸品の販路拡大、産地間の交流に寄与しており、継続的な取組が必要である。 今後も積極的な物産PR等の実施により、本市の知名度の向上及び地場産品のブランド化を推進するとともに、地産地消の取組みを推進することで地域産業の活性化に繋げていく。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	1,805,000	1,585,965				1,585,965																				

予算科目	7 款	商工費	事業名		伝統技術継承支援事業（伝統工芸品支援事業）		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興		
	事業	物産振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する		
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 77	
目的及び事業内容		雄勝硯生産販売協同組合が年次計画を基に実施する事業活動への支援を通じ、後継者に対する技術指導のほか、各種展示会や物産展に参加し国指定伝統的工芸品の販路拡大や開拓を図るなど、伝統的工芸品のPR事業を実施することにより、伝統技術の承継と地場産業の振興を図る。					
取 組 実 績		1 雄勝硯、雄勝石工芸品のPR、販路拡大を行うことによる振興事業 (1) 共同事業・・製品の共同販売や原材料の共同購入 (2) 共同検査事業・・品質保持のための共同販売製品検査 後継者への指導育成と商品検品方法伝授 (3) 産業振興事業・・物産展への出店（実演販売等） 雄勝石を活用したワークショップの開催 (4) 伝統的工芸品振興事業・・国の補助金を活用するための事業計画書の作成 2 教育情報提供による後継者育成事業 (1) 組合員等を対象にした技術向上研修や後継者への技術伝承活動の実施 (2) 宮城県伝統的工芸品インターンシップ事業の実施 令和5年度実績 ・需要開拓 関東1回 県内2回 延べ22日 参加者数 延べ66人 ・ワークショップ（My硯製作体験） 2回 参加者数 134人 ・その他、硯製作技術研修会 9回 参加者数 延べ50人					
成 果		物産展の出店やPR活動を実施したことにより、雄勝硯伝統産業会館において硯・石工芸品等とともに前年を上回る売上げとなったほか、北海道庁旧庁舎屋根の改修に雄勝天然スレートが使用されるなど、需要の開拓に大きな成果があった。 また、雄勝石を使用した硯やコースターの製作など、中高生を対象としたワークショップを開催することにより、若年層への普及、認知度向上や伝統的技術への興味の醸成につなげることができた。 そのほか、伝統的工芸品振興計画を策定したことにより、国の伝統的工芸品産業支援補助金に採択され、令和6年度から5年間にわたり財政支援を受けられることとなったことから、財政基盤強化による今後の事業の拡大が期待できる。					
成果に係る評価		雄勝石産業の振興を図るため、組合の事業基盤強化策として国の補助金が採択されたことから、今後の事業の拡大において雄勝硯や石工芸品等の需要拡大を目的とした展示、販売を強化していく必要がある。 また、My硯製作体験といった手作りの技と伝統文化に接する機会を提供することにより、引き続き後継者の育成や確保につなげていきたい。 なお、宮城県伝統的工芸品インターンシップ事業を実施したところ、1人の後継者の確保に至ったが、移住に対する不安から急遽辞退される事案があったことから、移住者の受入れに係る環境を整えることが課題であり、空き家情報の収集や地域性に関わる情報発信に努める必要がある。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
					国(県)支出金	地方債	その他
	1,500,000		1,500,000				1,000,000
						一般財源	500,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		産業振興対策事業																												
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																												
	2 目	商工業振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出																												
	事業	産業振興事業費		(2)	新規創業や第二創業を促進する																												
担当部課		産業部産業推進課		実施計画掲載ページ		P 82																											
目的及び事業内容		金融機関等の支援事業者と連携しながら、本市独自の補助制度により創業希望者への経費支援を行うとともに、市内事業者を対象とした各種相談会や中小企業セミナー、ISHINOMAKI トライアルマーケット等の開催により、新規創業の促進と産業の振興を図る。																															
取組実績		令和5年度は、本市独自の支援制度である「石巻市創業支援補助金制度」、業務委託先の石巻産業創造樹が実施する無料の相談会や各種セミナーのほか、創業支援事業として市内の創業者を対象にテスト販売や事業PRの機会を設けるISHINOMAKI トライアルマーケットを開催した。 1 各種創業支援等事業の実施 ・ワンストップ相談窓口の開設 延べ利用者：50者（うち創業関連：延べ20者） ・経営相談会 延べ利用者：29者（うち創業関連：延べ24者） 2 石巻市創業支援補助金の交付 ・17件 7,476,739円（内訳：新規申請10件 5,392,714円 継続申請7件 2,084,025円） 3 中小企業・創業機運醸成セミナーの実施 <table><tr><th>内容</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>小規模事業者持続化補助金活用セミナー</td><td>28人</td></tr><tr><td>自社の価格戦略を考えるセミナー</td><td>11人</td></tr><tr><td>趣味を副業へ進める実践講座</td><td>8人</td></tr><tr><td>第1回創業フォローアップセミナー</td><td>9人</td></tr><tr><td>第2回創業フォローアップセミナー</td><td>10人</td></tr><tr><td>アントレプレナーセミナー</td><td>166人</td></tr></table> 4 若手経営者育成のための経営革新塾の実施 ・6回（1クール）開催 12名参加 5 ISHINOMAKI トライアルマーケットの実施（2回） <table><tr><td>日時</td><td>11月11日（土）、12日（日）</td><td>3月16日（土）、17日（日）</td></tr><tr><td>開催場所</td><td colspan="2">イオンモール石巻催事場</td></tr><tr><td>出店事業者</td><td>9者</td><td>10者</td></tr><tr><td>来場者数</td><td>826人</td><td>2,738人</td></tr></table>						内容	参加者数	小規模事業者持続化補助金活用セミナー	28人	自社の価格戦略を考えるセミナー	11人	趣味を副業へ進める実践講座	8人	第1回創業フォローアップセミナー	9人	第2回創業フォローアップセミナー	10人	アントレプレナーセミナー	166人	日時	11月11日（土）、12日（日）	3月16日（土）、17日（日）	開催場所	イオンモール石巻催事場		出店事業者	9者	10者	来場者数	826人	2,738人
内容	参加者数																																
小規模事業者持続化補助金活用セミナー	28人																																
自社の価格戦略を考えるセミナー	11人																																
趣味を副業へ進める実践講座	8人																																
第1回創業フォローアップセミナー	9人																																
第2回創業フォローアップセミナー	10人																																
アントレプレナーセミナー	166人																																
日時	11月11日（土）、12日（日）	3月16日（土）、17日（日）																															
開催場所	イオンモール石巻催事場																																
出店事業者	9者	10者																															
来場者数	826人	2,738人																															
成果		KPI である「新規創業・第二創業件数（単年）」は、目標9件に対して実績9件であった。成果として、直近5年間に創業支援補助金の活用実績のある創業者のもとで働く従業員（雇用者）の人数は、令和6年3月末時点で91人であり、新規創業の促進と合わせて雇用創出が図られた。 <table><tr><th colspan="2">令和5年度創業件数の内訳</th><th colspan="3">令和元年度から令和5年度までに創業支援補助金を活用した者の令和5年度創業状況</th></tr><tr><th>業種</th><th>件数</th><th>売上高（決算額）</th><th>営業利益（決算額）</th><th>雇用者数</th></tr><tr><td>製造業、情報通信業</td><td>2 件</td><td rowspan="5">478,189,730円</td><td rowspan="5">23,720,035円</td><td rowspan="5">91人</td></tr><tr><td>不動産業</td><td>1 件</td></tr><tr><td>生活関連サービス業、サービス業</td><td>5 件</td></tr><tr><td>医療、福祉業</td><td>1 件</td></tr><tr><td>合計</td><td>9 件</td></tr></table> 対象者40者のうち、34者から回答を徴取						令和5年度創業件数の内訳		令和元年度から令和5年度までに創業支援補助金を活用した者の令和5年度創業状況			業種	件数	売上高（決算額）	営業利益（決算額）	雇用者数	製造業、情報通信業	2 件	478,189,730円	23,720,035円	91人	不動産業	1 件	生活関連サービス業、サービス業	5 件	医療、福祉業	1 件	合計	9 件			
令和5年度創業件数の内訳		令和元年度から令和5年度までに創業支援補助金を活用した者の令和5年度創業状況																															
業種	件数	売上高（決算額）	営業利益（決算額）	雇用者数																													
製造業、情報通信業	2 件	478,189,730円	23,720,035円	91人																													
不動産業	1 件																																
生活関連サービス業、サービス業	5 件																																
医療、福祉業	1 件																																
合計	9 件																																
成果に係る評価		市内金融機関や産業支援機関等で構成する「石巻市創業支援事業者連携会議」における支援情報の共有を密に行いながら、各支援事業者の役割分担のもと、創業支援と創業後のフォローアップを実施したほか、令和4年度に続き、創業支援策としてISHINOMAKI トライアルマーケットを2回開催し、創業者のテスト販売や事業PRの機会を創出することで事業者支援をすることができたことから、事業を継続する必要がある。																															
予算の執行状況		(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																												
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	20,227,000		17,530,815				7,476,739	10,054,076																									

予算科目	7 款	商工費	事業名		地域資源活用産業化促進事業		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	商工業振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出		
	事業	産業振興事業費		(3)	地域資源を活かした産業を強化する		
担当部課		産業部産業推進課		実施計画掲載ページ		P 82	
目的及び事業内容			C N F（セルロースナノファイバー）など、今後事業展開が見込まれる地元産業の地域資源の利活用を促進するため、セミナーの開催等を行い、新技術の導入、新規事業への進出等、経営基盤の強化や新たな事業展開を行う事業者への支援を行い、雇用創出や産業の活性化に努める。				
取 組 実 績			オンラインで開催されるセミナー等に参加し、C N Fの実用化に向けた情報の収集を行った。 また、令和2年度から加入している「ナノセルロースジャパン」にて設立後初となる現地（静岡県富士市）での総会及びプラットフォームセミナーがあり、参加して情報収集を行った。 さらに、石巻地域の産業振興・発展に寄与すべく、「産」「学」「官」が連携し様々な事業に取り組むべく設立された、「石巻地域産学官グループ交流会」にて地元企業によるセミナーを2回開催し、K P Iである「地域資源利活用セミナー参加者数（単年）」の目標20人に対し、60人の参加実績があった。 1回目は、令和5年11月10日に株式会社 I ・ D ・ Fによる「リチウムイオン電池を活用したまちづくり」についてセミナーを開催し、27人が参加した。 2回目は、令和6年2月14日に株式会社イービス藻類産業研究所による「ナンノクロロブシスの利活用」についてセミナーを開催し、33人が参加した。 また、物質をナノレベルで測定することができるといった世界最高峰の分析性能を有する次世代放射光施設「N a n o T e r a s u（ナノテラス）」が東北大学青葉山キャンパス内に整備されたことに伴い、利用方法や今後の展望、市内事業者における利活用の可能性について東北大学と協議を重ねた。				
成 果			株式会社イービス藻類産業研究所は、市内の小中学生に藻類を通して未来の食糧危機について考え、地元の産業への理解を深めてもらうべく、令和5年11月に教育委員会と連携し「地元の藻（ナンノクロロブシス）」の粉末を活用した給食を提供したほか、米粉にナンノクロロブシスを練り込んで作ったパンズが特徴的な「藻バーガー」や阿部蒲鉾店とのナンノクロロブシス入りコラボ商品「社のひょうたん揚げ」といった新商品の開発・販売を行った。 C N Fについては、令和5年度にC N Fを活用し製品化した市内事業者はいなかったことから、引き続き、日本製紙株式会社石巻工場と連携し、石巻地域産学官グループ交流会等でのセミナーを実施し、市内事業者への普及啓発に努めていく。				
成果に係る評価			市内事業者による地域資源を活かした事業化推進のためには、地域資源に対する市内事業者の理解促進が必須であることから、引き続きセミナー等の開催による情報発信や市内事業者のマッチング、先進事例等の情報収集に努める必要がある。 また、地域資源を磨き上げるべく、令和6年4月に運用を開始した次世代放射光施設「N a n o T e r a s u（ナノテラス）」の利活用に向けて、市内事業者への情報提供や東北大学と市内事業者のマッチングを支援する必要がある。				
							(単位：円)
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		267,000	104,360				104,360

予算科目	7 款	商工費	事業名		融資あっせん制度事業〔復興基金〕																																						
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																						
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																						
	事業	中小企業等融資関係費		(1)	事業者への経営支援を行う																																						
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 65																																						
目的及び事業内容		事業資金を必要とする市内の中小企業者に対して、金融機関への預託により融資あっせんを行うとともに、制度利用者への信用保証料補給及び災害等の影響を受けた事業者への利子補給の実施により、事業者の安定及び振興発展を図る。																																									
取 組 実 績		融資あっせん制度事業及び信用保証料補給事業、利子補給事業を行った。 1 融資あっせん制度事業、信用保証料補給事業 金融機関に対して預託を行い融資あっせん制度を実施するとともに、制度を利用した事業者に対して信用保証料の補給を行った。 また、融資あっせん制度による融資が返済不能となった際には、信用保証協会への損失補償を行っている。 <table><tr><td>区分</td><td>預託額</td></tr><tr><td>中小企業融資（一般資金）</td><td>300,000千円</td></tr><tr><td>小企業小口融資</td><td>10,000千円</td></tr><tr><td>中小企業融資（災害関連枠）</td><td>270,000千円</td></tr></table> ※災害関連枠については令和2年度末で受付を終了しているが債務残高に応じた預託を行っている。 2 利子補給事業 (1) 石巻市中小企業融資災害関連利子補給金制度 石巻市の中小企業融資（災害関連枠）による融資を受けた事業者に対して、3年間の利子補給を実施した。なお、対象融資の新規受付は令和2年度末で終了している。 (2) 石巻市中小企業災害等資金利子補給金制度 宮城県や日本政策金融公庫などの災害等への対応を目的とした一部の融資制度（セーフティネット融資など）を利用した事業者に対して、3年間の利子補給を行った。					区分	預託額	中小企業融資（一般資金）	300,000千円	小企業小口融資	10,000千円	中小企業融資（災害関連枠）	270,000千円																													
区分	預託額																																										
中小企業融資（一般資金）	300,000千円																																										
小企業小口融資	10,000千円																																										
中小企業融資（災害関連枠）	270,000千円																																										
成 果		制度の実施により、市内中小企業の経営の安定及び振興発展が図られた。 1 融資あっせん制度、信用保証料補給事業 <table><tr><td rowspan="2">区分</td><td colspan="2">融資実績</td><td rowspan="2">信用保証料 補給額</td><td colspan="2">損失補償</td></tr><tr><td>件数</td><td>融資金額</td><td>件数</td><td>金額</td></tr><tr><td>中小企業融資（一般資金）</td><td>152件</td><td>1,113,474千円</td><td>15,918千円</td><td>1件</td><td>66千円</td></tr><tr><td>小企業小口融資</td><td>1件</td><td>1,000千円</td><td>34千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>中小企業融資（災害対応資金）</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※災害対応資金については、激甚災害等が発生していないため発動していない。 2 利子補給事業 <table><tr><td>区分</td><td>件数</td><td>金額</td></tr><tr><td>石巻市中小企業融資災害関連利子補給制度</td><td>194件</td><td>7,718千円</td></tr><tr><td>石巻市中小企業災害等資金利子補給金事業</td><td>30件</td><td>2,302千円</td></tr></table>					区分	融資実績		信用保証料 補給額	損失補償		件数	融資金額	件数	金額	中小企業融資（一般資金）	152件	1,113,474千円	15,918千円	1件	66千円	小企業小口融資	1件	1,000千円	34千円	0件	0千円	中小企業融資（災害対応資金）	—	—	—	—	—	区分	件数	金額	石巻市中小企業融資災害関連利子補給制度	194件	7,718千円	石巻市中小企業災害等資金利子補給金事業	30件	2,302千円
区分	融資実績		信用保証料 補給額	損失補償																																							
	件数	融資金額		件数	金額																																						
中小企業融資（一般資金）	152件	1,113,474千円	15,918千円	1件	66千円																																						
小企業小口融資	1件	1,000千円	34千円	0件	0千円																																						
中小企業融資（災害対応資金）	—	—	—	—	—																																						
区分	件数	金額																																									
石巻市中小企業融資災害関連利子補給制度	194件	7,718千円																																									
石巻市中小企業災害等資金利子補給金事業	30件	2,302千円																																									
成果に係る評価		市内中小企業者の経営の安定及び振興発展を図るために、融資あっせん及び信用保証料及び利子の補給を実施し、多くの事業者の経営の安定化に寄与した。 今後についても引き続き、事業者を取り巻く状況を注視し、条件等を検討しながら事業を継続していく必要がある。 また、中小企業融資（災害対応資金）についても、令和5年度に石巻市において激甚災害等の発生がなかったことから実績なしとなったが、今後本市を災害が襲った際に速やかに事業者への資金調達支援を行うために、事業を継続する必要がある。																																									
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	790,075,400	606,361,179			590,018,689	16,342,490																																					

予算科目	7 款	商工費	事業名		中心市街地賑わい創出事業	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興	
	事業	中心市街地活性化事業費		(4)	中心市街地活性化を推進する	
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 67	
目的及び事業内容			中心市街地において、イベント開催への支援や空き地・空き店舗を活用した新規出店を促すことで賑わいを創出するとともに、交流人口の拡大と来訪者の回遊性向上を図る。			
取 組 実 績			中心市街地賑わい創出事業の実績 1 街なかイベント開催助成金 (1) 助成件数 10件 (2) 助成額 1,709,600円 2 マンガロード新名物創出サポート業務委託料 990,000円 (1) 企画立案件数 19件 (2) 商品化件数 1件 3 マンガロード新名物創出事業補助金 (1) 助成件数 1件 (2) 助成額 33,000円 4 空き地・空き店舗活用助成金 (1) 助成件数 3件 (2) 助成額 2,603,000円			
成 果			事業の実施により、中心市街地の賑わい創出が図られた。 1 街なかイベント開催助成金 助成金を活用したイベントが行われたことで、多くの市民や観光客が中心市街地を訪れ、交流人口の拡大が図られた。 2 マンガロード新名物創出サポート業務委託料 キャラクター等著作権者との交渉が必要となることから、(株)街づくりまっほうに事業者へのサポート業務を委託しており、相談の受付や商品の企画提案を実施したことにより、1件商品化することができた。 3 マンガロード新名物創出事業補助金 版權の問題等により商品化までつながった案件は1件にとどまったものの、マンガを活かした新名物がインターネットなどで取り上げられ、中心市街地の認知度向上につながった。 4 空き地・空き店舗活用助成金 空き店舗を活用した飲食店やヨガ教室が誕生し、中心市街地の賑わい創出に寄与することができた。			
成果に係る評価			新型コロナウイルス感染症の5類移行も後押しとなり、街なかイベント開催助成金を活用したイベント開催が大きく増加したほか、空き地・空き店舗活用助成金を活用した新規出店も一定数見られ、街なかの賑わい創出につながった。 一方、マンガロード新名物の創出については、版權の扱い等の課題もあることから、事業の見直しも視野に検討していく必要がある。			
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	7,733,000	5,335,600				5,335,600

予算科目	7 款	商工費	事業名		地方創生ＲＰＧアプリにおける地域賑わい創出事業		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興		
	事業	中心市街地活性化事業		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する		
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 77	
目的及び事業内容		本市を舞台にした、スマートフォン向けのＲＰＧ（ロールプレイングゲーム）アプリを活用し、観光施設や地場産品、史跡や歴史などの地域資源とともに、震災から復興を遂げた本市の姿を国内外へと広く発信する。 アプリの内容は、ユーザーがゲームの世界の石巻を旅しながら、本市の民話・産業・史跡・施設・食文化などに触れられる内容とし、また、本市への来訪を誘引するため、市内観光施設等で使用できるクーポンの搭載やＧＰＳ通信スポットを設定し、地域経済の活性化を図っていく。					
取 組 実 績		アプリの認知度向上や人気獲得に向けて、各種プロモーションを行った。 また、観光客や交流人口の増加に向けて、クーポン協力店舗の公募を行った。 1 プロモーション 本市の観光プロモーションと併せて各イベントにおいて、キズナファンタジアブースを設けアプリのプロモーションを行った。 2 クーポン協力店舗の公募 公募により3店舗を追加。掲載終了の店舗もあり、26店舗での利用が可能となっている。 3 石巻専修大学との地域連携事業 石巻専修大学と「ＲＰＧキズナファンタジアを活用した若者の郷土理解の促進と地域の賑わい創出」と題した共同研究を行い、ゲームのプレイに至るまでの動機付けが弱いことが指摘されたことから、ゲームに触れてもらう機会を作る為に、アプリに登場する場所の動画等を作成し、プロモーションに繋げることとした。					
成 果		1 令和6年3月末時点での各種数値は以下のとおり。 (1) ダウンロード数 26,089件 (2) ＧＰＳスポット別押下数（全20か所） 3,855回 (3) クーポン利用（グッズ提供）数（全29か所） 510回（個） 2 石巻専修大学との地域連携事業 石巻専修大学との連携事業による共同研究において指摘された内容から、新たなプロモーション手法として、アプリに登場する場所の動画を作成し今後動画サイトでの公開を予定している。					
成果に係る評価		配信開始から3年が経過し、配信開始直後と比べて話題性が無くなってきたことから、石巻専修大学との地域連携事業の結果を踏まえた今後の効果的なプロモーション方法を検討していく必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
					国(県)支出金	地方債	その他
	990,000		990,000				990,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		地域の宝研究開発事業																																					
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																					
	2 目	商工業振興費		第 3 節	魅力的な農林畜産業の振興																																					
	事業	地域の宝研究開発事業費		(4)	石巻産農畜産物のブランド化を推進する																																					
担当部課		産業部農林課	実施計画掲載ページ		P 75																																					
目的及び事業内容			本市の地域の宝となる新たな特産品の研究・開発を行い、基幹産業である農林水産業の振興を図るため、栽培技術の習得と生産体制の確立を目指していく。市のオリーブ加工施設を市内の農業法人等が活用し、高品質且つ国産オリーブ北限の地としての付加価値をプラスした特産品の創出をする。																																							
取 組 実 績			1 新たな果樹「オリーブ」栽培 (1)北上・河北地区において密植解消の改植が行われ栽培面積が概ね3.5haから7.0haへ拡大。 (2)先進地より指導者に来ていただき管理並びに搾油技術の指導を受けた。 (3)宮城県農業改良普及センターと協力して、栽培暦の作成や土壌調査、現地での病害虫の予防・駆除方法について定期的な巡回指導に取り組んだ。 (4)ファーストブランドとセカンドブランドのオリーブオイルを製品化して販売を行った。 2 オリーブ加工施設の活用を図る (1)搾油機械等を活用しオリーブオイルの搾油を実施。 3 石巻市新規果樹等作物育成事業（苗木助成）の実施。 (1)実績：1件 補助金額：131,000円																																							
成 果			1 新たな果樹「オリーブ」栽培実績 (1)実施した栽培技術と管理作業の指導により、栽培技術や季節ごとの病害虫防除作業の習得ができた。 (2)県農業改良普及センターと協力して、ほ場の土壌の状況や生息する害虫や病気の確認ができ、それらへの対応が図られた。 (3)密植解消を図るため、改植を行い、樹木の適正間隔による栽培に取り組んだ。 地区別収穫量 (単位 k g) <table><tr><td>年度</td><td>北上</td><td>河北</td><td>雄勝</td><td>牡鹿</td><td>合計</td></tr><tr><td>R1</td><td>74.19</td><td>29.43</td><td>0.97</td><td>0.85</td><td>105.44</td></tr><tr><td>R2</td><td>408.70</td><td>46.35</td><td>62.95</td><td>1.30</td><td>519.30</td></tr><tr><td>R3</td><td>529.05</td><td>137.05</td><td>46.50</td><td>12.50</td><td>725.10</td></tr><tr><td>R4</td><td>319.60</td><td>91.25</td><td>282.20</td><td>21.70</td><td>714.75</td></tr><tr><td>R5</td><td>1,094.95</td><td>547.50</td><td>482.85</td><td>94.90</td><td>2,220.20</td></tr></table> 2 オリーブ加工施設の活用を図る (1)栽培しているオリーブから2,220.20kg（対前年比310%）の果実が収穫された。その中から選果し、「石巻産オリーブオイル」約119.62Lが搾油できた。 (2)オリーブ加工施設で生産したオリーブオイルを地域のイベント等に出品し、石巻産オリーブとして販売した。 3 石巻市新規果樹等作物育成事業費（苗木助成）を実施 (1)栽培本数及び栽培面積の拡大が図られた。				年度	北上	河北	雄勝	牡鹿	合計	R1	74.19	29.43	0.97	0.85	105.44	R2	408.70	46.35	62.95	1.30	519.30	R3	529.05	137.05	46.50	12.50	725.10	R4	319.60	91.25	282.20	21.70	714.75	R5	1,094.95	547.50	482.85	94.90	2,220.20
年度	北上	河北	雄勝	牡鹿	合計																																					
R1	74.19	29.43	0.97	0.85	105.44																																					
R2	408.70	46.35	62.95	1.30	519.30																																					
R3	529.05	137.05	46.50	12.50	725.10																																					
R4	319.60	91.25	282.20	21.70	714.75																																					
R5	1,094.95	547.50	482.85	94.90	2,220.20																																					
成果に係る評価			高品質オリーブオイルの製造には収穫、選別、加工（搾油）の工程を短時間でを行い、酸化防止することが重要であり、オリーブ加工施設は、高品質オリーブオイル製造に欠かせない施設となっている。収穫量が増加・安定してきていることから、事業を継続し、特産品としての定着を図る。 今後、オリーブ果実の収穫量が増大してくると考えられることから、産地の維持発展と産地化に向け、新たな販路を確保する必要があるため、事業を継続する。																																							
予算の執行状況			(単位：円)																																							
予算額		決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
5,389,000		4,568,010			2,133,725	2,434,285																																				

予算科目	7 款	商工費	事業名	消費者行政対策事業																																	
	1 項	商工費		総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																															
	2 目	商工業振興費			第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																															
	事業	消費者行政事業費			(3)	各種相談事業を充実させる																															
担当部課		産業部商工課 保健福祉部総合相談センター		実施計画掲載ページ		P 61																															
目的及び事業内容		消費生活における安全・安心の確保のため、消費生活相談員を配置して消費者被害の未然防止と救済に取り組むほか、自立した消費者の育成を図るため、消費者教育と消費生活に関する啓発を推進する。 また、消費者行政の強化を図るため、消費生活相談体制の強化・充実を図っており、消費者被害の防止とともに、市民の消費生活に関する安心確保に努める。																																			
取 組 実 績		1 ラジオ石巻による啓発 週3回、2分程度の放送により悪質商法の手口の紹介や被害防止の注意喚起を行った。 2 地元紙「石巻かほく」への記事掲載 毎月第4土曜日、5段1/4スペースに様々な消費者被害の事例を掲載し注意喚起を行った。 3 消費者講演会等の実施 (1) 一般市民を対象とした弁護士による「令和5年度消費生活講演会」の開催（1回、47人参加） (2) 市内小中学生を対象とした弁護士による消費者教育のための講演会（計7回開催、265人参加） ・和渕小学校、大街道小学校、北村小学校、万石浦小学校、釜小学校、稲井中学校、牡鹿中学校 (3) 保育所幼児を対象とした消費啓発事業の実施（計3回、33人参加） ・水明保育所、北村保育所、雄勝保育所・相川保育所・北上こども園合同開催 (4) 出前講座「消費者被害にあわないために」の開催（計7回、172人参加） 4 啓発物品の作製 高齢者等の詐欺被害防止を目的とした啓発物品の作製 （手ぬぐい4,000枚、トートバッグ4,000個、啓発用パンフレット2,300部、クリアファイル1,000枚、ウェットティッシュ1,000個、エイトバンセット1,000個、啓発ハンドブック200冊、啓発用のぼり旗3枚）																																			
成 果	消費生活相談員を配置し、消費者からの相談に迅速かつ適切な対応を行うとともに、情報資料等の提供により消費者への啓発に寄与した。																																				
	1 消費生活相談実績																																				
	<table><tr><th>年度</th><th>金融・保険</th><th>通信・運輸</th><th>リース・賃貸</th><th>工事・建築</th><th>その他</th><th>相談件数合計</th></tr><tr><td>R3</td><td>204件</td><td>60件</td><td>58件</td><td>29件</td><td>517件</td><td>868件</td></tr><tr><td>R4</td><td>202件</td><td>49件</td><td>35件</td><td>25件</td><td>552件</td><td>863件</td></tr><tr><td>R5</td><td>245件</td><td>61件</td><td>53件</td><td>20件</td><td>521件</td><td>900件</td></tr></table>						年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計	R3	204件	60件	58件	29件	517件	868件	R4	202件	49件	35件	25件	552件	863件	R5	245件	61件	53件	20件	521件	900件			
	年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計																														
R3	204件	60件	58件	29件	517件	868件																															
R4	202件	49件	35件	25件	552件	863件																															
R5	245件	61件	53件	20件	521件	900件																															
2 多重債務相談実績（年代別）																																					
<table><tr><th>区分</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>10～20代</td><td>12人（8.1%）</td><td>16人（9.3%）</td><td>15人（7.9%）</td></tr><tr><td>30代</td><td>20人（13.5%）</td><td>22人（12.8%）</td><td>18人（9.5%）</td></tr><tr><td>40代</td><td>17人（11.5%）</td><td>35人（20.4%）</td><td>35人（18.4%）</td></tr><tr><td>50代</td><td>38人（25.7%）</td><td>19人（11.0%）</td><td>42人（22.1%）</td></tr><tr><td>60代以上</td><td>58人（39.2%）</td><td>79人（45.9%）</td><td>77人（40.5%）</td></tr><tr><td>不明</td><td>3人（2.0%）</td><td>1人（0.6%）</td><td>3人（1.6%）</td></tr><tr><td>合計</td><td>148人</td><td>172人</td><td>190人</td></tr></table> ※（ ）内は割合						区分	R3	R4	R5	10～20代	12人（8.1%）	16人（9.3%）	15人（7.9%）	30代	20人（13.5%）	22人（12.8%）	18人（9.5%）	40代	17人（11.5%）	35人（20.4%）	35人（18.4%）	50代	38人（25.7%）	19人（11.0%）	42人（22.1%）	60代以上	58人（39.2%）	79人（45.9%）	77人（40.5%）	不明	3人（2.0%）	1人（0.6%）	3人（1.6%）	合計	148人	172人	190人
区分	R3	R4	R5																																		
10～20代	12人（8.1%）	16人（9.3%）	15人（7.9%）																																		
30代	20人（13.5%）	22人（12.8%）	18人（9.5%）																																		
40代	17人（11.5%）	35人（20.4%）	35人（18.4%）																																		
50代	38人（25.7%）	19人（11.0%）	42人（22.1%）																																		
60代以上	58人（39.2%）	79人（45.9%）	77人（40.5%）																																		
不明	3人（2.0%）	1人（0.6%）	3人（1.6%）																																		
合計	148人	172人	190人																																		
成果に係る評価	消費者被害を防ぐため地元紙や地元ラジオ局などによる注意喚起とともに相談窓口の周知を合わせて行っており、前年に比べ若干相談件数の増加が見られた。相談件数のうち多重債務に関する相談は増加しており、特に50代の割合が大幅に増えている。 今後も各年齢層に応じた広報・啓発事業の充実を図るとともに、消費者被害の注意喚起として各種事業を継続する必要がある。																																				
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	15,835,600	15,202,593	2,979,413			12,223,180																															

予算科目	7 款	商工費	事業名		企業育成支援事業																													
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																													
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																													
	事業	企業育成支援事業費		(1)	事業者への経営支援を行う																													
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 65																												
目的及び事業内容		地域資源を活かした産業の創出、石巻市独自の技術開発、販路拡大及び技能継承等本市の産業をけん引する事業者が行う創造的事業を支援し、本市の地域間競争を高めていく。																																
取 組 実 績		石巻市産業創造助成金事業を実施し、実績は以下のとおりであった。 1 人材育成事業（上限 500,000円） 市内企業の新分野進出等を図るため、従業員の資質・技術力向上のための研修等の費用を助成 実績：2件 715,263円 2 研究開発事業（上限 2,500,000円） 市内事業者の地域資源の活用、産学連携を図るため、研究開発（共同研究）の費用を助成 実績：2件 3,447,721円 3 情報提供事業（上限 500,000円） 市内事業者の販路拡大等を図るため、商品見本市、展示商談会等の出店等の費用を助成 実績：8件 1,291,105円 4 知的財産等取得事業（上限 500,000円） 市内事業者の高度化等を図るため、商品に係る意匠権や商標権、特許取得等の費用を助成 実績：1件 500,000円 合計：13件 5,954,089円																																
成 果		<table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値（件数）</th><th>実績等（件数）</th></tr><tr><td>R1</td><td>6 件</td><td>7 件</td><td>117 %</td></tr><tr><td>R2</td><td>6 件</td><td>11 件</td><td>183 %</td></tr><tr><td>R3</td><td>8 件</td><td>7 件</td><td>88 %</td></tr><tr><td>R4</td><td>8 件</td><td>5 件</td><td>63 %</td></tr><tr><td>R5</td><td>8 件</td><td>13 件</td><td>163 %</td></tr></table>							年度	成果指標		達成率	目標値（件数）	実績等（件数）	R1	6 件	7 件	117 %	R2	6 件	11 件	183 %	R3	8 件	7 件	88 %	R4	8 件	5 件	63 %	R5	8 件	13 件	163 %
年度	成果指標		達成率																															
	目標値（件数）	実績等（件数）																																
R1	6 件	7 件	117 %																															
R2	6 件	11 件	183 %																															
R3	8 件	7 件	88 %																															
R4	8 件	5 件	63 %																															
R5	8 件	13 件	163 %																															
成果に係る評価		令和5年度は13件の実績となり、近年の実績及び目標値を上回る件数となった。増加した要因としては、市報や産学官連携セミナー等で制度の周知を行ったことや、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより社会情勢や経済の動向が変化し、事業者が積極的に事業を展開していく必要が生じたことによるものと考えられる。 今後についても制度の更なる活用が期待され、本市の地域間競争力を高めていくために有効な事業であるため、事業を継続する必要がある。																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	6,000,000	5,954,089				5,954,089																												

予算科目	7 款	商工費	事業名		6次産業化推進事業																																																																	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																	
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																																	
	事業	企業育成支援事業費		(3)	地域ブランドを育成する																																																																	
担当部課		産業部商工課		実施計画掲載ページ		P 66																																																																
目的及び事業内容		6次産業化の担い手となる人材の育成と事業化支援を行うことにより、地域資源を活用した商品開発、ブランド力向上及び販路拡大を推進し、1次産業事業者の経営多角化、所得向上及び地場産業の振興を図るため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」を設置し運営を委託する。 センターにおいては6次産業化に取り組む人材育成のため、セミナー等を実施するとともに、6次産業化に取り組む事業者に対して、個別相談や相談の内容に応じた専門家の派遣等、必要な支援を実施する。																																																																				
取 組 実 績		1 石巻市6次産業化・地産地消推進センター業務実績 (1) 人材育成 販売力向上を目的としたセミナーを対面及びWEBでそれぞれ1回ずつ開催し、計31名の参加があった。 (2) 事業化支援 ア 総合支援 6次産業化に関して、92事業者から929件の相談受付を行った。 イ 商品開発支援 支援員派遣等によりマーケティング調査やアドバイスを実施し、13件の商品開発を支援した。 ウ 販路開拓支援 事業者に小売店を紹介するなどして、38件の販路開拓を支援した。また、対面販売会やバイヤーとのWEB商談会を実施し新たな販売方法への進出を支援した。																																																																				
成 果		センター事業の実施により、市内事業者の6次産業化の推進が図られた。 【センター事業の成果】 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th>相談受付 件数</th><th>支援 事業者数</th><th colspan="2">総合化、6次産業化 事業計画認定件数</th><th colspan="2">商品開発 件数※</th><th colspan="2">販路開拓 件数</th></tr><tr><th>実績</th><th>実績</th><th>目標</th><th>実績</th><th>目標</th><th>実績</th><th>目標</th><th>実績</th></tr><tr><td>R1</td><td>165件</td><td>11者</td><td>2件</td><td>0件</td><td>5件</td><td>21件</td><td>10件</td><td>15件</td></tr><tr><td>R2</td><td>184件</td><td>24者</td><td>2件</td><td>0件</td><td>5件</td><td>15件</td><td>10件</td><td>36件</td></tr><tr><td>R3</td><td>657件</td><td>60者</td><td>2件</td><td>0件</td><td>5件</td><td>11件</td><td>10件</td><td>15件</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,100件</td><td>75者</td><td>2件</td><td>0件</td><td>10件</td><td>14件</td><td>10件</td><td>26件</td></tr><tr><td>R5</td><td>929件</td><td>92者</td><td>2件</td><td>1件</td><td>12件</td><td>13件</td><td>16件</td><td>38件</td></tr></table> ※商品開発件数13件の内訳は農産物加工商品11件、水産物加工商品2件							年度	相談受付 件数	支援 事業者数	総合化、6次産業化 事業計画認定件数		商品開発 件数※		販路開拓 件数		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	R1	165件	11者	2件	0件	5件	21件	10件	15件	R2	184件	24者	2件	0件	5件	15件	10件	36件	R3	657件	60者	2件	0件	5件	11件	10件	15件	R4	1,100件	75者	2件	0件	10件	14件	10件	26件	R5	929件	92者	2件	1件	12件	13件	16件	38件
年度	相談受付 件数	支援 事業者数	総合化、6次産業化 事業計画認定件数		商品開発 件数※		販路開拓 件数																																																															
	実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																																																														
R1	165件	11者	2件	0件	5件	21件	10件	15件																																																														
R2	184件	24者	2件	0件	5件	15件	10件	36件																																																														
R3	657件	60者	2件	0件	5件	11件	10件	15件																																																														
R4	1,100件	75者	2件	0件	10件	14件	10件	26件																																																														
R5	929件	92者	2件	1件	12件	13件	16件	38件																																																														
成果に係る評価		市内事業者の6次産業化を推進するため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」において、事業者への支援を実施した結果、令和4年度を上回る支援事業者数となった。これは、地道な広報活動等により、センターの認知度が高まっていることが大きな要因であると考えられる。実際に商品開発や販路開拓に結びついた件数も目標を上回っており、今後も事業者ニーズに応じた支援を継続していく必要がある。																																																																				
(単位：円)																																																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	27,700,000		27,166,700					27,166,700																																																														

予算科目	7 款	商工費	事業名		6次産業化・地産地消推進事業																																																																	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																	
	2 目	商工業振興費		第 1 節	賑わいと活気にあふれる商工業の振興																																																																	
	事業	企業育成支援事業費		(3)	地域ブランドを育成する																																																																	
担当部課		産業部商工課	実施計画掲載ページ		P 66																																																																	
目的及び事業内容		農林漁業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、創意工夫による地域資源の高付加価値化を図るため、1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発や新ブランドの確立等の事業に対して、石巻市6次産業化・地産地消推進助成金を交付する。																																																																				
取 組 実 績		1 新商品開発事業 1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して、新商品の開発やブランドの確立を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和5年度交付件数 1件 交付金額 245,000円 2 販路開拓事業 1次産業、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して、新たなマーケティング手法を用いた販路開拓、地産地消の推進を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和5年度交付件数 0件 3 施設整備事業 国から「総合化事業計画」又は「農商工等連携事業計画」の認定を受けた事業者が、加工・販売施設等の整備を行う事業に対して助成を行い、6次産業化及び地産地消の推進を図る。 令和5年度交付件数 0件																																																																				
成 果		石巻市6次産業化・地産地消推進助成金事業の実施により、市内事業者の6次産業化や地産地消の推進が図られた。 【石巻市6次産業化・地産地消推進助成金 交付実績】 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">新商品開発</th><th colspan="2">販路開拓</th><th colspan="2">施設整備</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th>件数</th><th>交付金額</th><th>件数</th><th>交付金額</th><th>件数</th><th>交付金額</th><th>件数</th><th>交付金額</th></tr><tr><td>R1</td><td>1件</td><td>800,952円</td><td>3件</td><td>1,136,100円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>4件</td><td>1,937,052円</td></tr><tr><td>R2</td><td>0件</td><td>0円</td><td>1件</td><td>1,000,000円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>1件</td><td>1,000,000円</td></tr><tr><td>R3</td><td>3件</td><td>619,195円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>3件</td><td>619,195円</td></tr><tr><td>R4</td><td>4件</td><td>1,642,460円</td><td>4件</td><td>1,766,843円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>8件</td><td>3,409,303円</td></tr><tr><td>R5</td><td>1件</td><td>245,000円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>0件</td><td>0円</td><td>1件</td><td>245,000円</td></tr></table>							年度	新商品開発		販路開拓		施設整備		合計		件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	R1	1件	800,952円	3件	1,136,100円	0件	0円	4件	1,937,052円	R2	0件	0円	1件	1,000,000円	0件	0円	1件	1,000,000円	R3	3件	619,195円	0件	0円	0件	0円	3件	619,195円	R4	4件	1,642,460円	4件	1,766,843円	0件	0円	8件	3,409,303円	R5	1件	245,000円	0件	0円	0件	0円	1件	245,000円
年度	新商品開発		販路開拓		施設整備		合計																																																															
	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額																																																														
R1	1件	800,952円	3件	1,136,100円	0件	0円	4件	1,937,052円																																																														
R2	0件	0円	1件	1,000,000円	0件	0円	1件	1,000,000円																																																														
R3	3件	619,195円	0件	0円	0件	0円	3件	619,195円																																																														
R4	4件	1,642,460円	4件	1,766,843円	0件	0円	8件	3,409,303円																																																														
R5	1件	245,000円	0件	0円	0件	0円	1件	245,000円																																																														
成果に係る評価		市内事業者の6次産業化及び地産地消の推進を図るため、6次産業化に取り組み商品開発を行った1件に対して、245,000円の助成金を交付した。 金融懇談会や中小企業関連支援施設説明会の機会を通じて、事業者や関係機関へ制度の周知を図り、助成金の活用を促したが、事業者間の足並みが揃わなかったことなどが要因で、件数は伸びなかった。しかし、事業者間の連携強化や地場産品の販売促進、それらに伴う1次事業者の所得向上など多くの効果が期待できることから、事業を継続する必要がある。																																																																				
(単位：円)																																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																
	1,000,000	245,000				245,000																																																																

予算科目	7 款	商工費	事業名		企業立地等支援事業																			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																			
	2 目	商工業振興費		第 5 節	企業誘致の推進と新たな産業の創出																			
	事業	企業立地等促進事業費		(1)	新規及び既存企業への立地などに伴う支援を推進する																			
担当部課		産業部産業推進課		実施計画掲載ページ		P 81																		
目的及び事業内容			石巻市企業立地等促進条例に基づく各種助成金の交付により、市内外企業者の立地を促進し、立地後における企業者のランニングコスト軽減を図る。 また、宮城県企業立地セミナーへの参加を通じて業界情報を収集するとともに、本市への企業立地意向を確認するためのアンケート調査において、本市に興味を示した企業に対する積極的な訪問を実施し、本市独自のインセンティブである各種助成金交付制度等をアピールする。																					
取 組 実 績			1 企業訪問件数 103件 県内及び関東圏の運送業、製造業の企業を中心に訪問し、市場動向の調査と併せインセンティブとなる各種助成金制度の説明を実施したほか、本市産業用地及び産業団地適地選定調査に基づく桃生豊里 I C 付近の適地候補地の P R に取り組んだ。 2 宮城県企業立地セミナーへの参加 (1) 令和5年11月9日 名古屋会場 参加企業 135社 244名 (2) 令和6年1月22日 東京会場 参加企業 157社 247名 企業とのコミュニケーションにより業界情報を収集するとともに、本市企業立地ガイドや観光パンフレットにより、本市の魅力をアピールした。 3 企業立地意向調査 東北、関東、東海エリアを中心に全国の製造業、運送業等の企業2,500社に対してアンケート調査を実施し、本市の立地環境、産業用地情報及び各種優遇制度の情報を発信するとともに、設備投資検討状況について情報収集を行った。 4 石巻市企業立地等促進条例助成金交付実績																					
			<table><tr><th>項目</th><th>交付件数</th><th>交付額</th></tr><tr><td>・企業立地助成金</td><td>24 件</td><td>13,788,900 円</td></tr><tr><td>・上水道料金助成金</td><td>10 件</td><td>20,226,661 円</td></tr><tr><td>・雇用奨励助成金</td><td>5 件</td><td>16,800,000 円</td></tr><tr><td>・環境対策助成金</td><td>1 件</td><td>10,000,000 円</td></tr><tr><td>合計</td><td>40 件</td><td>60,815,561 円</td></tr></table>				項目	交付件数	交付額	・企業立地助成金	24 件	13,788,900 円	・上水道料金助成金	10 件	20,226,661 円	・雇用奨励助成金	5 件	16,800,000 円	・環境対策助成金	1 件	10,000,000 円	合計	40 件	60,815,561 円
項目	交付件数	交付額																						
・企業立地助成金	24 件	13,788,900 円																						
・上水道料金助成金	10 件	20,226,661 円																						
・雇用奨励助成金	5 件	16,800,000 円																						
・環境対策助成金	1 件	10,000,000 円																						
合計	40 件	60,815,561 円																						
成 果			企業立地意向調査におけるアンケート調査分析や企業への個別訪問、宮城県企業立地セミナーへの参加を通じ、立地ニーズや設備投資動向等の把握に繋がったほか、誘致活動上重要な企業との新たな繋がりを確保することができた。 また、石巻市企業立地等促進条例助成金については、27社に対し各種助成金40件を交付。本市独自のインセンティブにより、市内における新たな設備投資や雇用の促進に寄与することができた。 なお、総合計画に掲げる年間の新規立地目標件数10件に対し、令和5年度は8件（市内増設3件、市内移設2件、市外新設3件）の実績であった。																					
成果に係る評価			新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行となった令和5年度は、市外企業に対する誘致活動を推進するとともに、前年度同様に市内企業訪問を積極的に行い、助成制度の説明など増設や移設等に対する支援を実施することができた。 今後も企業立地促進のため、積極的な企業訪問や業界トレンドの把握に努め、企業視点に立ったより活用しやすい助成制度について検討しながら、引き続き誘致活動を推進していく。 また、台湾の大手半導体メーカーが新たに宮城県内に半導体製造工場を建設することに伴い、県内各所に関連企業の立地が見込まれることから、引き続きその動向を注視しながら、誘致に繋がるよう情報収集に努めたい。																					
(単位：円)																								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
		110,123,200	66,145,556			19,420,209	46,725,347																	

予算科目	7 款	商工費	事業名		リボンアートフェスティバル開催支援事業															
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち															
	2 目	商工業振興費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興															
	事業	リボンアートフェスティバル開催支援事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する															
担当部課		産業部産業推進課		実施計画掲載ページ		P 77														
目的及び事業内容			市内中心部及び牡鹿半島を主会場として「地域振興／復興につながる循環」を目的に開催される「アート」・「音楽」・「食」の総合芸術祭「Reborn-Art Festival」の開催支援を行うことで交流人口・関係人口の拡大を図る。																	
取組実績			令和6年度の本祭開催を目指し、Reborn-Art Festival事務局（以降、RAF事務局という。）と週1回の定例会等を開催しながら事業を進めてきたが、令和5年11月開催の臨時総会で本祭開催を令和7年度へと延期することが決定されたことに伴い、本祭開催に向けたプレイベントも延期された。 その一方で、RAF事務局においては「Reborn-Art Festival」に関連した活動を実施したほか、こじか隊によるボランティア活動、アート制作のワークショップ等を実施した。 【関連活動】 <table><tr><th>内容</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>5/4～5/6、7/15～7/16 はまさいさい特別営業</td><td>113人</td></tr><tr><td>「Reborn-Art STAND」川開き祭り特別営業</td><td>180人</td></tr><tr><td>観光再始動事業ツアー</td><td>9人</td></tr><tr><td>「Yotta」による市内中心部での千代紙模様集めワークショップ</td><td>18人</td></tr><tr><td>「Yotta」による「くじらちょうちん」を制作するワークショップ</td><td>26人</td></tr><tr><td>「こじか隊」ビーチクリーン活動、金華山でのボランティア活動</td><td>21人</td></tr></table>				内容	参加者数	5/4～5/6、7/15～7/16 はまさいさい特別営業	113人	「Reborn-Art STAND」川開き祭り特別営業	180人	観光再始動事業ツアー	9人	「Yotta」による市内中心部での千代紙模様集めワークショップ	18人	「Yotta」による「くじらちょうちん」を制作するワークショップ	26人	「こじか隊」ビーチクリーン活動、金華山でのボランティア活動	21人
内容	参加者数																			
5/4～5/6、7/15～7/16 はまさいさい特別営業	113人																			
「Reborn-Art STAND」川開き祭り特別営業	180人																			
観光再始動事業ツアー	9人																			
「Yotta」による市内中心部での千代紙模様集めワークショップ	18人																			
「Yotta」による「くじらちょうちん」を制作するワークショップ	26人																			
「こじか隊」ビーチクリーン活動、金華山でのボランティア活動	21人																			
成果			本祭開催が令和7年度へと1年延期されたことに伴い、プレイベント活動等の成果は挙げられなかったが、市内の常設作品のうち、荻浜地区の「White Deer (Oshika)」の令和5年度延べ来場者数は約8,500人の来観客が訪れたほか、関連した活動により、「Reborn-Art Festival」の知名度向上につながった。																	
成果に係る評価			Reborn-Art Festival実行委員会及び市内有志により結成された石巻実行委員会と連携しながら、市民・地元企業の機運醸成に結び付くイベントの内容や実施手法について、RAF事務局と検討を重ねる必要がある。 なお、同事務局が次回本祭に向けて「広域開催の実現」、「運営体制の見直し」を行う方針であるため、開催支援の立場として引き続き動向を注視しつつ、可能な限りの支援を継続する必要がある。																	
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	5,240,000	5,001,880			3,000,000	2,001,880														

予算科目	7 款	商工費	事業名		海水浴場開設事業																																						
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																						
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																						
	事業	海水浴場管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																						
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 78																																					
目的及び事業内容			市営海水浴場を開設し、観光客や市民が安心して海に親しむレクリエーションの場として安全対策に必要な業務を行うことで海難事故を防止するとともに、観光誘客を推進し、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。																																								
取 組 実 績			1 市営海水浴場の開設 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことを受け、地区住民との調整を踏まえた上で、すべての市営海水浴場を開設した。 各海水浴場入込数 <table><tr><th>海水浴場名</th><th>地区</th><th>開設期間</th><th>開設日数</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>渡波海水浴場</td><td>本庁</td><td>7/22～8/20</td><td>30日間</td><td>3,115人</td><td>3,583人</td></tr><tr><td>荒浜海水浴場</td><td>雄勝</td><td>7/22～8/20</td><td>30日間</td><td>開設休止</td><td>1,340人</td></tr><tr><td>白浜海水浴場</td><td>北上</td><td>7/22～8/20</td><td>30日間</td><td>4,412人</td><td>3,668人</td></tr><tr><td>網地白浜海水浴場</td><td>牡鹿</td><td>7/15～8/20</td><td>37日間</td><td>6,170人</td><td>4,223人</td></tr><tr><td>十八成浜海水浴場</td><td>牡鹿</td><td>7/15～8/20</td><td>37日間</td><td>6,073人</td><td>5,328人</td></tr></table>					海水浴場名	地区	開設期間	開設日数	R4	R5	渡波海水浴場	本庁	7/22～8/20	30日間	3,115人	3,583人	荒浜海水浴場	雄勝	7/22～8/20	30日間	開設休止	1,340人	白浜海水浴場	北上	7/22～8/20	30日間	4,412人	3,668人	網地白浜海水浴場	牡鹿	7/15～8/20	37日間	6,170人	4,223人	十八成浜海水浴場	牡鹿	7/15～8/20	37日間	6,073人	5,328人
海水浴場名	地区	開設期間	開設日数	R4	R5																																						
渡波海水浴場	本庁	7/22～8/20	30日間	3,115人	3,583人																																						
荒浜海水浴場	雄勝	7/22～8/20	30日間	開設休止	1,340人																																						
白浜海水浴場	北上	7/22～8/20	30日間	4,412人	3,668人																																						
網地白浜海水浴場	牡鹿	7/15～8/20	37日間	6,170人	4,223人																																						
十八成浜海水浴場	牡鹿	7/15～8/20	37日間	6,073人	5,328人																																						
成 果			市営海水浴場を開設することで、観光客や市民が安心して海に親しむレクリエーションの場を提供でき、誘客の促進及び観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。																																								
成果に係る評価			入込数が昨年度よりも下回った理由については、酷暑による外出控えが主な要因であると考えられ、日差しを遮る物がない海水浴場では熱中症のリスクが高く、積極的な利用に至らなかったものと考えられる。 一方で、震災後初めて市内5か所すべての市営海水浴場が開設され、大きなトラブルもなく運営できたことから、地区住民や監視業者等の理解のもと、連携が図られ適正な運営がなされたとと言える。 今後も引き続き、安全かつ快適な遊泳環境を提供するとともに、地域の賑わいの創出と交流人口の拡大を図るため、市営海水浴場の開設を継続していく必要がある。																																								
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	24,162,234	24,146,795				24,146,795																																					

予算科目	7 款	商工費	事業名		観光PR事業																
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 78～80															
目的及び事業内容		新鮮な海産物に代表される四季折々の食材や美しい自然など、本市の豊富な観光資源を活かし、効果的な情報発信を行うことで観光誘客を推進し、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。																			
取 組 実 績		1 石巻市総合ガイドブック等作成事業 石巻観光協会の実施事業に市が負担金を支出する形で、観光ガイドブック（日本語版・英語版）を発行した。また、仙台空港をはじめとする市内外の観光施設・関係機関のパンフレットラック及び市内外で開催されるイベント等での観光ガイドブック配布により観光情報等の発信を行い、観光客の誘客を促進した。（作成部数 日本語版：12,500部、英語版：2,500部） 2 マンガバス活用推進事業（※令和5年度で事業終了） (1) 車両概要 1号車:わたせせいぞう氏デザイン 2号車:石ノ森キャラクターと市内コンテンツ画像 (2) 乗車実績 1号車：24,816人 2号車：22,827人 3 映画等誘致・製作支援事業 せんだい・宮城フィルムコミッションと連携し、ドラマや映画のロケ地誘致に取り組んだ。 (1) 令和5年度誘致提案実績 映画 5件 (2) 提案ロケ地 金華山灯台、大須小学校、網地島、田代島など 4 観光情報発信強化事業 (1) フェイスブックアカウント フォロワー数 4,560件（いいね数 4,110件） (2) インスタグラムアカウント フォロワー数 2,071件 (3) 首都圏及び仙台圏での観光PR ① Onland Craft Market 2023出展(東京都) 期間:10月20日、21日 期間内来場者数:約6,000名 ② 本市食材活用メニューフェア開催(仙台市)(店舗での情報発信・物販実施及び情報誌等での周知) 石巻オリジナルメニューフェア 期間：R6.3月1日～31日 期間内来場者数：4,323名 観光アンケート（Web）回答数 385件 、 メールマガジン配信数 31,385名 5 その他事業 (1) インバウンド対応 国際交流員を配置し、通訳、翻訳等インバウンド誘客に対応。 宮城県市長会・東北観光推進機構と連携した「台湾」での観光プロモーションの実施 (2) その他 日和山観桜対応、マンガタンライナー運行、観光大使の活用など。																			
成 果		観光ガイドブックの作成やマンガバスの活用、映画等の誘致・製作支援など、各種観光PR事業の実施により、観光誘客が推進され、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">観光客入込数</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R3</td><td>3,600,000人</td><td>2,773,778人</td></tr><tr><td>R4</td><td>3,600,000人</td><td>4,248,570人</td></tr><tr><td>R5</td><td>3,600,000人</td><td>4,931,248人</td></tr></table>						年度	観光客入込数		目標値	実績	R3	3,600,000人	2,773,778人	R4	3,600,000人	4,248,570人	R5	3,600,000人	4,931,248人
年度	観光客入込数																				
	目標値	実績																			
R3	3,600,000人	2,773,778人																			
R4	3,600,000人	4,248,570人																			
R5	3,600,000人	4,931,248人																			
成果に係る評価		観光客入込数は、対前年比約1.2倍となっており、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準まで回復している。 今後、さらなる観光誘客を推進し、観光交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげていくには、あらゆる媒体を活用した情報発信が必要不可欠であり、より効果的な観光PR手法を模索しながら、事業を継続していく必要がある。																			
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																
					国(県)支出金	地方債	その他														
	30,512,017		28,886,737				6,649,568														
							22,237,169														

予算科目	7 款	商工費	事業名		まつりイベント事業																																																										
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																										
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																																										
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																																										
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 78																																																									
目的及び事業内容		各種祭りイベントの開催を支援することにより、地場産業の振興、地域伝統文化の継承保存及び地域住民の融和とコミュニティの形成による地域活性化を図るとともに、観光交流人口の増加による観光事業の振興を図る。																																																													
取 組 実 績		各種まつりイベント実行委員会に対して補助金・負担金を交付するとともに、事業の実施に当たっては、各実行委員会等への支援を行った。 <table><thead><tr><th>イベント名称</th><th>R4</th><th>R5</th><th>補助金額</th></tr></thead><tbody><tr><td>石巻川開き祭り</td><td>128,500人</td><td>276,000人</td><td>29,000,000円</td></tr><tr><td>サン・ファン祭り</td><td>3,000人</td><td>10,000人</td><td>1,700,000円</td></tr><tr><td>サン・ファン渡波市民夏祭り</td><td>4,000人</td><td>4,800人</td><td>200,000円</td></tr><tr><td>サマーフェスタ・イン・かほく</td><td>中止</td><td>9,000人</td><td>2,100,000円</td></tr><tr><td>かほく産業まつり</td><td>4,000人</td><td>4,000人</td><td>964,334円</td></tr><tr><td>雄勝海鮮市まつり</td><td>14,200人</td><td>20,200人</td><td>1,800,000円</td></tr><tr><td>かなん市民まつり</td><td>中止</td><td>6,500人</td><td>1,900,000円</td></tr><tr><td>ものうふれあい祭</td><td>中止</td><td>12,000人</td><td>4,150,000円</td></tr><tr><td>にっこりまつり</td><td>5,000人</td><td>3,600人</td><td>2,000,000円</td></tr><tr><td>にっこり歳の市</td><td>2,700人</td><td>2,100人</td><td>1,000,000円</td></tr><tr><td>にっこり写真セミナー</td><td>31人</td><td>39人</td><td>700,000円</td></tr><tr><td>牡鹿鯨まつり</td><td>15,000人</td><td>12,000人</td><td>3,000,000円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>176,431人</td><td>360,239人</td><td>48,514,334円</td></tr></tbody></table>						イベント名称	R4	R5	補助金額	石巻川開き祭り	128,500人	276,000人	29,000,000円	サン・ファン祭り	3,000人	10,000人	1,700,000円	サン・ファン渡波市民夏祭り	4,000人	4,800人	200,000円	サマーフェスタ・イン・かほく	中止	9,000人	2,100,000円	かほく産業まつり	4,000人	4,000人	964,334円	雄勝海鮮市まつり	14,200人	20,200人	1,800,000円	かなん市民まつり	中止	6,500人	1,900,000円	ものうふれあい祭	中止	12,000人	4,150,000円	にっこりまつり	5,000人	3,600人	2,000,000円	にっこり歳の市	2,700人	2,100人	1,000,000円	にっこり写真セミナー	31人	39人	700,000円	牡鹿鯨まつり	15,000人	12,000人	3,000,000円	合 計	176,431人	360,239人	48,514,334円
イベント名称	R4	R5	補助金額																																																												
石巻川開き祭り	128,500人	276,000人	29,000,000円																																																												
サン・ファン祭り	3,000人	10,000人	1,700,000円																																																												
サン・ファン渡波市民夏祭り	4,000人	4,800人	200,000円																																																												
サマーフェスタ・イン・かほく	中止	9,000人	2,100,000円																																																												
かほく産業まつり	4,000人	4,000人	964,334円																																																												
雄勝海鮮市まつり	14,200人	20,200人	1,800,000円																																																												
かなん市民まつり	中止	6,500人	1,900,000円																																																												
ものうふれあい祭	中止	12,000人	4,150,000円																																																												
にっこりまつり	5,000人	3,600人	2,000,000円																																																												
にっこり歳の市	2,700人	2,100人	1,000,000円																																																												
にっこり写真セミナー	31人	39人	700,000円																																																												
牡鹿鯨まつり	15,000人	12,000人	3,000,000円																																																												
合 計	176,431人	360,239人	48,514,334円																																																												
成 果		令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止としたイベントもあったが、令和5年度は、感染症拡大前と同規模でイベントを開催することができた。 また、入込数は令和4年度から約18万4千人増加し、前年度と比較して倍増する結果となった。 特に、石巻川開き祭りは、第100回の記念大会であったことから、特別事業の実施等により、入込数の大幅な増加があるなど、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。																																																													
成果に係る評価		令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に併せ、感染症拡大前と同規模のイベント開催がなされ、更なる賑わい創出、観光交流人口の拡大が図られた。 地域資源を活かした観光誘客を推進し、観光交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため、引き続き事業を継続する必要がある。																																																													
(単位：円)																																																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																										
					国(県)支出金	地方債	その他																																																								
	48,850,000		48,514,334				31,878,334																																																								
							16,636,000																																																								

予算科目	7 款	商工費	事業名		みちのく潮風トレイル活用推進事業		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興		
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する		
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 78	
目的及び事業内容			半島沿岸部をルートとしたみちのく潮風トレイル開通に伴い、自然歩道を管理し、活用を推進することで、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。				
取 組 実 績			1 ガイドマップ作成 みちのく潮風トレイルコース、コース周辺の公共交通機関、緊急避難場所といったハイカーにとって必要な情報や観光施設等の観光情報を記載したガイドマップを作成し、関係自治体や道の駅等の各観光施設、トレイル関連商品を取り扱っているスポーツショップなどに配架を依頼した。 (1) 発行部数 4,000部 2 路体管理、刈払い、巡視の実施 (1) 委託先 石巻山の会 (2) 実施回数 春、初秋の年2回実施 石巻山の会からの報告内容は、石巻・川のビジターセンターを通じて、環境省並びにみちのくトレイルクラブに報告。 3 「みちのく潮風トレイル関係自治体協議会」への参画 令和5年6月に、本市を含む、4県、29市町村が参加し「みちのく潮風トレイル関係自治体協議会」が設立され、利用者増加に向けた意見交換や環境整備に関する要望活動に取り組む体制が確立された。 (1) 設立年月日 令和5年6月24日 (2) 中央要望実施 令和5年7月11日				
成 果			令和6年6月9日のみちのく潮風トレイル全線開通5周年に向けて、本市のトレイルに関する情報を包括的に盛り込んだガイドマップを作製したことで、みちのく潮風トレイル認知度向上を図るとともに、全線開通5周年記念を迎えるにあたっての機運を高めることができた。 また、自然歩道を適正に管理し、活用を推進することで、利用者の利便性の向上と観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。				
成果に係る評価			作成した観光ガイドマップを有効的に活用し、本市の観光PRや地域活性化を図るとともに、今後みちのく潮風トレイルによる観光振興及び観光交流人口の増加を図るために、利用実績測定方法の確立を環境省等に働きかけるほか、利用者が安全かつ快適にみちのく潮風トレイルをハイク出来るよう、路体管理・巡視、環境整備を継続して実施する必要がある。 加えて、みちのく潮風トレイルの基本理念である「地域住民とハイカーの交流」を実現させるためには市民の認知度と理解度の向上が必要であるとともに、インバウンド利用者の増加を含めた、観光コンテンツとしての成熟を目指すために、観光関連団体や関係団体との連携を深め、利用者の市内における消費行動の増加に繋がる施策を検討・実施していく必要がある。				
(単位：円)							
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		2,387,500	1,606,513				1,606,513

予算科目	7 款	商工費	事業名		石巻港大型客船誘致事業																														
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																														
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																														
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																														
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 78																													
目的及び事業内容		広域産業拠点港湾として地域経済・産業をけん引する、仙台塩釜港「石巻港区」の更なる発展を目的に、大型客船関係企業へポートセールス等による港湾利用の促進を図るとともに、観光交流人口の拡大による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。																																	
取 組 実 績		1 大型客船関係企業へのポートセールスの実施 等 (1) 4月27日 客船「MSCベリッシマ」日本初寄港記念イベントへの出席 (2) 6月22日 夏季ポートセールス客船会社 3社 (3) 2月 8日 冬季ポートセールス客船会社 2社、旅行会社 1社 2 大型客船寄港実績 <table><tr><td>寄港日</td><td>寄港船舶</td><td>寄港埠頭</td><td>乗船客数</td></tr><tr><td>7月30日</td><td>パシフィックワールド</td><td>雲雀野埠頭</td><td>1,600人</td></tr><tr><td>8月3日</td><td>MSCベリッシマ</td><td>雲雀野埠頭</td><td>3,800人</td></tr><tr><td>9月20日</td><td>にっぽん丸</td><td>大手埠頭</td><td>271人</td></tr><tr><td>10月31日</td><td>にっぽん丸</td><td>大手埠頭</td><td>320人</td></tr><tr><td>11月22日</td><td>MSCベリッシマ</td><td>雲雀野埠頭</td><td>3,622人</td></tr><tr><td colspan="3">計</td><td>9,613人</td></tr></table>						寄港日	寄港船舶	寄港埠頭	乗船客数	7月30日	パシフィックワールド	雲雀野埠頭	1,600人	8月3日	MSCベリッシマ	雲雀野埠頭	3,800人	9月20日	にっぽん丸	大手埠頭	271人	10月31日	にっぽん丸	大手埠頭	320人	11月22日	MSCベリッシマ	雲雀野埠頭	3,622人	計			9,613人
寄港日	寄港船舶	寄港埠頭	乗船客数																																
7月30日	パシフィックワールド	雲雀野埠頭	1,600人																																
8月3日	MSCベリッシマ	雲雀野埠頭	3,800人																																
9月20日	にっぽん丸	大手埠頭	271人																																
10月31日	にっぽん丸	大手埠頭	320人																																
11月22日	MSCベリッシマ	雲雀野埠頭	3,622人																																
計			9,613人																																
成 果		新型コロナウイルスの影響が収束してきたことにより、令和5年度は、石巻港初寄港となるMSCベリッシマを含む延べ5隻の入港があり、観光交流人口の拡大による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図られた。 特にMSCベリッシマは日本初寄港となり、それを記念したイベントに石巻港大型客船誘致協議会として招待されたため、当日は石巻港及び周辺自治体のPRを乗船客や船員等に直接行うことができた。 また、首都圏へのポートセールスの際、船会社だけでなく旅行会社へのトップセールスも行い、ツアープランニング側の意見を取り入れていく上で重要な一歩となった。																																	
成果に係る評価		新型コロナウイルスの5類への緩和、これまでの誘致活動の実施により、令和5年度は延べ5隻の入港が達成された。客船寄港により、多くの乗船客が石巻地方を訪れ、地域の活性化、大きな経済効果も期待できることから、引き続き事業を継続する必要がある。 船会社へのポートセールスについては、港湾を取り巻く社会情勢の変化、背後地の利用計画等、今後の港湾計画の見直しに合わせ実施していく必要がある。また、今後は船会社だけでなくツアー会社等へのセールスも検討していく。																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																														
					国(県)支出金	地方債	その他																												
	5,080,000		5,080,000				1,000,000																												
					一般財源																														
					4,080,000																														

予算科目	7 款	商工費	事業名		石巻観光ボランティア支援事業																						
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																						
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																						
	事業	観光振興事業費		(2)	観光振興体制を構築する																						
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 80																					
目的及び事業内容			「震災学びの案内」や石巻地域の歴史・文化等を案内する取組により、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝える活動及び、駅頭案内や各観光イベント時のガイドなどを実施している石巻観光ボランティア協会に対し、活動費を補助することで円滑な活動を促進するとともに、観光客の受入環境の向上を図る。																								
取 組 実 績			本市の情報発信及び観光振興に寄与する石巻観光ボランティア協会に対し、研修等のための活動費に係る補助金を交付した。 1 研修会関係 ・石巻歴史研修 1回 参加者数 8人 ・震災遺構門脇小学校解説研修 1回 参加者数 13人 ・学びの案内研修 1回 参加者数 11人 ・他自治体震災遺構施設研修 1回 参加者数 9人 ・観光案内英会話教室 9回 参加者数 延べ69人 2 ボランティアガイド関係 ・5/21 サン・ファン祭り ・7/30 大型客船「パシフィックワールド」寄港 ・8/3 大型客船「MSCベリッシマ」寄港 ・9/20 大型客船「にっぽん丸」寄港 ・9/30～10/1 GOGOラリー in 東北 ・10/22 風っこ女川シーバル号 ・10/31 大型客船「にっぽん丸」寄港 ・11/22 大型客船「MSCベリッシマ」寄港 ・2/23 風っこストープ女川号 ○震災学びの案内 活動実績 <table><tr><th>年度</th><th>バス台数（うち学校）</th><th>参加人数（うち学校）</th><th>オンライン人数</th></tr><tr><td>R1</td><td>315台（23校）</td><td>5,730人（636人）</td><td rowspan="5"></td></tr><tr><td>R2</td><td>68台（12校）</td><td>937人（891人）</td></tr><tr><td>R3</td><td>99台（24校）</td><td>2,876人（2,481人）</td></tr><tr><td>R4</td><td>152台（24校）</td><td>3,230人（1,141人）</td></tr><tr><td>R5</td><td>201台（20校）</td><td>3,605人（940人）</td></tr></table>					年度	バス台数（うち学校）	参加人数（うち学校）	オンライン人数	R1	315台（23校）	5,730人（636人）		R2	68台（12校）	937人（891人）	R3	99台（24校）	2,876人（2,481人）	R4	152台（24校）	3,230人（1,141人）	R5	201台（20校）	3,605人（940人）
年度	バス台数（うち学校）	参加人数（うち学校）	オンライン人数																								
R1	315台（23校）	5,730人（636人）																									
R2	68台（12校）	937人（891人）																									
R3	99台（24校）	2,876人（2,481人）																									
R4	152台（24校）	3,230人（1,141人）																									
R5	201台（20校）	3,605人（940人）																									
成 果			会員のガイドスキルアップのため、各種研修会を実施したほか、ボランティアガイドとして、「震災学びの案内」を継続して実施し、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝えることができた。 また、各種イベントに参加し、来場者や参加者への観光案内を実施しつつ、市外から訪れた人々に対する本市の観光PRを行うなど、観光客の受入環境の向上に寄与した。																								
成果に係る評価			「震災学びの案内」の利用者は、開始以来延べ13万人を超える全国からの来訪者を案内している。 平成24年度をピークに以降は年々減少しており、令和元年度、2年度と新型コロナウイルス感染症拡大の影響から大幅に落ち込んだためオンラインでの案内も開始した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が収束したことにより、令和5年度におけるオンライン案内は希望者がいなかったが、その分実際に本市を訪れての案内参加人数が増加している。 石巻観光ボランティア協会は「震災学びの案内」等、震災伝承に係る取組みの実施について数少ない受入団体であることや、震災の教訓を次の世代に継承し、風化させないためにも本団体の存在は重要であり、また本市の観光PRや認知度向上、情報発信に寄与するものであることから、今後も本協会の活動を支援することで、会員の技能及び受入環境の向上といった事業を継続する必要がある。																								
予算の執行状況			(単位：円)																								
予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
500,000		500,000					500,000																				

予算科目	7 款	商工費	事業名		日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」活用推進事業	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	観光振興事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 79
目的及び事業内容		日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」に追加認定された「金華山道」、「金華山詣」を、本市の観光資源と連携させて活用するとともに、日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」推進協議会会員の他自治体と連携して観光振興に取り組み、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。				
取 組 実 績		日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」活用推進事業として、以下の取組を実施した。 1 案内看板整備事業 日本遺産の認知度向上を図るため、ＪＲ石巻駅前、観光物産交流施設Ｃｏｔｔｕ内の2か所に日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」や市内観光施設の情報を掲載した観光案内パネルを設置した。 2 商品開発補助事業 日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」関連の商品開発に係る補助金を交付した。 (1) 申請件数 2件 (2) 補助金額 229,686円 3 普及啓発事業 日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」推進協議会が開催する地域参加型ＰＲポスターコンテスト「きんぼす」に参加し、市内の魅力再発見につながる普及啓発を行った。 4 情報発信事業 英語併記の日本遺産観光パンフレットを作成した。 また、日本遺産サミット等各種のＰＲイベントに参加し、本市と「みちのくＧＯＬＤ浪漫」の認知度向上、魅力発信に努めた。 (1) 日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」観光パンフレット作成 日本語・英語併記版 30,000部 (2) ＰＲイベント出展 ・11月4日、5日 「日本遺産フェスティバルｉｎ八王子」出展 ・2月10日～12日 「日本遺産の日関連イベント」出展				
成 果		本市の観光資源と連携させて活用するとともに、日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」推進協議会会員の他自治体と連携した取組により、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。				
成果に係る評価		令和4年7月の日本遺産追加認定以降、「みちのくＧＯＬＤ浪漫」推進協議会と連携し、各種ＰＲ事業を実施するなど、認知度向上に向けた様々な取組を実施している。 今後、日本遺産「みちのくＧＯＬＤ浪漫」を活用し、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済への効果をさらに促進させるためには、同協議会や教育委員会のほか、関係団体と連携し、認知度向上に向けたさらなる取組が必要である。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,840,000	1,178,986	545,000			633,986

予算科目	7 款	商工費	事業名		サン・ファン・パウティスタパーク管理運営事業			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興			
	事業	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する			
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		－		
目的及び事業内容		サン・ファン・パウティスタパークの適正な管理運営を図るとともに、市民の文化活動の向上と憩いの場を提供し、さらに観光拠点として観光誘客を推進し、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域の活性化を図る。						
取 組 実 績	1 指定管理者 公益財団法人慶長遣欧使節船協会							
	2 指定管理料 40,000,000円							
	3 指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日							
	4 事業内容 (1) 各種設備機器保安・保守業務 (2) パーク内行為許可業務 (3) 観光情報の提供							
取 組 実 績	5 利用者数							
			年度	R1	R2	R3	R4	R5
			パーク来園者数	85,553人	73,696人	49,062人	34,814人	56,289人
			サン・ファン館入館者数	31,188人	27,291人	14,234人	10,469人	0人
		※サン・ファン館は令和4年10月からリニューアル工事のため長期休館中。						
取 組 実 績	6 主な施設修繕、改修実績							
			内容		実施日		金額	
			サン・ファン・パウティスタパーク事業用地側溝清掃作業		令和6年2月～3月		132,000円	
成 果	隣接する宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）との一体的な管理運営により、相互の施設の魅力や集客力の向上を効率的に実施し、施設の適正な維持管理が図られた。 また、指定管理事業者及び地元団体等が実施する施設を活用した各種イベントについては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、コロナ前レベルの内容で開催され、観光交流人口の拡大に寄与した。 中でもサン・ファン祭りについては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を念頭に令和4年度は10月に開催されたが、令和5年度より例年通りの5月に開催し、サン・ファン館がリニューアル工事に伴う長期休館中ではあったものの10,000人の来場者があるなど、地域の賑わい創出に大きく寄与し、観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化が図られた。							
	○サン・ファン・パウティスタパークを会場とした主なイベント							
			事業名		開催日		来場者数	
			第30回サン・ファン祭り		5/21		10,000人	
成果に係る評価	施設共用開始から25年以上が経過し、経年による施設の老朽化が著しいが、必要に応じた適切な修繕等の実施により、施設の適正な維持管理が図られている。 令和4年10月より、サン・ファンミュージアムのリニューアル工事に伴う長期休館中ではあるが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、パーク利用者数は回復基調となっている。 今後は、サン・ファン館リニューアルオープンに伴う来館者の増加が見込まれることから、パーク施設の利用者のホスピタリティ向上に向け、一層の施設の適正管理が求められる。また、リニューアルオープンに伴う空きテナントの利活用策の検討や、来園者増加に向けた施策実施が必要となる。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	40,137,500		40,132,000					40,132,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		御番所公園再整備事業														
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち														
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興														
	事業	御番所公園管理費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する														
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		－													
目的及び事業内容			御番所公園をより快適に利用することができ、施設の魅力を高めるため、観光客が安全安心に利用できるよう遊具の更新等を行う。																
取 組 実 績			御番所公園再整備事業として、下記事業を実施した。 1 御番所公園遊具整備実施設計業務 園地・駐車場等 基準面積0.25ha 一式 2 御番所公園遊具整備工事 (1) 複合遊具（小） 1基 (2) 複合遊具（大） 1基 (3) 渡り遊具 1基 (4) 四連ブランコ 1基 (5) ウォール遊具 1基 3 利用実績 <table><tr><td>区分</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>入園者数</td><td>28,752人</td><td>31,249人</td><td>57,990人</td><td>92,848人</td><td>127,621人</td></tr></table>					区分	R1	R2	R3	R4	R5	入園者数	28,752人	31,249人	57,990人	92,848人	127,621人
区分	R1	R2	R3	R4	R5														
入園者数	28,752人	31,249人	57,990人	92,848人	127,621人														
成 果			御番所公園再整備事業として遊具の更新等を行うことにより、施設の魅力向上及び観光客等が安全安心に公園利用するための環境整備が図られた。 ◆令和5年度末事業進捗率 <table><tr><td>工事等名称</td><td>事業進捗率</td></tr><tr><td>おしか御番所公園遊具整備実施設計業務</td><td>100%</td></tr><tr><td>おしか御番所公園遊具整備工事</td><td>100%</td></tr></table>					工事等名称	事業進捗率	おしか御番所公園遊具整備実施設計業務	100%	おしか御番所公園遊具整備工事	100%						
工事等名称	事業進捗率																		
おしか御番所公園遊具整備実施設計業務	100%																		
おしか御番所公園遊具整備工事	100%																		
成果に係る評価			整備事業は順調に進捗しているが、公園内各施設の老朽化改善は全て完了しておらず、事業継続は必要である。 また、整備事業完了後の観光誘客施策は牡鹿地域を一体的に進める必要があることから、周遊ルートの造成や同施設を活用したコンテンツ開発を行い、一層の観光客の取り込みに注力する必要がある。																
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	41,800,000	41,789,000	18,735,000	23,000,000		54,000													

予算科目	7 款	商工費	事業名		家族旅行村管理運営事業																																			
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																			
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																			
	事業	家族旅行村管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																			
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ			－																																	
目的及び事業内容		おしか家族旅行村オートキャンプ場を運営することにより、自然の中での健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ、健康と福祉の増進及び観光産業の振興を図る。																																						
取 組 実 績		1 おしか家族旅行村オートキャンプ場 概要 ・施設：管理棟 1棟（事務室、ロビー、便所、倉庫及び休憩室） サニタリー棟 1棟（炊事室、洗面所、便所及びシャワー室） 個別サイト 31か所（電源付サイト：5カ所、サイトA：23カ所、サイトB：3カ所） ケビン棟 6棟（A棟：4棟、B棟：2棟） 2 管理業務 (1) 指定管理者 太平ビルサービス株式会社石巻営業所 (2) 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 (3) 指定管理料 8,000,000円 (4) 事業内容 ア 施設管理運営 イ 施設維持管理 ウ 自主事業（売店、レンタル等） (5) 利用実績 <table><tr><th>区分</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>利用件数（ケビン棟）</td><td>392</td><td>393</td><td>471</td><td>518</td><td>577</td></tr><tr><td>利用件数（個別サイト）</td><td>1,228</td><td>2,103</td><td>2,391</td><td>2,450</td><td>1,884</td></tr><tr><td>利用者数（人）</td><td>6,146</td><td>7,628</td><td>9,377</td><td>10,191</td><td>8,650</td></tr><tr><td>利用金額（円）</td><td>15,598,550</td><td>16,874,623</td><td>21,112,900</td><td>23,072,590</td><td>21,303,930</td></tr></table> 3 修繕費（市） ・自動火災報知機交換修繕（ケビン棟6棟分） 943,800円									区分	R1	R2	R3	R4	R5	利用件数（ケビン棟）	392	393	471	518	577	利用件数（個別サイト）	1,228	2,103	2,391	2,450	1,884	利用者数（人）	6,146	7,628	9,377	10,191	8,650	利用金額（円）	15,598,550	16,874,623	21,112,900	23,072,590	21,303,930
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																			
利用件数（ケビン棟）	392	393	471	518	577																																			
利用件数（個別サイト）	1,228	2,103	2,391	2,450	1,884																																			
利用者数（人）	6,146	7,628	9,377	10,191	8,650																																			
利用金額（円）	15,598,550	16,874,623	21,112,900	23,072,590	21,303,930																																			
成 果		新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、近年のアウトドアブームに落ちつきが見えてきたが、金華山を目の前にするロケーションには固定の利用者もあり、牡鹿半島全体の周遊観光拠点として、観光産業の振興に一定の効果は果たしているものと考え。 また、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう、施設の修繕等を実施し維持管理に努めており、利用者からの苦情も多くないことから、円滑な運営が行えているものと判断出来る。 インターネットによる利用予約受付に加え、情報誌、ラジオ、テレビCM等を活用した情報発信や、近隣観光施設と相乗効果が図られるように相互に情報発信を行っており、施設の稼働率は高く推移していることから、継続した顧客獲得策の運用に期待する。																																						
成果に係る評価		利用者の認知度は向上しているが、利用者数、利用金額に減少が見られ、継続した誘客活動は必要である。 また、平成7年の営業開始から30年弱が経過しており、利用者の安全性を確保するためにも日頃の施設状態のチェックを強化し、早めの対処で修繕費の削減に継続して努めるよう、運営体制の強化を進める必要がある。 さらに、利用者のニーズに合わせた運営方法を今後も模索し、更なる顧客サービスの向上や、顧客獲得に繋げられるよう、近隣観光施設との運動した施策推進が必要である。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																			
					国(県)支出金		地方債		その他		一般財源																													
	9,133,000		8,943,800								8,943,800																													

予算科目	7 款	商工費	事業名		石ノ森萬画館管理運営事業																										
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																										
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																										
	事業	石ノ森萬画館管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																										
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		－																									
目的及び事業内容		石ノ森萬画館の適正な管理運営を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信し、誘客の促進と市内内外の人々との交流を促進し、本市における文化の発展と地域経済の振興を図る。																													
取組実績		1 石ノ森萬画館管理運営 (1) 指定管理者 株式会社街づくりまんぼう (2) 指定管理料 61,000,000円（うち、4,000,000円は空調改修に伴う休業補償分） (3) 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 (4) 事業内容 ア 常設展示 石ノ森パイオグラフィ、サイボーグ009の世界、仮面ライダーの世界 など イ 特別企画展 <table><tr><th>企画展名</th><th>開催期間</th><th>延べ人数</th></tr><tr><td>中村祐介20周年展</td><td>4/22～7/2</td><td>18,493人</td></tr><tr><td>放送40周年記念 超時空要塞マクロス展</td><td>7/15～9/24</td><td>24,839人</td></tr><tr><td>いっしょにワクワクしよう！パンダコパンダ展</td><td>10/7～R6/2/18</td><td>36,878人</td></tr></table> 例年企画展を4回開催しているが、空調改修に伴う臨時休館のため、1回減 ウ 映像ホール（有料） 「龍神沼」、「消えた赤ずきんちゃん」、「シージェッター海斗特別編」、「ジュン～春の針～」を上映 エ ライブラリー、マルチメディア工房（無料展示） マンガ本約6,000冊、映像約300作品、各種ワークショップ体験ができるスペース オ 資料収集・保存活動（過去に出版された石ノ森関連書籍や各マンガ家からの寄贈色紙など） カ マンガタンイラストギャラリー（年4回テーマを設けてイラスト作品を募集し萬画館に展示） 応募数：R5＝226点、R4＝271点、R3＝208点、R2＝199点、R1＝254点 2 石ノ森萬画館改修事業 利用者の利便性向上及び施設管理上必要な改修修繕等を実施 令和5年度 石ノ森萬画館空調機能改修業務（工期：R5.11.10～R6.6.28）						企画展名	開催期間	延べ人数	中村祐介20周年展	4/22～7/2	18,493人	放送40周年記念 超時空要塞マクロス展	7/15～9/24	24,839人	いっしょにワクワクしよう！パンダコパンダ展	10/7～R6/2/18	36,878人												
企画展名	開催期間	延べ人数																													
中村祐介20周年展	4/22～7/2	18,493人																													
放送40周年記念 超時空要塞マクロス展	7/15～9/24	24,839人																													
いっしょにワクワクしよう！パンダコパンダ展	10/7～R6/2/18	36,878人																													
成 果		石ノ森萬画館の適正な維持管理が図られるとともに、マンガ文化及び地域文化の発信に努めたことにより、観光誘客が促進され、地域経済の振興が図られた。 <table><tr><th>年度</th><th>利用者数</th><th>うち有料入場者数</th><th>入館料等収入</th></tr><tr><td>R1</td><td>214,838人</td><td>102,314人</td><td>78,222,053円</td></tr><tr><td>R2</td><td>64,871人</td><td>37,304人</td><td>29,173,857円</td></tr><tr><td>R3</td><td>84,654人</td><td>44,744人</td><td>36,370,610円</td></tr><tr><td>R4</td><td>132,217人</td><td>73,366人</td><td>63,478,845円</td></tr><tr><td>R5</td><td>154,624人</td><td>87,871人</td><td>79,777,197円</td></tr></table>						年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入	R1	214,838人	102,314人	78,222,053円	R2	64,871人	37,304人	29,173,857円	R3	84,654人	44,744人	36,370,610円	R4	132,217人	73,366人	63,478,845円	R5	154,624人	87,871人	79,777,197円
年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入																												
R1	214,838人	102,314人	78,222,053円																												
R2	64,871人	37,304人	29,173,857円																												
R3	84,654人	44,744人	36,370,610円																												
R4	132,217人	73,366人	63,478,845円																												
R5	154,624人	87,871人	79,777,197円																												
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが落ち着き、前年度より入館者数が約1.17倍の増となった。 また、特に「超時空要塞マクロス展」や「パンダコパンダ展」が好評であり、多くの集客があったことから、直近5年間で最高の入館料等収入となった。 年度内に3つの企画展を開催し集客回復に努めたほか、イオンモール石巻や未来屋書店とも連携してイベントを開催するなど、積極的な誘客の推進に努めた。 本年度の収入状況が一過性のものとならないよう、今後も引き続き魅力的な企画展や各種イベントを開催することにより、来館者の増加に努めていく必要がある。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
		61,000,000	61,000,000				61,000,000																								

予算科目	7 款	商工費	総合計画	事業名	マンガアイランド管理運営事業																																																																													
	1 項	商工費		第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																																																													
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																																																													
	事業	マンガアイランド管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																																																													
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		－																																																																												
目的及び事業内容		田代島の豊かな自然環境に親しみ、マンガとふれあう場を設けることにより、市民の自然と文化への理解を深め、心身の健康を増進するとともに、住民と来訪者との交流による島の活性化を図ることを目的とする。																																																																																
取 組 実 績		1 マンガアイランド利用実績 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="3">マンガロッジ</th><th colspan="3">テントサイト</th><th colspan="3">合計</th><th rowspan="2">使用料</th></tr><tr><th>人数</th><th>延べ人数</th><th>利用件数</th><th>人数</th><th>延べ人数</th><th>利用件数</th><th>人数</th><th>延べ人数</th><th>利用件数</th></tr><tr><td>R 1</td><td>658</td><td>763</td><td>237</td><td>177</td><td>180</td><td>84</td><td>835</td><td>943</td><td>321</td><td>2,542,408円</td></tr><tr><td>R 2</td><td>444</td><td>514</td><td>137</td><td>65</td><td>69</td><td>35</td><td>509</td><td>583</td><td>172</td><td>1,598,740円</td></tr><tr><td>R 3</td><td>409</td><td>461</td><td>133</td><td>68</td><td>78</td><td>44</td><td>477</td><td>539</td><td>177</td><td>1,569,190円</td></tr><tr><td>R 4</td><td>611</td><td>698</td><td>237</td><td>166</td><td>175</td><td>89</td><td>777</td><td>873</td><td>326</td><td>2,732,960円</td></tr><tr><td>R 5</td><td>836</td><td>915</td><td>355</td><td>177</td><td>199</td><td>143</td><td>1,013</td><td>1,114</td><td>498</td><td>3,932,420円</td></tr></table>						年度	マンガロッジ			テントサイト			合計			使用料	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	R 1	658	763	237	177	180	84	835	943	321	2,542,408円	R 2	444	514	137	65	69	35	509	583	172	1,598,740円	R 3	409	461	133	68	78	44	477	539	177	1,569,190円	R 4	611	698	237	166	175	89	777	873	326	2,732,960円	R 5	836	915	355	177	199	143	1,013	1,114	498	3,932,420円
年度	マンガロッジ			テントサイト			合計			使用料																																																																								
	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数	人数	延べ人数	利用件数																																																																									
R 1	658	763	237	177	180	84	835	943	321	2,542,408円																																																																								
R 2	444	514	137	65	69	35	509	583	172	1,598,740円																																																																								
R 3	409	461	133	68	78	44	477	539	177	1,569,190円																																																																								
R 4	611	698	237	166	175	89	777	873	326	2,732,960円																																																																								
R 5	836	915	355	177	199	143	1,013	1,114	498	3,932,420円																																																																								
		2 備品等貸出件数 <table><tr><th>種類</th><th>利用件数</th></tr><tr><td>マウンテンバイク（大人用）</td><td>80件</td></tr><tr><td>マウンテンバイク（小人用）</td><td>11件</td></tr><tr><td>電動自転車</td><td>730件</td></tr><tr><td>釣竿</td><td>51件</td></tr><tr><td>天体望遠鏡</td><td>23件</td></tr><tr><td>合 計</td><td>895件</td></tr></table>						種類	利用件数	マウンテンバイク（大人用）	80件	マウンテンバイク（小人用）	11件	電動自転車	730件	釣竿	51件	天体望遠鏡	23件	合 計	895件																																																													
種類	利用件数																																																																																	
マウンテンバイク（大人用）	80件																																																																																	
マウンテンバイク（小人用）	11件																																																																																	
電動自転車	730件																																																																																	
釣竿	51件																																																																																	
天体望遠鏡	23件																																																																																	
合 計	895件																																																																																	
成 果		新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが落ち着き、前年度と比較して全項目で実績が増加したほか、感染症拡大の影響が少なかった令和元年度と比較しても利用者数・延べ人数が約1.2倍、利用件数が約1.6倍となった。 また、コロナ禍を経て日帰りで備品のみを借用する観光客も年々増加し、例えば電動自転車は前年度の約1.2倍の利用件数となっている。 前年度に引き続き、使用料収入は震災以降で最大となり、田代島の豊かな自然環境とマンガとのふれあいによる観光交流人口の増加が促進され、島の活性化が図られた。																																																																																
成果に係る評価		利用者数の急激な回復及び使用料収入の増加の主な要因としては、以下の理由が考えられる。 (1) コロナ禍を通して全国的にキャンプへの興味関心が高まり、需要が発生したこと。 (2) 猫島として、国内外問わず複数のメディアで田代島の取り上げが増加し、認知度が向上したこと。 (3) 平成30年度から施設の管理運営を民間に委託し、おもてなし体制がしっかりしたこと。 担当課によるリーフレット配布や関係団体と連携した観光PRも成果を発揮しており、今後も継続的な情報発信や宿泊客数の増加に努めるとともに、利用者の更なる利便性向上のため、施設の適切な修繕・整備を進めていく必要がある。																																																																																
		(単位：円)																																																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																												
	11,509,380	11,450,228			3,941,603	7,508,625																																																																												

予算科目	7 款	商工費	事業名		いしのまき版DMO運営推進事業		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興		
	事業	石巻圏DMO推進事業費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する		
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 78	
目的及び事業内容		着地型観光を推進する「石巻圏観光推進機構」により、官民・地域間連携のもと、広域的な観光振興を推進するプラットフォームとして、地域資源を活用し戦略的に観光客の誘客を推進することで、石巻圏域への観光交流人口の増加による観光事業の振興及び地域経済の活性化を図る。					
取 組 実 績		1 公益事業 (1) インバウンド推進事業 ア 旅行代理店向オンライン商談会 ・台湾旅行代理店向けオンラインセミナー開催 16社参加 イ インバウンド観光コンテンツ開発 ・SAVOR JAPAN認定に係る推進業務実施 (2) サイクルツーリズム推進事業 ア サイクルイベント開催 ・牡鹿半島チャレンジライド (石巻市・女川町)→悪天候により中止。 136名応募 ・松島基地ランウェイライド (東松島市) 159名参加 イ 受入環境整備 ・サイクルステーションの設置・メンテナンス等 石巻市内26か所、東松島市内14か所、女川町内4か所設置 (3) 教育旅行事業 ア プロモーション・顧客管理 ・東北地方公立小中高校等へのニュースレター送付 送付数：秋号 (160校)、冬号 (160校)、春号 (160校) ・首都圏私立高校や日本修学旅行協会へのキャラバンの実施 ・3市町首長トップセールスの実施 (JTB、近畿日本ツーリスト) イ 問合せ・受入れ対応 ・受入実績：教育旅行35名、企業研修40名、問合せ12件 (4) データ収集・分析事業 ・必須KPI (観光消費額、満足度、リピート率) 把握のためのアンケート調査と分析の実施 (5) 石巻エリアファンクラブ運営事業 ・会員向けメルマガ配信等 (メルマガ会員登録数 2,131名) 2 収益事業 (1) 旅行業 ・各種イベント等と連動した旅行商品 24商品販売代行 (2) レンタサイクル事業 ・2市1町・14か所の貸出ステーションで貸出 貸出実績 1,747台 (3) 業務委託事業 ・田代島マンガアイランド予約受付業務等 (4) ECサイト運営事業 他 ・会員制ECサイトでの石巻エリア特産品の販売					
成 果		(1) インバウンド推進事業：各種補助金も活用し離島周遊等の高付加価値ツアー商品の催行やインバウンド観光客に対する観光動態調査の実施から圏域観光振興に寄与した。(2) サイクルツーリズム推進事業：圏域におけるサイクルイベントの開催による自転車旅行層の拡大並びにサイクルステーション、レンタサイクルの拡充・整備による観光交流人口拡大に貢献した。(3) 教育旅行事業：大手旅行代理店等新たなセールス先の開拓によるPR機会の増加、及び販路拡大による事業推進が図られた。(4) データ収集・分析事業：観光動態調査の実施による石巻圏観光客の観光動態・消費行動の分析結果のデータ提供を行うことで各自治体、各観光協会への事業推進提案からの賑わい創出機会の増加が図られた。					
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い国内観光需要が高まり、また訪日外国人観光客の増加により急激な観光産業の業績回復が見られる中、特にインバウンド需要に注力した様々な事業展開の土壌づくりに貢献出来ている。また、教育旅行事業やサイクルツーリズム推進事業においても2市1町との連携により事業推進の目的である交流人口の拡大が図られているほか、収益部門においては、より収益向上に向けたブラッシュアップ等が必要ではあるが、本市の観光誘客に結びつくPR効果に繋がっていると考えられ、今後とも地域観光産業の拡大に向けた取組みを継続していく必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
					国(県)支出金	地方債	その他
	14,647,000		14,647,000				5,510,000
							9,137,000

予算科目	7 款	商工費	事業名	北上観光物産交流センター管理運営事業																						
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																					
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																					
	事業	北上観光物産交流センター管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																					
担当部課		産業部観光政策課	実施計画掲載ページ		－																					
目的及び事業内容		三陸復興国立公園での自然体験活動を通してエコツーリズム及び環境教育を推進するために環境省が整備したフィールドミュージアムエリア及び石巻・川のビジターセンター敷地内に、市が整備を行い、平成30年2月11日に開館した石巻市北上観光物産交流センターは、石巻市北上観光物産交流センター条例に基づき、北上地域の観光物産情報の提供、地場産品等の展示及び販売を実施することにより、産業の振興及び地域交流の活性化を図る。																								
取 組 実 績		1 石巻市北上観光物産交流センター 所在地：石巻市北上町十三浜字東田1番地 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：火曜日及び年末年始 2 指定管理者 未来環境株式会社 3 指定管理料 5,700,000円 4 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 5 事業内容 (1) 北上の観光案内・情報の発信 (2) 北上の生産物及び加工品の展示販売 (3) 北上の風景写真の展示等 (4) 施設の適正な管理運営 6 利用実績 入館者数 21,240人 7 イベント 令和5年度は、北上の生産物及び加工品の紹介、展示販売及び新規来場者獲得のためのイベントを以下のとおり開催した。 (1) きたかみみの市：令和5年4月～令和6年3月、計11日開催 (2) 新わかめ即売会：令和6年2月～3月、計7日開催 (3) セタイイベント：令和5年7月、計1回開催																								
成 果		令和5年度は、地元事業者及び関係機関と連携しイベントを開催することで、観光、物産、産業のPR及び施設利用者の増加が図られた。 また、地場産品や観光情報及び写真の展示方法の工夫や節電を行うなど施設の適正な管理と利用促進に努めた。 ※利用者数（年度別） <table><tr><td>年度</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>開館日数</td><td>282日</td><td>268日</td><td>307日</td><td>310日</td><td>310日</td></tr><tr><td>入館者数</td><td>17,934人</td><td>11,760人</td><td>16,840人</td><td>20,540人</td><td>21,240人</td></tr></table>							年度	R1	R2	R3	R4	R5	開館日数	282日	268日	307日	310日	310日	入館者数	17,934人	11,760人	16,840人	20,540人	21,240人
年度	R1	R2	R3	R4	R5																					
開館日数	282日	268日	307日	310日	310日																					
入館者数	17,934人	11,760人	16,840人	20,540人	21,240人																					
成果に係る評価		イベントを開催することで、地域での周遊及び滞在時間を延長し、北上地区の観光物産振興を図ることができた。チラシの配布と併せインターネットを活用することで広く周知を行い、来館者の増加につなげることができた。 今後も地域や来館者、地元事業者のニーズを的確に捉えることで、さらなる観光交流人口の増加と産業の振興を目指し、継続して事業を実施していく必要がある。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	5,709,836	5,709,836				5,709,836																				

予算科目	7 款	商工費	事業名		牡鹿地域拠点エリア管理運営事業	
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち	
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興	
	事業	牡鹿地域拠点エリア管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する	
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		—
目的及び事業内容		おしかホエールランドや情報交流館の機能を併せ持った観光物産交流施設などを牡鹿地域拠点エリアとして運営し、環境省が整備する牡鹿半島ビジターセンターと連携しながら、牡鹿地域の水産・観光の振興、観光客と市民との交流の促進及び地域の活性化を図る。 また、環境省及び地域団体と共に牡鹿半島ビジターセンター運営協議会を設置し、ビジターセンターを拠点とした自然体験活動を通して、エコツーリズム及び環境教育を推進することにより、地域の自然環境保全及び活性化に寄与する。				
取 組 実 績		1 牡鹿地域拠点エリア 施設概要 (1) おしかホエールランド：鯨に関する資料の収集、展示及び歴史・文化の継承口 (2) 観光物産交流施設：地域特産品等の展示・販売、地域情報の発信及び交流促進 2 牡鹿地域拠点エリア 管理業務 (1) 指定管理者：一般社団法人鮎川まちづくり協会 (2) 指定管理期間：令和元年9月1日～令和6年3月31日 (3) 指定管理料：42,000,000円 (4) 業務内容 ア 管理施設の利用の許可に関する業務 イ 利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 ウ 管理施設の維持管理に関する業務 3 牡鹿地域拠点エリア 利用実績 (1) 牡鹿地域拠点エリア全体：201,700人 (2) インフォメーションコーナー：8,331人 (3) テナント（7事業者）合算人数：60,765人 (4) おしかホエールランド：13,022人 （令和4年3月16日発生の地震被害を受け、復旧作業のため、令和5年5月29日まで閉館） (5) 指定管理業務によるイベント：10回 (6) 自主事業によるイベント：21回 4 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業 (1) 活動拠点となる牡鹿半島ビジターセンターの運営に関する事業 (2) 自然体験活動プログラムの企画・実施に関する事業 (3) 三陸復興国立公園及びその周辺の各種情報の収集・提供に関する事業 (4) 運営協議会負担金：9,100,000円 5 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業実績 (1) 各種研修会の実施：7回開催、延べ26名参加 (2) イベント企画・コンテンツ企画・館内ワークショップ実施：43回開催、延べ399名参加 6 牡鹿半島ビジターセンター 入館者数：38,350人				
成 果		令和5年度は、観光物産交流施設及びおしかホエールランドの管理運営を行いつつ、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、多様な各種プログラムを実施し、牡鹿地域の魅力発信や観光交流人口の拡大に寄与した。 また、牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業として、観光物産交流施設及びおしかホエールランドとの連携にて簡易プログラムの実施、また、環境教育につながる研修会・イベント等の企画により、牡鹿地域の魅力再発見、PRにも一定の効果をもたらし、観光誘客による地域の活性化が図られた。				
成果に係る評価		牡鹿地域拠点エリア指定管理者は適切な施設の運営管理に努めており、地域の魅力再発見に繋がる各種プログラムを（一社）石巻観光協会との連携や、自主事業により開催した各種イベントを通して誘客を図ったものの、昨年度と比較して来館者数が減少した。 一方、金華山への渡島客については、前年度と比較して増加していることから、過去の取組みをブラッシュアップし、金華山への渡島客が牡鹿地域拠点エリアに滞留するような事業展開を行い、全体の来館者数の増加を図る必要がある。 また、みちのく潮風トレイルハイカーやインバウンド観光客の増加も見られることから、観光交流人口の拡大に直結するようSNS等を活用したPRを展開し、観光誘客の増加と観光産業の活性化に効果のある事業を引き続き継続して実施する必要がある。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	51,100,000		51,100,000			40,000,000 11,100,000

予算科目	7 款	商工費	事業名		雄勝地域拠点エリア管理運営事業																																									
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																																									
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																																									
	事業	雄勝地域拠点エリア管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																																									
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		—																																								
目的及び事業内容			雄勝地域における観光拠点施設である「雄勝硯伝統産業会館」及び「雄勝観光物産交流館」の適切な管理運営と、施設を活用した観光事業の充実を図るとともに、道の駅としての機能を活用し、観光交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。																																											
取 組 実 績			雄勝地域の観光・物産・産業等に関するPRや適切な管理運営を行うことを目的に指定管理者制度を活用し、以下の事業を実施する。 1 指定管理者 一般社団法人硯上の里おがつ 代表理事 澤村 文雄 2 指定管理料 50,000,000円 3 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 (1) 観光PR事業・・・ア 情報誌等の作成・発送（年4回） イ おがつ縁日等のイベント開催（年9回） ウ 出張販売（3/23～3/24 道の駅なみえ） エ メディアや出版物への出演・掲載等（年4回） (2) 企画展示事業・・・ア 道の駅友の会 演奏会（年12回） イ 書作品や絵画等の展示（年10回） ウ ワークショップ等の開催（年3回） エ 展示会への会場提供（年2回） (3) 自主事業・・・スタンプラリー、記念切符発行、道の駅関連商品販売等 (4) その他・・・雄勝公民館や雄勝小中学校との連携・情報共有、地域住民参加型の企画実施 令和5年度実績 来場者 雄勝硯伝統産業会館 28,006人 雄勝観光物産交流館 89,348人 イベント・出張販売 延べ10回 11,975人来場 企画展・ワークショップ・コンサート等 延べ24回開催 25,836人来場																																											
成 果			雄勝硯伝統産業会館は観覧料収入が前年度に比べ約60,000円ほど減少しているが、企画展やワークショップを実施し、入館者数自体は前年度から約2,300人の増加となった。 また、雄勝観光物産交流館は入館者数が前年度と比べて約12,000人増加し、売上額も約520万円の増加となるなど、観光交流人口の拡大による地域経済の活性化が図られた。 ■入館者数、売上状況 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="3">雄勝硯伝統産業会館</th><th colspan="2">雄勝観光物産交流館</th></tr><tr><th>入館者数</th><th>うち参観者数</th><th>観覧料</th><th>売上額</th><th>入館者数</th><th>売上額</th></tr><tr><td>R2</td><td>17,848人</td><td>4,148人</td><td>701,200円</td><td>6,058,381円</td><td>53,589人</td><td>16,975,542円</td></tr><tr><td>R3</td><td>21,986人</td><td>2,405人</td><td>460,210円</td><td>4,639,615円</td><td>104,618人</td><td>24,057,952円</td></tr><tr><td>R4</td><td>25,743人</td><td>1,921人</td><td>360,420円</td><td>5,995,020円</td><td>77,464人</td><td>27,775,880円</td></tr><tr><td>R5</td><td>28,006人</td><td>1,648人</td><td>300,310円</td><td>6,828,843円</td><td>89,348人</td><td>32,943,645円</td></tr></table> ※令和3年度から指定管理による運営を開始 ※令和3年度に道の駅として登録 ※売上額については雄勝硯生産販売協同組合、海産物直売所（石巻観光協会）のもの				年度	雄勝硯伝統産業会館			雄勝観光物産交流館		入館者数	うち参観者数	観覧料	売上額	入館者数	売上額	R2	17,848人	4,148人	701,200円	6,058,381円	53,589人	16,975,542円	R3	21,986人	2,405人	460,210円	4,639,615円	104,618人	24,057,952円	R4	25,743人	1,921人	360,420円	5,995,020円	77,464人	27,775,880円	R5	28,006人	1,648人	300,310円	6,828,843円	89,348人	32,943,645円
年度	雄勝硯伝統産業会館			雄勝観光物産交流館																																										
	入館者数	うち参観者数	観覧料	売上額	入館者数	売上額																																								
R2	17,848人	4,148人	701,200円	6,058,381円	53,589人	16,975,542円																																								
R3	21,986人	2,405人	460,210円	4,639,615円	104,618人	24,057,952円																																								
R4	25,743人	1,921人	360,420円	5,995,020円	77,464人	27,775,880円																																								
R5	28,006人	1,648人	300,310円	6,828,843円	89,348人	32,943,645円																																								
成果に係る評価			各種事業については、入館者数や売上額等の数値が前年より向上し、相応の効果を上げ、事業概要を含め概ね適正であった。 今後も指定管理者と協力連携のもと、より快適な道の駅（地域の交流拠点、観光拠点）として、多くの来場者が訪れる魅力ある施設づくりを心掛け、なお一層のPR活動や情報発信に力を入れていく必要がある。 なお、減少傾向にある雄勝硯伝統産業会館の有料参観者数については、展示物の入れ替えを行い新たな見どころなどの宣伝等を実施するなど、増加に向けた取組を実施していく必要がある。																																											
(単位：円)																																														
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
		50,000,000	50,000,000			40,000,000	10,000,000																																							

予算科目	7 款	商工費	事業名		道の駅「上品の郷」施設改修事業		
	1 項	商工費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
	3 目	観光費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興		
	事業	道の駅「上品の郷」管理運営費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する		
担当部課		産業部観光政策課		実施計画掲載ページ		P 78	
目的及び事業内容			平成17年3月にオープンした道の駅「上品の郷」は、建築後17年が経過し、経年劣化が顕著となっており、計画的に修繕及び設備改築等を実施し、施設利用者の安全・安心かつ良好な施設環境の確保を図る。				
取 組 実 績			道の駅「上品の郷」施設改修事業として、下記事業を実施した。 1 道の駅「上品の郷」グリーストラップ設置工事 (1) エ 期 令和5年10月2日から令和6年1月31日まで (2) 予 算 額 1,246,000円 (3) 事 業 費 1,210,000円 (4) 工事概要 グリーストラップ設置 2 道の駅「上品の郷」備品購入 (1) 納 入 日 令和6年3月15日 (2) 予 算 額 12,100,000円 (3) 事 業 費 12,100,000円 (4) 購入物品 冷蔵多段ショーケース、冷凍リーチインショーケース、冷凍機				
成 果			道の駅「上品の郷」油水分離槽及び店舗内保冷設備の改修を実施したことにより、施設利用者の安全・安心かつ良好な施設環境の確保が図られた。 ...				
成果に係る評価			道の駅「上品の郷」施設の改修工事等を計画的に実施することにより、施設利用者の安全・安心かつ良好な施設環境の確保を図られている。 引き続き、利用者の利便性及び集客力の向上を図るため、道の駅「上品の郷」の施設整備を計画的、段階的に実施する必要がある。				
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	13,346,000	13,310,000			11,700,000	1,610,000	